

学校コード F111310102165
注3

設置年度 令和 2年度
計画の区分： 学部の学科の設置
注1

認可

注2
駿河台大学 スポーツ科学部 スポーツ科学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人 駿河台大学
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学務部教務課
職名・氏名	学務部長・斎藤 丈洋
電話番号	042-972-1110
（夜間）	042-972-1111
e-mail	kyoumu@surugadai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

スポーツ科学部

＜スポーツ科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	29
4. 既設大学等の状況	31
5. 教員組織の状況	33
6. 附帯事項等に対する履行状況等	58
7. その他全般的事項	60

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 駿河台大学

(2) 大 学 名

駿河台大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒357-8555

埼玉県飯能市大字阿須字一の木698番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イイ カノブ) 入 江 孝 信 (H29.9.1)	(フ リ ガ ナ) 氏 名 (現職就任年月)	
学 長	(オモリ カズヒロ) 大 森 一 宏 (R1.4.1)		
学 部 長	(ヨシノ タカフ) 吉 野 貴 順 (R2.4.1)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科 の分野	設置時の計画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
スポーツ科学部 スポーツ科学科 学士（スポーツ科学）	体育関係	4 年	200 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	800 人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学 定員超過率	平均入学 定員超過率 (控除後)	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 200 () []	人 () []	人 200 () []	人 () []	人 200 () []	人 () []	人 200 () []	人 () []	1.19倍	一倍	1.11倍	一倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	816 () []	() []	477 () []	() []	420 () []	() []	333 () []	() []					
受験者数	() []	() []	() []	() []	782 () []	() []	459 () []	() []	406 () []	() []	323 () []	() []					
合格者数	() []	() []	() []	() []	265 () []	() []	285 () []	() []	284 () []	() []	264 () []	() []					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	238 () []	() []	245 () []	() []	248 () []	() []	225 () []	() []					
入学定員超過率 B/A	—		—		1.19		1.22		1.24		1.12						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
- 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	238 [－] (－)	－ [－] (－)	245 [－] (－)	－ [－] (－)	248 [1] (－)	－ [－] (－)	225 [－] (－)	－ [－] (－)	
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	226 [－] (－)	－ [－] (－)	238 [－] (－)	－ [－] (－)	242 [1] (－)	－ [－] (－)	
3 年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	204 [－] (－)	－ [－] (－)	
4 年次											－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計			－ [－] (－)		－ [－] (－)						238 [－] (－)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成30年度	－ 人	－ 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
令和元年度	－ 人	－ 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	－ 人	－ 人	
令和2年度	238 人	12 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	12 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、就職(4人)、経済的困窮(5人)、その他(2人)
令和3年度	471 人	29 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	22 人	0 人	就学意欲の低下(6人)、学力不足(1人)、他の教育機関への入学・転学(5人)、就職(2人)、経済的困窮(7人)、その他(1人)
			令和3年度	7 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、就職(2人)、他の教育機関への入学・転学(2人)、その他(1人)
令和4年度	690 人	26 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	10 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、就職(4人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、経済的困窮(3人)、その他(1人)
			令和3年度	10 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学・転学(1人)、就職(2人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、経済的困窮(3人)、その他(2人)
			令和4年度	6 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学・転学(1人)、就職(2人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、その他(1人)
令和5年度	889 人	0 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合 計		67 人		67 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{12}{238} = \boxed{5.04} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{29}{471} = \boxed{6.15} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{26}{690} = \boxed{3.76} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{889} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜スポーツ科学部 スポーツ科学科＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教養基礎科目群・教養基礎科目	教養基礎講座	1前	2			3	1	1			1
	プレゼミナールⅠ	1前	2			3	6	3			4
	プレゼミナールⅡ	1後	2			3	6	3			4
	コンピュータ・リテラシーⅠ	1前	1								1
	コンピュータ・リテラシーⅡ	1後	1								1
	倫理学Ⅰ	1・2前		2							1
	倫理学Ⅱ	1・2後		2		1					
	文学Ⅰ	1・2前		2							2
	文学Ⅱ	1・2後		2							2
	こころの科学Ⅰ	1・2前		2							2
	こころの科学Ⅱ	1・2後		2							1
	日本の文化と倫理	1・2前		2		1					
	国際社会と日本	1・2後		2				1			
	北欧文化論	1・2後		2							1
	健康・スポーツ実習Ⅰ	1前	1			2	4	1			8
	健康・スポーツ実習Ⅱ	1後	1			2	4	1			8
	憲法概論	1・2後		2							1
	経済学Ⅰ	1・2前		2							1
	経済学Ⅱ	1・2後		2							1
	歴史学Ⅰ	1・2前		2							2
	歴史学Ⅱ	1・2後		2							1
	観光学	1・2後		2		1					
	現代自然科学Ⅰ	1・2前		2							1
	現代自然科学Ⅱ	1・2後		2							1
	環境生物学Ⅰ	1・2前		2							1
	環境生物学Ⅱ	1・2後		2							1
	生命の科学Ⅰ	1・2前		2							1
	生命の科学Ⅱ	1・2後		2							1
	からだの科学Ⅰ	1・2前		2							1
	からだの科学Ⅱ	1・2後		2							1
	小計(30科目)	—	10	46	0	6	7	4	0	0	24
教養基礎科目群・教養発展科目	プレゼミナールⅢ	2前	2			4	5	2			4
	プレゼミナールⅣ	2後	2			4	5	2			4
	日本の暮らしと文化	2・3前		2		1					
	欧米の暮らしと文化	2・3後		2				1			
	異文化と文学	2・3前		2							1
	日本伝統文化論	2・3後		2		1					
	コミュニケーション論	2・3後		2							1
	インターネット文化論	2・3前		2							1
	子ども文化論	2・3前・後		2							1
	現代人と心理Ⅰ	2・3前		2							1
	現代人と心理Ⅱ	2・3後		2							1
	現代社会と法	2・3前		2							1
	ライフサイクルと社会保障	2・3後		2							1
	労働と社会	2・3後		2							1
	ジェンダー論	2・3後		2		1					1
	ホスピタリティ論	2・3後		2							1
	現代社会とメディア	2・3後		2							1
	労働衛生Ⅰ	2前		2			1				
	労働衛生Ⅱ	2・3後		2			1				
	労働基準法	2・3前		2							1
	労働安全衛生法Ⅰ	2・3前		2							1
	労働安全衛生法Ⅱ	2・3後		2							1
	小計(22科目)	—	4	40	0	5	5	2	0	0	16

【令和5年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教養基礎科目群・教養基礎科目	教養基礎講座	1前	2			3	2				1
	プレゼミナールⅠ	1前	2			3	8	3			2
	プレゼミナールⅡ	1後	2			3	8	3			2
	コンピュータ・リテラシーⅠ	1前	1								4
	コンピュータ・リテラシーⅡ	1後	1								4
	倫理学Ⅰ	1・2前		2							1
	倫理学Ⅱ	1・2後		2		1					
	文学Ⅰ	1・2前		2							3
	文学Ⅱ	1・2後		2							3
	こころの科学Ⅰ	1・2前		2							2
	こころの科学Ⅱ	1・2後		2							2
	日本の文化と倫理	1・2前		2		1					
	国際社会と日本	1・2後		2				1			
	北欧文化論	1・2後		2							1
	健康・スポーツ実習Ⅰ	1前	1			2		1			4
	健康・スポーツ実習Ⅱ	1後	1			2		1			4
	憲法概論	1・2後		2							2
	経済学Ⅰ	1・2前		2							1
	経済学Ⅱ(未開講)	1・2後		2							
	歴史学Ⅰ	1・2前		2							2
	歴史学Ⅱ	1・2後		2							2
	観光学	1・2後		2		1					
	現代自然科学Ⅰ	1・2前		2							1
	現代自然科学Ⅱ	1・2後		2							1
	環境生物学Ⅰ	1・2前		2							1
	環境生物学Ⅱ	1・2後		2							1
	生命の科学Ⅰ	1・2前		2							1
	生命の科学Ⅱ	1・2後		2							1
	からだの科学Ⅰ	1・2前		2							1
	からだの科学Ⅱ	1・2後		2							1
	データサイエンス入門	1・2後		2							1
	小計(31科目)	—	10	48	0	6	8	3	0	0	27
教養基礎科目群・教養発展科目	プレゼミナールⅢ	2前	2			3	7	2			2
	プレゼミナールⅣ	2後	2			3	7	2			2
	日本の暮らしと文化	2・3後		2		1					
	欧米の暮らしと文化	2・3前		2				1			
	異文化と文学	2・3後		2							1
	日本伝統文化論	2・3前		2		1					
	コミュニケーション論	2・3後		2							1
	インターネット文化論	2・3前		2							1
	子ども文化論	2・3後		2							1
	現代人と心理Ⅰ	2・3前		2							1
	現代人と心理Ⅱ	2・3後		2							1
	現代社会と法	2・3前		2							1
	ライフサイクルと社会保障	2・3後		2							1
	労働と社会	2・3前		2							1
	ジェンダー論	2・3後		2							1
	ホスピタリティ論	2・3前		2							1
	現代社会とメディア	2・3後		2							1
	人工知能概論	2・3前		2							1
	データリテラシー入門	2・3前・後		1							2
	労働衛生Ⅰ	2前		2			1				
	労働衛生Ⅱ	2・3後		2			1				
	労働基準法	2・3前		2							1
	労働安全衛生法Ⅰ	2・3前		2							1
	労働安全衛生法Ⅱ	2・3後		2							1
	小計(24科目)	—	4	43	0	3	7	2	0	0	17

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教養基礎科目群・地域科目	歴史探訪	1・2後		2		1					1
	フィールドトリップ	1・2後		2		1	1				1
	地域と文学	1・2後		2							1
	飯能学	1・2後		2		1					
	地域社会と観光	1・2前		2		1					
	地域環境論	1・2前		2							1
	森林文化Ⅰ	1・2前		2		1					1
	森林文化Ⅱ	1・2後		2		1					1
	地域と歴史	1・2後		2							1
	インターンシップⅠ	2・3通		4							3
	インターンシップⅡ	1・2・3前・後		2							3
	まちづくり実践	1・2・3前・後		2		2					1
小計(12科目)		－	0	26	0	4	1	0	0	0	9
共通教養科目群・外国語科目・必修外国語	英語ⅠA	1前		1							7
	英語ⅠB	1後		1							7
	英語ⅡA	1前		1				1			3
	英語ⅡB	1後		1				1			3
	日本語ⅠA	1前		1							1
	日本語ⅠB	1後		1							1
	日本語ⅡA	1前		1							1
	日本語ⅡB	1後		1							1
	ドイツ語ⅠA	1前		1			1				1
	ドイツ語ⅠB	1後		1			1				1
	ドイツ語ⅡA	1前		1							2
	ドイツ語ⅡB	1後		1							2
	フランス語ⅠA	1前		1							1
	フランス語ⅠB	1後		1							1
	フランス語ⅡA	1前		1							1
	フランス語ⅡB	1後		1							1
	中国語ⅠA	1前		1							2
	中国語ⅠB	1後		1							2
	中国語ⅡA	1前		1							2
	中国語ⅡB	1後		1							2
	韓国語ⅠA	1前		1							2
	韓国語ⅠB	1後		1							2
	韓国語ⅡA	1前		1							2
	韓国語ⅡB	1後		1							2
小計(24科目)		－	0	24	0	0	1	1	0	0	21
共通教養科目群・外国語科目・選択必修外国語	英語ⅢA	2前		1							4
	英語ⅢB	2後		1							4
	日本語ⅢA	2前		1							1
	日本語ⅢB	2後		1							1
	ドイツ語ⅢA	2前		1							1
	ドイツ語ⅢB	2後		1							1
	フランス語ⅢA	2前		1							1
	フランス語ⅢB	2後		1							1
	中国語ⅢA	2前		1							1
	中国語ⅢB	2後		1							1
	韓国語ⅢA	2前		1							1
	韓国語ⅢB	2後		1							1
小計(12科目)		－	0	12	0	0	0	0	0	0	9
共通教養科目群・外国語科目・自由選択外国語	英語演習Ⅰ	1・2・3前		2				1			1
	英語演習Ⅱ	1・2・3後		2							2
	ドイツ語演習Ⅰ	2・3前		2			1				1
	ドイツ語演習Ⅱ	2・3後		2			1				1
	フランス語演習Ⅰ	2・3前		2							1
	フランス語演習Ⅱ	2・3後		2							1
	中国語演習Ⅰ	2・3前		2							1
	中国語演習Ⅱ	2・3後		2							2
	韓国語演習Ⅰ	2・3前		2							1
	韓国語演習Ⅱ	2・3後		2							1
	日本語演習Ⅰ	2・3前		2							1
	日本語演習Ⅱ	2・3後		2							1
	海外語学演習	2・3通		4			1	1			5
小計(13科目)		－	0	28	0	0	1	1	0	0	9
外国語科目計(49科目)		－	0	64	0	0	1	1	0	0	24

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教養基礎科目群・地域科目	歴史探訪	1・2後		2		1					1
	フィールドトリップ	1・2後		2		1	1				1
	地域と文学	1・2前		2							1
	飯能学	1・2前		2		1					
	地域社会と観光	1・2前		2		1					
	地域環境論	1・2前		2							1
	森林文化Ⅰ	1・2前		2		1					2
	森林文化Ⅱ	1・2後		2		1					2
	地域社会と経済	1・2前		2							4
	地域社会と環境	1・2後		2							1
	地域と金融	1・2後		2							1
	地域企業論	1・2前		2							1
	地域と社会	1・2後		2							1
	地域と歴史	1・2後		2							3
インターンシップⅠ	2・3通		4							7	
インターンシップⅡ	1・2・3前・後		2							3	
まちづくり実践	1・2・3前・後		2		2					1	
	小計(17科目)	—	0	36	0	4	1	0	0	0	25
共通教養科目群・外国語科目・必修外国語	英語ⅠA	1前		1							8
	英語ⅠB	1後		1							8
	英語ⅡA	1前		1				1			4
	英語ⅡB	1後		1				1			4
	日本語ⅠA	1前		1							2
	日本語ⅠB	1後		1							2
	日本語ⅡA	1前		1							2
	日本語ⅡB	1後		1							2
	ドイツ語ⅠA	1前		1			1				
	ドイツ語ⅠB	1後		1			1				
	ドイツ語ⅡA	1前		1							1
	ドイツ語ⅡB	1後		1							1
	フランス語ⅠA	1前		1							1
	フランス語ⅠB	1後		1							1
	フランス語ⅡA	1前		1							1
	フランス語ⅡB	1後		1							1
	中国語ⅠA	1前		1							2
	中国語ⅠB	1後		1							2
	中国語ⅡA	1前		1							2
	中国語ⅡB	1後		1							2
	韓国語ⅠA	1前		1							3
	韓国語ⅠB	1後		1							3
	韓国語ⅡA	1前		1							3
	韓国語ⅡB	1後		1							3
	小計(24科目)	—	0	24	0	0	1	1	0	0	25
共通教養科目群・外国語科目・選択必修外国語	英語ⅢA	2前		1							5
	英語ⅢB	2後		1							5
	日本語ⅢA	2前		1							1
	日本語ⅢB	2後		1							1
	ドイツ語ⅢA	2前		1							1
	ドイツ語ⅢB	2後		1							1
	フランス語ⅢA	2前		1							1
	フランス語ⅢB	2後		1							1
	中国語ⅢA	2前		1							1
	中国語ⅢB	2後		1							1
	韓国語ⅢA	2前		1							1
	韓国語ⅢB	2後		1							1
	小計(12科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	10
共通教養科目群・外国語科目・自由選択外国語	英語演習Ⅰ	1・2・3前		2				1			4
	英語演習Ⅱ	1・2・3後		2							5
	ドイツ語演習Ⅰ	2・3前		2			1				
	ドイツ語演習Ⅱ	2・3後		2			1				
	フランス語演習Ⅰ	2・3前		2							1
	フランス語演習Ⅱ	2・3後		2							1
	中国語演習Ⅰ	2・3前		2							1
	中国語演習Ⅱ	2・3後		2							1
	韓国語演習Ⅰ	2・3前		2							1
	韓国語演習Ⅱ	2・3後		2							1
	日本語演習Ⅰ	2・3前		2							1
	日本語演習Ⅱ	2・3後		2							1
	海外語学演習	2・3通		4			1	1			3
	小計(13科目)	—	0	28	0	0	1	1	0	0	10
外国語科目計(49科目)		—	0	64	0	0	1	1	0	0	33

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通教養科目群・キャリア教育科目	キャリア基礎Ⅰ	1前	2									2
	キャリア基礎Ⅱ	1後		2								2
	キャリア発展	2前・後		2								2
	ライフプランニング	2前・後		2								1
	キャリア実践論Ⅰ	3前	2									2
	キャリア実践論Ⅱ	3後		2								1
	キャリア実践論Ⅲ	3後		2								1
	小計(7科目)	－	4	10	0	0	0	0	0	0	0	2
共通教養科目群計(120科目)				18	186	0	9	7	4	0	0	58
専攻科目群・専攻導入科目	スポーツ科学入門A	1前	2			1	2					
	スポーツ科学入門B	1前	2			1	2					
	救急処置法	1前・後	2			1	1					1
	トレーニングサイエンス	1後	2			1						
	ヘルスサイエンス	1後	2				1					
	スポーツ文化論	1後	2				1					
	チームビルディング	1前	1			1						1
	小計(7科目)	－	13	0	0	4	5	0	0	0	0	2
専攻科目群・専攻基幹科目・講義科目	運動生理学	2前	2				1					
	スポーツの測定評価	2前	2			1	1					
	スポーツ哲学	2前	2			1						
	スポーツ社会学	2前	2				1					
	スポーツ・バイオメカニクス	2後	2				1					
	スポーツ教育学	2後	2				1					
	スポーツ史	2後	2				1					
	スポーツ・マネジメント	2後	2			1						
小計(8科目)	－	16	0	0	3	5	0	0	0	0	0	
専攻科目群・専攻基幹科目・実技科目	専門実技(ジョギング・ウォーキング)	1前		1				1				
	専門実技(体づくり運動)	1後		1				1				
	専門実技(水泳)	2前・後		1								2
	専門実技(体カトレーニング)	2前・後		1								1
	専門実技(陸上競技)	2後		1				1				
	専門実技(器械運動)	2後		1								1
	専門実技(フィットネスA)	3前		1								1
	専門実技(フィットネスB)	3後		1								1
	専門実技(柔道)	3前・後		1			1					
	専門実技(ダンス)	3前・後		1		1						
	専門実技(サッカー)	2・3前・後		1		1						
	専門実技(バレーボール)	2・3前・後		1								1
	専門実技(バスケットボール)	2・3前・後		1								1
	専門実技(テニス)	2・3前・後		1								1
	専門実技(ホッケー)	2・3前		1			1					
	専門実技(ラグビー)	2・3後		1		1						
	専門実技(自然活動A)	2・3前		1		1						
	専門実技(自然活動B)	2・3前		1		1						
	専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)	2・3前		1		1						
	専門実技(アクア・マリンスポーツ)	2・3前		1								1
	専門実技(バドルスポーツ)	2・3前		1								1
	専門実技(自然活動C)	2・3後		1								2
	専門実技(スキー・スノーボード)	2・3後		1		1						
小計(23科目)	－	0	23	0	4	2	2	0	0	0	11	
専攻基幹科目群計(31科目)				16	23	0	5	5	2	0	0	11
専攻科目群・専攻発展科目	スポーツ測定法	2後		2		1	1					
	スポーツ心理学	2後		2				1				
	健康とスポーツの医学A	2後		2		1						
	運動学	2後		2								1
	スポーツ生理学	2・3前		2		1						
	健康と文化	2・3前		2								1
	スポーツ政策論	2・3前		2		1						
	生涯スポーツ論	2・3後		2		1						
	スポーツ人類学	2・3後		2			1					
	スポーツ栄養学	3前		2								1
	解剖生理学	3前		2								1
	スポーツ測定法実習	3前		1		1	1					
	健康とスポーツの医学B	3前		2		1						
	運動処方論	3前		2			1					
	衛生学・公衆衛生学	3前		2			1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通教養科目群・キャリア教育科目	キャリア基礎Ⅰ	1前	2								1	
	キャリア基礎Ⅱ	1後		2							2	
	キャリア発展	2前・後		2							2	
	ライフプランニング	2前・後		2							1	
	キャリア実践論Ⅰ	3前	2								2	
	キャリア実践論Ⅱ	3後		2							1	
	キャリア実践論Ⅲ	3後		2							1	
	小計(7科目)	－	4	10	0	0	0	0	0	0	2	
共通教養科目群計(128科目)				18	201	0	8	9	3	0	0	92
専攻科目群・専攻導入科目	スポーツ科学入門A	1前	2			1	2					
	スポーツ科学入門B	1前	2			1	2					
	救急処置法	1後	2			1	1				2	
	トレーニングサイエンス	1後	2			1						
	ヘルスサイエンス	1後	2				1					
	スポーツ文化論	1後	2				1					
	チームビルディング	1前	1			1					1	
	小計(7科目)	－	13	0	0	4	5	0	0	0	3	
専攻科目群・専攻基幹科目・講義科目	運動生理学	2前	2				1					
	スポーツの測定評価	2前	2			1	1					
	スポーツ哲学	2前	2			1						
	スポーツ社会学	2前	2				1					
	スポーツ・バイオメカニクス	2後	2				1					
	スポーツ教育学	2後	2				1					
	スポーツ史	2後	2				1					
	スポーツ・マネジメント	2後	2			1						
	小計(8科目)	－	16	0	0	3	5	0	0	0	0	
専攻科目群・専攻基幹科目・実技科目	専門実技(ジョギング・ウォーキング)	1前		1				1				
	専門実技(体つくり運動)	1後		1				1				
	専門実技(水泳)	2前・後		1							3	
	専門実技(体カトレーニング)	2前・後		1							1	
	専門実技(陸上競技)	2後		1				1				
	専門実技(器械運動)	2前・後		1							1	
	専門実技(フィットネスA)	3前		1							1	
	専門実技(フィットネスB)	3後		1							1	
	専門実技(柔道)	3前		1			1					
	専門実技(ダンス)	3前・後		1		1						
	専門実技(サッカー)	2・3前・後		1		1						
	専門実技(バレーボール)	2・3前・後		1							1	
	専門実技(バスケットボール)	2・3前・後		1							1	
	専門実技(テニス)	2・3前・後		1							1	
	専門実技(ホッケー)	2・3前		1			1					
	専門実技(ラグビー)	2・3後		1		1						
	専門実技(自然活動A)	2・3前		1		1						
	専門実技(自然活動B)	2・3前		1		1						
	専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)	2・3前		1		1						
	専門実技(アクア・マリンスポーツ)	2・3前		1							1	
	専門実技(バドルスポーツ)	2・3後		1							1	
	専門実技(自然活動C)	2・3後		1							1	
	専門実技(スキー・スノーボード)	2・3後		1		1						
	小計(23科目)	－	0	23	0	4	2	2	0	0	12	
専攻基幹科目群計(31科目)				16	23	0	5	5	2	0	0	12
専攻科目群・専攻発展科目	スポーツ測定法	2後		2		1	1					
	スポーツ心理学	2後		2			1					
	健康とスポーツの医学A	2後		2		1						
	運動学	2後		2							1	
	スポーツ生理学	2・3後		2		1						
	健康と文化	2・3前		2							1	
	スポーツ政策論	2・3前		2		1						
	生涯スポーツ論	2・3後		2		1						
	スポーツ人類学	2・3前		2			1					
	スポーツ栄養学	3前		2							1	
	解剖生理学	3前		2							1	
	スポーツ測定法実習(未開講)	3前		1								
	健康とスポーツの医学B	3前		2		1						
	運動処方論	3前		2			1					
	衛生学・公衆衛生学	3前		2			1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専攻 科目群・ 専攻発展科目	生涯学習論	3前		2		1					2	
	教育と文化	3前		2			1					
	スポーツ心理学実習	3・4前		1				1				
	アスレティックトレーナー論	3・4前		2		1						
	身体文化論	3・4前		2		1						
	異文化とスポーツ	3・4前		2			1					
	スポーツと法	3・4前		2							1	
	文化資源とスポーツ	3・4前		2		1						
	レクリエーション論	3・4前		2		1						
	アダプテッドスポーツ論	3・4前		2							1	
	加齢とスポーツ	3・4後		2			1					
	健康運動プログラムの作成	3・4後		2			1					
	スポーツインストラクター指導論	3・4後		2							1	
	メンタルトレーニング論	3・4後		2							1	
	コンディショニング論	3・4後		2		1						
	スポーツコーチング論	3・4後		2		3	1	2				
	スポーツ指導者論	3・4後		2							1	
	健康・体力づくり指導法	3・4後		2							1	
	発育・発達とスポーツ	3・4後		2			1					
	学校保健	3・4後		2			1					
	教育と法	3・4後		2		1						
	エコツーリズム論	3・4後		2		1						
	スポーツ・ツーリズム論	3・4後		2		1						
	スポーツと政治	3・4後		2		1						
	国際交流とスポーツ	3・4後		2							1	
	海外スポーツ文化研修	2・3後		2		1						
	スポーツ健康実習	3後		1		1	1	1				
	スポーツ教育実習	3後		1			3					
	地域スポーツ実習	3後		1		3						
小計(44科目)	－	0	83	0	10	8	2	0	0	13		
専攻科目群計(82科目)			29	106	0	10	9	3	0	0	22	
演習 科目群	ゼミナールⅠ	3前	2			10	9	3				
	ゼミナールⅡ	3後	2			10	9	3				
	ゼミナールⅢ	4前	2			10	9	3				
	ゼミナールⅣ	4後	2			10	9	3				
	小計(4科目)	－	8	0	0	10	9	3	0	0	0	
合計(206科目)			55	292	0	11	9	4	0	0	75	
教職 課程 科目	教育学概論	1前			2	1	1					
	教職論	1・2・3前			2						1	
	教育制度論	1後			2	1	1					
	教育心理学	1後			2						2	
	特別支援教育Ⅰ	2後			1						2	
	特別支援教育Ⅱ	2後			1						4	
	道徳教育の理論と方法	2前・後			2	1					1	
	総合的な学習の時間の指導	2前			2						2	
	特別活動の指導	2後			2		1				1	
	教育の方法と技術	3後			2						1	
	生徒指導	2前			2		1				1	
	教育相談	2前			2						2	
	進路指導	2前			2						1	
	教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。)	3後～4前			3	1	2					
	教育実習Ⅱ	3後～4前			2	1	2					
	学校体験活動	3前・後			2	1	2					
	教職実践演習	4後			2	1	2					
	保健体育科教育法Ⅰ	2後			2	1					1	
	保健体育科教育法Ⅱ	3前			2		1					
	保健体育科教育法Ⅲ	3後			2		1					
	保健体育科教育法Ⅳ	3後			2		1					
	教育学演習Ⅰ	2・3前			2	1	1					
	教育学演習Ⅱ	2・3後			2	1	1					
	小計(23科目)	－	0	0	45	2	2	0	0	0	14	
合計(229科目)			－	55	292	45	11	9	4	0	0	89

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専攻科目群・ 専攻発展科目	生涯学習論	3前		2		1					2	
	教育と文化	3前		2			1					
	スポーツ心理学実習	3・4前		1			1					
	アスレティックトレーナー論	3・4前		2		1						
	身体文化論	3・4前		2		1						
	異文化とスポーツ	3・4前		2			1					
	スポーツと法	3・4後		2							2	
	文化資源とスポーツ	3・4前		2		1						
	レクリエーション論	3・4後		2		1						
	アダプテッドスポーツ論	3・4前		2							1	
	加齢とスポーツ	3・4後		2			1					
	健康運動プログラムの作成	3・4後		2			1					
	スポーツインストラクター指導論	3・4後		2							1	
	メンタルトレーニング論	3・4後・未開講		2							1	
	コンディショニング論	3・4後		2		1						
	スポーツコーチング論	3・4後		2		3	2	1				
	スポーツ指導者論	3・4後		2							1	
	健康・体力づくり指導法	3・4後		2							1	
	発育・発達とスポーツ	3・4前		2			1					
	学校保健	3・4後		2			1					
	教育と法	3・4前		2		1						
	エコツーリズム論(未開講)	3・4後		2								
	スポーツ・ツーリズム論	3・4後		2		1						
	スポーツと政治	3・4後		2		1						
	国際交流とスポーツ	3・4後		2							1	
	海外スポーツ文化研修(未開講)	2・3後		2								
	スポーツ健康実習	3後		1		1	2					
スポーツ教育実習	3後		1			3						
地域スポーツ実習	3後		1		3							
小計(44科目)	－	0	83	0	10	9	1	0	0	14		
専攻科目群計(82科目)				29	106	0	10	10	2	0	0	24
演習科目群	ゼミナールⅠ	3前	2			10	10	2				
	ゼミナールⅡ	3後	2			10	10	2				
	ゼミナールⅢ	4前	2			10	10	2				
	ゼミナールⅣ	4後	2			10	10	2				
	小計(4科目)	－	8	0	0	10	10	2	0	0	0	
合計(214科目)				55	307	0	11	10	3	0	0	113
教職課程科目	教育学概論	1前			2	1	1					
	教職論	1・2・3前・未開講			2							3
	教育制度論	1後			2	1	1					
	教育心理学	1前			2							2
	特別支援教育Ⅰ	2後			1							1
	特別支援教育Ⅱ	2後			1							3
	道徳教育の理論と方法	2前			2	1						1
	総合的な学習の時間の指導	2前・後			2							2
	特別活動の指導	2前・後			2		1					1
	教育の方法と技術	3前			2							3
	生徒指導	2前			2		1					1
	教育相談	2後			2							2
	進路指導	2前・後			2							1
	教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。)	3後～4前			3		1					1
	教育実習Ⅱ	3後～4前			2		1					1
	学校体験活動	3後			2		1					
	教職実践演習	4後			2	1						
	保健体育科教育法Ⅰ	2後			2	1						1
	保健体育科教育法Ⅱ	3前			2		1					
	保健体育科教育法Ⅲ	3前			2		1					
	保健体育科教育法Ⅳ	3後			2		1					
	教育学演習Ⅰ	2・3前			2	1	1					
	教育学演習Ⅱ	2・3後			2	1	1					
小計(23科目)	－	0	0	45	2	2	0	0	0	17		
合計(237科目)			－	55	307	45	11	10	3	0	0	129

卒業要件及び履修方法
<卒業要件単位> 124単位 ○教養基礎科目…必修10単位を含む18単位以上 ○教養発展科目…必修4単位を含む10単位以上 ○地域科目…4単位以上 ○外国語科目…必修8単位を含む10単位以上 必修外国語…(第1外国語…「英語ⅠA」「英語ⅠB」「英語ⅡA」「英語ⅡB」の4単位必修、日本語以外を母語とする学生は、英語に替えて「日本語ⅠA」「日本語ⅠB」「日本語ⅡA」「日本語ⅡB」の4単位必修、第2外国語…母語及び第1外国語以外の1言語4単位必修) 選択必修外国語…第1外国語または第2外国語として選択したいいずれか1言語2単位を選択必修 自由選択外国語科目の「日本語演習Ⅰ」「日本語演習Ⅱ」は日本語以外を母語とする学生のみ履修することができる ○キャリア教育科目…必修4単位を含む6単位以上 ○専攻導入科目…13単位必修 ○専攻基幹科目…講義科目必修16単位、実技科目選択必修5単位(「専門実技(ジョギング・ウォーキング)」「専門実技(体づくり運動)」より1単位、「専門実技(水泳)」「専門実技(体カトレーニング)」「専門実技(陸上競技)」「専門実技(器械運動)」「専門実技(フィットネスA)」「専門実技(フィットネスB)」「専門実技(柔道)」「専門実技(ダンス)」より1単位、「専門実技(サッカー)」「専門実技(バレーボール)」「専門実技(バスケットボール)」「専門実技(テニス)」「専門実技(ホッケー)」「専門実技(ラグビー)」より2単位、「専門実技(自然活動A)」「専門実技(自然活動B)」「専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)」「専門実技(アクア・マリンスポーツ)」「専門実技(バドルスポーツ)」「専門実技(自然活動C)」「専門実技(スキー・スノーボード)」より1単位)を含む21単位以上 ○専攻発展科目…「スポーツ心理学」「健康とスポーツの医学A」「運動学」「スポーツ生理学」「健康と文化」「スポーツ政策論」「生涯スポーツ論」「スポーツ人類学」より10単位、「スポーツコーチング論」「スポーツ指導者論」「アスレティックトレーナー論」より2単位、「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」より1単位を含む30単位以上 ○自由選択単位…専攻基幹科目(実技科目)及び専攻発展科目の卒業要件単位を超えた修得単位4単位以上 ○演習科目…8単位必修 ○「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」の履修条件…専攻導入科目のすべて(7科目13単位)を履修し、専攻基幹科目(講義科目)のすべて(8科目16単位)を履修し、専攻基幹科目(実技科目)のうち「ジョギング・ウォーキング」又は「体づくり運動」のいずれか1科目1単位を含む3科目3単位以上を履修した上で、進路に応じた科目として 「スポーツ健康実習」は「スポーツ生理学」「スポーツ測定法」「健康とスポーツの医学A」「健康と文化」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。 「スポーツ教育実習」は「健康と文化」「生涯スポーツ論」「運動学」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。 「地域スポーツ実習」は「運動学」「スポーツ人類学」「スポーツ政策論」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。 ○教職課程科目については、教職課程履修者のみ履修することができる。 なお、次に掲げる科目は「大学が独自に設定する科目の履修」の単位に算入できる。 「教育と法」「教育と文化」「道德教育の理論と方法」(高等学校教諭一種免許状のみ) <年間履修上限単位数> 1年次が44単位、2年次以降は46単位

卒業要件及び履修方法
<卒業要件単位> 124単位 ○教養基礎科目…必修10単位を含む18単位以上 ○教養発展科目…必修4単位を含む10単位以上 ○地域科目…4単位以上 ○外国語科目…必修8単位を含む10単位以上 必修外国語…(第1外国語…「英語ⅠA」「英語ⅠB」「英語ⅡA」「英語ⅡB」の4単位必修、日本語以外を母語とする学生は、英語に替えて「日本語ⅠA」「日本語ⅠB」「日本語ⅡA」「日本語ⅡB」の4単位必修、第2外国語…母語及び第1外国語以外の1言語4単位必修) 選択必修外国語…第1外国語または第2外国語として選択したいいずれか1言語2単位を選択必修 自由選択外国語科目の「日本語演習Ⅰ」「日本語演習Ⅱ」は日本語以外を母語とする学生のみ履修することができる ○キャリア教育科目…必修4単位を含む6単位以上 ○専攻導入科目…13単位必修 ○専攻基幹科目…講義科目必修16単位、実技科目選択必修5単位(「専門実技(ジョギング・ウォーキング)」「専門実技(体づくり運動)」より1単位、「専門実技(水泳)」「専門実技(体カトレーニング)」「専門実技(陸上競技)」「専門実技(器械運動)」「専門実技(フィットネスA)」「専門実技(フィットネスB)」「専門実技(柔道)」「専門実技(ダンス)」より1単位、「専門実技(サッカー)」「専門実技(バレーボール)」「専門実技(バスケットボール)」「専門実技(テニス)」「専門実技(ホッケー)」「専門実技(ラグビー)」より2単位、「専門実技(自然活動A)」「専門実技(自然活動B)」「専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)」「専門実技(アクア・マリンスポーツ)」「専門実技(バドルスポーツ)」「専門実技(自然活動C)」「専門実技(スキー・スノーボード)」より1単位)を含む21単位以上 ○専攻発展科目…「スポーツ心理学」「健康とスポーツの医学A」「運動学」「スポーツ生理学」「健康と文化」「スポーツ政策論」「生涯スポーツ論」「スポーツ人類学」より10単位、「スポーツコーチング論」「スポーツ指導者論」「アスレティックトレーナー論」より2単位、「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」より1単位を含む30単位以上 ○自由選択単位…専攻基幹科目(実技科目)及び専攻発展科目の卒業要件単位を超えた修得単位4単位以上 ○演習科目…8単位必修 ○「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」の履修条件…専攻導入科目のすべて(7科目13単位)を履修し、専攻基幹科目(講義科目)のすべて(8科目16単位)を履修し、専攻基幹科目(実技科目)のうち「ジョギング・ウォーキング」又は「体づくり運動」のいずれか1科目1単位を含む3科目3単位以上を履修した上で、進路に応じた科目として 「スポーツ健康実習」は「スポーツ生理学」「スポーツ測定法」「健康とスポーツの医学A」「健康と文化」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。 「スポーツ教育実習」は「健康と文化」「生涯スポーツ論」「運動学」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。 「地域スポーツ実習」は「運動学」「スポーツ人類学」「スポーツ政策論」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。 ○教職課程科目については、教職課程履修者のみ履修することができる。 なお、次に掲げる科目は「大学が独自に設定する科目の履修」の単位に算入できる。 「教育と法」「教育と文化」「道德教育の理論と方法」(高等学校教諭一種免許状のみ) <年間履修上限単位数> 1年次が44単位、2年次以降は46単位

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養基礎科目群・教養基礎科目	教養基礎講座	1前	2			3	1	1			1
	プレゼミナールⅠ	1前	2			3	7	3			3
	プレゼミナールⅡ	1後	2			3	7	3			3
	コンピュータ・リテラシーⅠ	1前	1								3
	コンピュータ・リテラシーⅡ	1後	1								3
	倫理学Ⅰ	1・2前		2							1
	倫理学Ⅱ	1・2後		2		1					
	文学Ⅰ	1・2前		2							3
	文学Ⅱ	1・2後		2							3
	こころの科学Ⅰ	1・2前		2							2
	こころの科学Ⅱ	1・2後		2							2
	日本の文化と倫理	1・2前		2		1					
	国際社会と日本	1・2後		2				1			
	北欧文化論	1・2後		2							1
	健康・スポーツ実習Ⅰ	1前	1			2		1			4
	健康・スポーツ実習Ⅱ	1後	1			2		1			4
	憲法概論	1・2後		2							2
	経済学Ⅰ	1・2前		2							1
	経済学Ⅱ	1・2後		2							1
	歴史学Ⅰ	1・2前		2							2
	歴史学Ⅱ	1・2後		2							2
	観光学	1・2後		2		1					
	現代自然科学Ⅰ	1・2前		2							1
	現代自然科学Ⅱ	1・2後		2							1
	環境生物学Ⅰ	1・2前		2							1
	環境生物学Ⅱ	1・2後		2							1
	生命の科学Ⅰ	1・2前		2							1
	生命の科学Ⅱ	1・2後		2							1
	からだの科学Ⅰ	1・2前		2							1
	からだの科学Ⅱ	1・2後		2							1
	データサイエンス入門	1・2前		2							1
	小計(31科目)	—	10	48	0	6	7	4	0	0	28
教養基礎科目群・教養発展科目	プレゼミナールⅢ	2前	2			3	6	2			3
	プレゼミナールⅣ	2後	2			3	6	2			3
	日本の暮らしと文化	2・3後		2		1					
	欧米の暮らしと文化	2・3後		2				1			
	異文化と文学	2・3後		2							1
	日本伝統文化論	2・3後		2		1					
	コミュニケーション論	2・3後		2							1
	インターネット文化論	2・3前		2							1
	子ども文化論	2・3後		2							1
	現代人と心理Ⅰ	2・3前		2							1
	現代人と心理Ⅱ	2・3前		2							1
	現代社会と法	2・3後		2							1
	ライフサイクルと社会保障	2・3後		2							1
	労働と社会	2・3前		2							1
	ジェンダー論	2・3前		2		1					1
	ホスピタリティ論	2・3前		2							1
	現代社会とメディア	2・3前		2							1
	人工知能概論	2・3後		2							1
	データリテラシー入門	2・3前・後		1							2
	労働衛生Ⅰ	2前		2			1				
	労働衛生Ⅱ	2・3後		2			1				
	労働基準法	2・3後		2							1
	労働安全衛生法Ⅰ	2・3前		2							1
	労働安全衛生法Ⅱ	2・3前		2							1
	小計(24科目)	—	4	43	0	4	6	2	0	0	19

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養基礎科目群・教養基礎科目	教養基礎講座	1前	2			3	1	1			1
	プレゼミナールⅠ	1前	2			3	6	4			3
	プレゼミナールⅡ	1後	2			3	6	4			3
	コンピュータ・リテラシーⅠ	1前	1								4
	コンピュータ・リテラシーⅡ	1後	1								4
	倫理学Ⅰ	1・2前		2							1
	倫理学Ⅱ	1・2後		2		1					
	文学Ⅰ	1・2前		2							3
	文学Ⅱ	1・2後		2							3
	こころの科学Ⅰ	1・2前		2							2
	こころの科学Ⅱ	1・2後		2							2
	日本の文化と倫理	1・2前		2		1					
	国際社会と日本	1・2後		2				1			
	北欧文化論	1・2後		2							1
	健康・スポーツ実習Ⅰ	1前	1			1		1			3
	健康・スポーツ実習Ⅱ	1後	1			1		1			3
	憲法概論	1・2後		2							2
	経済学Ⅰ	1・2後		2							1
	経済学Ⅱ	1・2後		2							1
	歴史学Ⅰ	1・2前		2							2
	歴史学Ⅱ	1・2後		2							2
	観光学	1・2後		2		1					
	現代自然科学Ⅰ	1・2前		2							1
	現代自然科学Ⅱ	1・2後		2							1
	環境生物学Ⅰ	1・2前		2							1
	環境生物学Ⅱ	1・2後		2							1
	生命の科学Ⅰ	1・2前		2							1
	生命の科学Ⅱ	1・2後		2							1
	からだの科学Ⅰ	1・2前		2							1
	からだの科学Ⅱ	1・2後		2							1
	小計(30科目)	—	10	46	0	5	6	5	0	0	27
教養基礎科目群・教養発展科目	プレゼミナールⅢ	2前	2			2	6	1			4
	プレゼミナールⅣ	2後	2			2	6	2			3
	日本の暮らしと文化	2・3前		2		1					
	欧米の暮らしと文化	2・3後		2				1			
	異文化と文学	2・3前		2							1
	日本伝統文化論	2・3後		2		1					
	コミュニケーション論	2・3後		2							1
	インターネット文化論	2・3前		2							1
	子ども文化論	2・3後		2							1
	現代人と心理Ⅰ	2・3前		2							1
	現代人と心理Ⅱ	2・3前		2							1
	現代社会と法	2・3後		2							1
	ライフサイクルと社会保障	2・3後		2							1
	労働と社会(未開講)	2・3後		2							
	ジェンダー論	2・3前・後		2		1					1
	ホスピタリティ論	2・3前		2							1
	現代社会とメディア	2・3前		2							1
	人工知能概論	2・3後		2							1
	労働衛生Ⅰ	2前		2			1				
	労働衛生Ⅱ	2・3後		2			1				
	労働基準法	2・3後		2							1
	労働安全衛生法Ⅰ	2・3前		2							1
	労働安全衛生法Ⅱ	2・3後		2							1
	小計(23科目)	—	4	42	0	3	6	2	0	0	17

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教養基礎科目群・地域科目	歴史探訪	1・2後		2		1					1
	フィールドトリップ	1・2後		2		1	1				1
	地域と文学	1・2前		2							1
	飯能学	1・2前		2		1					
	地域社会と観光	1・2前		2		1					
	地域環境論	1・2前		2							1
	森林文化Ⅰ	1・2前		2		1					2
	森林文化Ⅱ	1・2後		2		1					2
	地域社会と経済	1・2前		2							3
	地域社会と環境	1・2後		2							1
	地域と金融	1・2後		2							1
	地域企業論	1・2前		2							1
	地域と社会	1・2後		2							1
	地域と歴史	1・2後		2							3
	インターンシップⅠ	2・3通		4							6
	インターンシップⅡ	1・2・3前・後		2							4
まちづくり実践	1・2・3前・後		2		2					2	
	小計(17科目)	—	0	36	0	4	1	0	0	0	24
共通教養科目群・外国語科目・必修外国語	英語ⅠA	1前		1							7
	英語ⅠB	1後		1							7
	英語ⅡA	1前		1				1			4
	英語ⅡB	1後		1				1			4
	日本語ⅠA	1前		1							2
	日本語ⅠB	1後		1							2
	日本語ⅡA	1前		1							2
	日本語ⅡB	1後		1							2
	ドイツ語ⅠA	1前		1			1				
	ドイツ語ⅠB	1後		1			1				
	ドイツ語ⅡA	1前		1							1
	ドイツ語ⅡB	1後		1							1
	フランス語ⅠA	1前		1							1
	フランス語ⅠB	1後		1							1
	フランス語ⅡA	1前		1							1
	フランス語ⅡB	1後		1							1
	中国語ⅠA	1前		1							3
	中国語ⅠB	1後		1							3
	中国語ⅡA	1前		1							2
	中国語ⅡB	1後		1							2
	韓国語ⅠA	1前		1							2
	韓国語ⅠB	1後		1							2
	韓国語ⅡA	1前		1							2
	韓国語ⅡB	1後		1							2
	小計(24科目)	—	0	24	0	0	1	1	0	0	24
共通教養科目群・外国語科目・選択必修外国語	英語ⅢA	2前		1							5
	英語ⅢB	2後		1							5
	日本語ⅢA	2前		1							2
	日本語ⅢB	2後		1							2
	ドイツ語ⅢA	2前		1							1
	ドイツ語ⅢB	2後		1							1
	フランス語ⅢA	2前		1							1
	フランス語ⅢB	2後		1							1
	中国語ⅢA	2前		1							1
	中国語ⅢB	2後		1							1
	韓国語ⅢA	2前		1							1
	韓国語ⅢB	2後		1							1
	小計(12科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	11
共通教養科目群・外国語科目・自由選択外国語	英語演習Ⅰ	1・2・3前		2				1			4
	英語演習Ⅱ	1・2・3後		2					1		5
	ドイツ語演習Ⅰ	2・3前		2			1				
	ドイツ語演習Ⅱ	2・3後		2			1				
	フランス語演習Ⅰ	2・3前		2							1
	フランス語演習Ⅱ	2・3後		2							1
	中国語演習Ⅰ	2・3前		2							1
	中国語演習Ⅱ	2・3後		2							1
	韓国語演習Ⅰ	2・3前		2							1
	韓国語演習Ⅱ	2・3後		2							1
	日本語演習Ⅰ	2・3前		2							1
	日本語演習Ⅱ	2・3後		2							1
	海外語学演習	2・3通		4				1			3
		小計(13科目)	—	0	28	0	0	1	1	0	0
外国語科目計(49科目)		—	0	64	0	0	1	1	0	0	30

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教養基礎科目群・地域科目	歴史探訪	1・2後		2		1					1
	フィールドトリップ	1・2後		2		1	1				1
	地域と文学	1・2後		2							1
	飯能学	1・2後		2		1					
	地域社会と観光	1・2前		2		1					
	地域環境論	1・2前		2							1
	森林文化Ⅰ	1・2前		2							3
	森林文化Ⅱ	1・2後		2		1					3
	地域社会と経済	1・2前		2							3
	地域社会と環境	1・2後		2							1
	地域と金融	1・2後		2							1
	地域企業論(未開講)	1・2後		2							
	地域と社会(未開講)	1・2前		2							
	地域と歴史	1・2前		2							1
インターンシップⅠ	2・3通		4							6	
インターンシップⅡ	1・2・3前・後		2							6	
まちづくり実践	1・2・3前・後		2		1					4	
	小計(17科目)	—	0	36	0	3	1	0	0	0	26
共通教養科目群・外国語科目・必修外国語	英語ⅠA	1前		1							8
	英語ⅠB	1後		1							8
	英語ⅡA	1前		1							7
	英語ⅡB	1後		1			1				6
	日本語ⅠA	1前		1							2
	日本語ⅠB	1後		1							2
	日本語ⅡA	1前		1							2
	日本語ⅡB	1後		1							2
	ドイツ語ⅠA	1前		1			1				
	ドイツ語ⅠB	1後		1			1				
	ドイツ語ⅡA	1前		1							1
	ドイツ語ⅡB	1後		1							1
	フランス語ⅠA	1前		1							1
	フランス語ⅠB	1後		1							1
	フランス語ⅡA	1前		1							1
	フランス語ⅡB	1後		1							1
	中国語ⅠA	1前		1							3
	中国語ⅠB	1後		1							3
	中国語ⅡA	1前		1							3
	中国語ⅡB	1後		1							3
	韓国語ⅠA	1前		1							3
	韓国語ⅠB	1後		1							3
	韓国語ⅡA	1前		1							2
	韓国語ⅡB	1後		1							2
	小計(24科目)	—	0	24	0	0	1	1	0	0	31
共通教養科目群・外国語科目・選択必修外国語	英語ⅢA	2前		1							8
	英語ⅢB	2後		1							8
	日本語ⅢA	2前		1							3
	日本語ⅢB	2後		1							3
	ドイツ語ⅢA	2前		1							1
	ドイツ語ⅢB	2後		1							1
	フランス語ⅢA	2前		1							1
	フランス語ⅢB	2後		1							1
	中国語ⅢA	2前		1							1
	中国語ⅢB	2後		1							1
	韓国語ⅢA	2前		1							2
	韓国語ⅢB	2後		1							2
	小計(12科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	17
共通教養科目群・外国語科目・自由選択外国語	英語演習Ⅰ	1・2・3前		2							4
	英語演習Ⅱ	1・2・3前		2							3
	ドイツ語演習Ⅰ	2・3前		2							1
	ドイツ語演習Ⅱ	2・3後		2							1
	フランス語演習Ⅰ	2・3前		2							1
	フランス語演習Ⅱ	2・3後		2							1
	中国語演習Ⅰ	2・3前		2							2
	中国語演習Ⅱ	2・3後		2							2
	韓国語演習Ⅰ	2・3前		2							1
	韓国語演習Ⅱ	2・3後		2							1
	日本語演習Ⅰ	2・3前		2							2
	日本語演習Ⅱ	2・3後		2							2
	海外語学演習	2・3通		4							1
		小計(13科目)	—	0	28	0	0	0	0	0	0
外国語科目計(49科目)		—	0	64	0	0	1	1	0	0	47

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通教養科目群・キャリア教育科目	キャリア基礎Ⅰ	1前	2								1	
	キャリア基礎Ⅱ	1後		2							2	
	キャリア発展	2前・後		2							2	
	ライフプランニング	2前・後		2							1	
	キャリア実践論Ⅰ	3前	2								2	
	キャリア実践論Ⅱ	3後		2							1	
	キャリア実践論Ⅲ	3後		2							1	
	小計(7科目)	－	4	10	0	0	0	0	0	0	2	
共通教養科目群計(128科目)				18	201	0	9	8	4	0	0	90
専攻科目群・専攻導入科目	スポーツ科学入門A	1前	2			1	2					
	スポーツ科学入門B	1前	2			1	2					
	救急処置法	1後	2			1	1				2	
	トレーニングサイエンス	1後	2			1						
	ヘルスサイエンス	1後	2				1					
	スポーツ文化論	1後	2				1					
	チームビルディング	1前	1			1					1	
	小計(7科目)	－	13	0	0	4	5	0	0	0	3	
専攻科目群・専攻基幹科目・講義科目	運動生理学	2前	2				1					
	スポーツの測定評価	2前	2			1	1					
	スポーツ哲学	2前	2			1						
	スポーツ社会学	2前	2				1					
	スポーツ・バイオメカニクス	2後	2				1					
	スポーツ教育学	2後	2				1					
	スポーツ史	2後	2				1					
	スポーツ・マネジメント	2後	2			1						
	小計(8科目)	－	16	0	0	3	5	0	0	0	0	
専攻科目群・専攻基幹科目・実技科目	専門実技(ジョギング・ウォーキング)	1前		1				1				
	専門実技(体づくり運動)	1後		1				1				
	専門実技(水泳)	2前・後		1							2	
	専門実技(体カトレーニング)	2前・後		1							1	
	専門実技(陸上競技)	2後		1				1				
	専門実技(器械運動)	2後		1							1	
	専門実技(フィットネスA)	3前		1							1	
	専門実技(フィットネスB)	3後		1							1	
	専門実技(柔道)	3前		1			1					
	専門実技(ダンス)	3前・後		1		1						
	専門実技(サッカー)	2・3前・後		1		1						
	専門実技(バレーボール)	2・3前・後		1							1	
	専門実技(バスケットボール)	2・3前・後		1							1	
	専門実技(テニス)	2・3前・後		1							1	
	専門実技(ホッケー)	2・3前		1			1					
	専門実技(ラグビー)	2・3後		1		1						
	専門実技(自然活動A)	2・3前		1		1						
	専門実技(自然活動B)	2・3前		1		1						
	専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)	2・3前		1		1						
	専門実技(アクア・マリンスポーツ)	2・3前		1							1	
	専門実技(バドルスポーツ)	2・3後		1							1	
	専門実技(自然活動C)	2・3後		1							1	
	専門実技(スキー・スノーボード)	2・3後		1		1						
	小計(23科目)	－	0	23	0	4	2	2	0	0	10	
専攻基幹科目群計(31科目)				16	23	0	5	5	2	0	0	10
専攻科目群・専攻発展科目	スポーツ測定法	2後		2		1	1					
	スポーツ心理学	2後		2				1				
	健康とスポーツの医学A	2後		2		1						
	運動学	2前		2							1	
	スポーツ生理学	2・3後		2		1						
	健康と文化	2・3前		2							1	
	スポーツ政策論	2・3前		2		1						
	生涯スポーツ論	2・3後		2		1						
	スポーツ人類学	2・3前		2			1					
	スポーツ栄養学	3前		2				1			1	
	解剖生理学	3前		2							1	
	スポーツ測定法実習	3前		1		1	1					
	健康とスポーツの医学B	3前		2		1						
	運動処方論	3前		2			1					
	衛生学・公衆衛生学	3前		2			1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通 教養 科目 群・キ ャリ ア 教育 科目	キャリア基礎Ⅰ	1前	2								1	
	キャリア基礎Ⅱ	1後		2							2	
	キャリア発展	2前・後		2							2	
	ライフプランニング	2前・後		2							1	
	キャリア実践論Ⅰ	3前	2								2	
	キャリア実践論Ⅱ	3後		2							1	
	キャリア実践論Ⅲ	3後		2							1	
	小計(7科目)	－	4	10	0	0	0	0	0	0	2	
共通教養科目群計(126科目)				18	198	0	7	7	5	0	0	105
専 攻 科 目 群・専 攻 導 入 科 目	スポーツ科学入門A	1前	2			1	2					
	スポーツ科学入門B	1前	2			1	2					
	救急処置法	1後	2			1	1				1	
	トレーニングサイエンス	1後	2			1						
	ヘルスサイエンス	1後	2				1					
	スポーツ文化論	1後	2				1					
	チームビルディング	1前	1			1					1	
	小計(7科目)	－	13	0	0	4	5	0	0	0	2	
専 攻 科 目 群・専 攻 基 幹 科 目・講 義 科 目	運動生理学	2前	2				1					
	スポーツの測定評価	2前	2			1	1					
	スポーツ哲学	2前	2			1						
	スポーツ社会学	2前	2				1					
	スポーツ・バイオメカニクス	2後	2				1					
	スポーツ教育学	2後	2				1					
	スポーツ史	2後	2				1					
	スポーツ・マネジメント	2後	2			1						
	小計(8科目)	－	16	0	0	3	5	0	0	0	0	
専 攻 科 目 群・専 攻 基 幹 科 目・実 技 科 目	専門実技(ジョギング・ウォーキング)	1前		1				1				
	専門実技(体づくり運動)	1前		1				1				
	専門実技(水泳)	2前・後		1							2	
	専門実技(体カトレーニング)	2前・後		1							1	
	専門実技(陸上競技)	2後		1				1				
	専門実技(器械運動)	2後		1							1	
	専門実技(フィットネスA)	3前		1							1	
	専門実技(フィットネスB)	3後		1							1	
	専門実技(柔道)	3前・後		1			1					
	専門実技(ダンス)	3前・後		1		1						
	専門実技(サッカー)	2・3前・後		1		1						
	専門実技(バレーボール)	2・3前・後		1							1	
	専門実技(バスケットボール)	2・3前・後		1							1	
	専門実技(テニス)	2・3前・後		1							1	
	専門実技(ホッケー)	2・3前		1			1					
	専門実技(ラグビー)(赤開講)	2・3後		1								
	専門実技(自然活動A)	2・3前		1		1						
	専門実技(自然活動B)	2・3前		1		1						
	専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)	2・3前		1		1						
	専門実技(アクア・マリンスポーツ)(赤開講)	2・3前		1								
	専門実技(バドルスポーツ)	2・3後		1							1	
	専門実技(自然活動C)	2・3後		1							1	
	専門実技(スキー・スノーボード)(赤開講)	2・3後		1								
	小計(23科目)	－	0	23	0	3	2	2	0	0	9	
専攻基幹科目群計(31科目)				16	23	0	4	5	2	0	0	9
専 攻 科 目 群・専 攻 発 展 科 目	スポーツ測定法	2後		2		1	1					
	スポーツ心理学	2後		2				1				
	健康とスポーツの医学A	2前・後		2		1						
	運動学	2前		2							1	
	スポーツ生理学	2・3前		2		1						
	健康と文化	2・3前		2							1	
	スポーツ政策論	2・3前		2		1						
	生涯スポーツ論	2・3後		2		1						
	スポーツ人類学	2・3前		2				1				
	スポーツ栄養学	3前		2							1	
	解剖生理学	3前		2							1	
	スポーツ測定法実習	3前		1		1	1					
	健康とスポーツの医学B	3前		2		1						
	運動処方論	3前		2			1					
	衛生学・公衆衛生学	3前		2			1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専攻科目群・専攻発展科目	生涯学習論	3前		2		1					2	
	教育と文化	3前		2			1					
	スポーツ心理学実習	3・4前		1				1				
	アスレティックトレーナー論	3・4前		2		1						
	身体文化論	3・4前		2		1						
	異文化とスポーツ	3・4前		2			1					
	スポーツと法	3・4後		2							2	
	文化資源とスポーツ	3・4前		2		1						
	レクリエーション論	3・4後		2		1						
	アダプテッドスポーツ論	3・4前		2							1	
	加齢とスポーツ	3・4後		2			1					
	健康運動プログラムの作成	3・4後		2			1					
	スポーツインストラクター指導論	3・4後		2							1	
	メンタルトレーニング論	3・4後		2							1	
	コンディショニング論	3・4後		2		1						
	スポーツコーチング論	3・4後		2		3	1	2				
	スポーツ指導者論	3・4後		2							1	
	健康・体力づくり指導法	3・4後		2							1	
	発育・発達とスポーツ	3・4前		2			1					
	学校保健	3・4後		2			1					
	教育と法	3・4前		2		1						
	エコツーリズム論	3・4後		2		1						
	スポーツ・ツーリズム論	3・4後		2		1						
	スポーツと政治	3・4後		2		1						
	国際交流とスポーツ	3・4後		2							1	
	海外スポーツ文化研修(未開講)	2・3後		2								
	スポーツ健康実習	3後				1	1	1				
	スポーツ教育実習	3後		1			3					
	地域スポーツ実習	3後		1		3						
	小計(44科目)	－	0	83	0	10	8	2	0	0	14	
専攻科目群計(82科目)			29	106	0	10	9	3	0	0	24	
演習科目群	ゼミナールⅠ	3前	2			10	9	3				
	ゼミナールⅡ	3後	2			10	9	3				
	ゼミナールⅢ	4前	2			10	9	3				
	ゼミナールⅣ	4後	2			10	9	3				
	小計(4科目)	－	8	0	0	10	9	3	0	0	0	
合計(214科目)			55	307	0	11	9	4	0	0	112	
教職課程科目	教育学概論	1前			2	1	1					
	教職論	1・2・3前			2						3	
	教育制度論	1後			2	1	1					
	教育心理学	1前・後			2						2	
	特別支援教育Ⅰ	2後			1						1	
	特別支援教育Ⅱ	2後			1						3	
	道徳教育の理論と方法	2前・後			2	1					1	
	総合的な学習の時間の指導	2前・後			2						2	
	特別活動の指導	2前・後			2		1				1	
	教育の方法と技術	3前			2						3	
	生徒指導	2前・後			2		1				1	
	教育相談	2前			2						2	
	進路指導	2前			2						1	
	教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。)	3後～4前			3		2				1	
	教育実習Ⅱ	3後～4前			2		2				1	
	学校体験活動	3後			2		1					
	教職実践演習	4後			2	1	1					
	保健体育科教育法Ⅰ	2後			2	1					1	
	保健体育科教育法Ⅱ	3前			2		1					
	保健体育科教育法Ⅲ	3前			2		1					
	保健体育科教育法Ⅳ	3後			2		1					
	教育学演習Ⅰ	2・3前			2	1	1					
	教育学演習Ⅱ	2・3後			2	1						
小計(23科目)	－	0	0	45	2	2	0	0	0	17		
合計(237科目)			－	55	307	45	11	9	4	0	0	127

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目群・ 専攻発展科目	生涯学習論	3前		2		1					2	
	教育と文化	3前		2				1				
	スポーツ心理学実習	3・4前		1				1				
	アスレティックトレーナー論	3・4前		2		1						
	身体文化論	3・4前		2		1						
	異文化とスポーツ	3・4前		2			1					
	スポーツと法	3・4前		2							1	
	文化資源とスポーツ	3・4前		2		1						
	レクリエーション論	3・4前		2		1						
	アダプテッドスポーツ論	3・4前		2							1	
	加齢とスポーツ	3・4後		2			1					
	健康運動プログラムの作成	3・4後		2			1					
	スポーツインストラクター指導論	3・4後		2							1	
	メンタルトレーニング論	3・4後		2							1	
	コンディショニング論	3・4後		2		1						
	スポーツコーチング論	3・4後		2		3	1	2				
	スポーツ指導者論	3・4後		2							1	
	健康・体力づくり指導法	3・4後		2								
	発育・発達とスポーツ	3・4後		2			1					
	学校保健	3・4後		2			1					
	教育と法	3・4後		2		1						
	エコツーリズム論	3・4後		2		1						
	スポーツ・ツーリズム論	3・4後		2		1						
	スポーツと政治	3・4後		2		1						
	国際交流とスポーツ	3・4後		2							1	
	海外スポーツ文化研修(未開講)	2・3後		2								
	スポーツ健康実習	3後		1		1	1	1				
	スポーツ教育実習	3後		1			2	1				
	地域スポーツ実習	3後		1		3						
小計(44科目)	－	0	83	0	10	7	3	0	0	12		
専攻科目群計(82科目)			29	106	0	10	8	4	0	0	20	
演習 科目 群	ゼミナールⅠ	3前	2			10	8	4				
	ゼミナールⅡ	3後	2			10	8	4				
	ゼミナールⅢ	4前	2			10	8	4				
	ゼミナールⅣ	4後	2			10	8	4				
	小計(4科目)	－	8	0	0	10	8	4	0	0	0	
合計(212科目)			55	304	0	11	8	5	0	0	124	
教職課程 科目	教育学概論	1前		2	1		1					
	教職論	1・2・3前		2							3	
	教育制度論	1後		2	1		1					
	教育心理学	1前・後		2							1	
	特別支援教育Ⅰ	2後		1							1	
	特別支援教育Ⅱ	2後		1							3	
	道徳教育の理論と方法	2前・後		2	1						1	
	総合的な学習の時間の指導	2前・後		2							2	
	特別活動の指導	2前・後		2		1					1	
	教育の方法と技術	3後		2							1	
	生徒指導	2前・後		2		1					1	
	教育相談	2前		2							2	
	進路指導	2前		2							1	
	教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。)	3後～4前		3	1	1	1					
	教育実習Ⅱ	3後～4前		2	1	1	1					
	学校体験活動	3前・後		2	1	1	1					
	教職実践演習	4後		2	1	1	1					
	保健体育科教育法Ⅰ	2後		2	1						1	
	保健体育科教育法Ⅱ	3前		2		1						
	保健体育科教育法Ⅲ	3後		2		1						
	保健体育科教育法Ⅳ	3後		2		1						
	教育学演習Ⅰ	2・3前		2	1		1					
	教育学演習Ⅱ	2・3後		2	1		1					
小計(23科目)	－	0	0	45	2	1	1	0	0	15		
合計(235科目)			－	55	304	45	11	8	5	0	0	139

卒業要件及び履修方法
＜卒業要件単位＞ 124単位 ○教養基礎科目…必修10単位を含む18単位以上 ○教養発展科目…必修4単位を含む10単位以上 ○地域科目…4単位以上 ○外国語科目…必修8単位を含む10単位以上 必修外国語…(第1外国語…「英語ⅠA」「英語ⅠB」「英語ⅡA」「英語ⅡB」の4単位必修、日本語以外を母語とする学生は、英語に替えて「日本語ⅠA」「日本語ⅠB」「日本語ⅡA」「日本語ⅡB」の4単位必修、第2外国語…母語及び第1外国語以外の1言語4単位必修) 選択必修外国語…第1外国語または第2外国語として選択したいいずれか1言語2単位を選択必修 自由選択外国語科目の「日本語演習Ⅰ」「日本語演習Ⅱ」は日本語以外を母語とする学生のみ履修することができる ○キャリア教育科目…必修4単位を含む6単位以上 ○専攻導入科目…13単位必修 ○専攻基幹科目…講義科目必修16単位、実技科目選択必修5単位(「専門実技(ジョギング・ウォーキング)」「専門実技(体づくり運動)」より1単位、「専門実技(水泳)」「専門実技(体カトレーニング)」「専門実技(陸上競技)」「専門実技(器械運動)」「専門実技(フィットネスA)」「専門実技(フィットネスB)」「専門実技(柔道)」「専門実技(ダンス)」より1単位、「専門実技(サッカー)」「専門実技(バレーボール)」「専門実技(バスケットボール)」「専門実技(テニス)」「専門実技(ホッケー)」「専門実技(ラグビー)」より2単位、「専門実技(自然活動A)」「専門実技(自然活動B)」「専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)」「専門実技(アクア・マリンスポーツ)」「専門実技(バドルスポーツ)」「専門実技(自然活動C)」「専門実技(スキー・スノーボード)」より1単位)を含む21単位以上 ○専攻発展科目…「スポーツ測定法」「健康とスポーツの医学A」「運動学」「スポーツ生理学」「健康と文化」「スポーツ政策論」「生涯スポーツ論」「スポーツ人類学」より10単位、「スポーツコーチング論」「スポーツ指導者論」「アスレティックトレーナー論」より2単位、「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」より1単位を含む30単位以上 ○自由選択単位…専攻基幹科目(実技科目)及び専攻発展科目の卒業要件単位を超えた修得単位4単位以上 ○演習科目…8単位必修 ○「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」の履修条件…専攻導入科目のすべて(7科目13単位)を履修し、専攻基幹科目(講義科目)のすべて(8科目16単位)を履修し、専攻基幹科目(実技科目)のうち「ジョギング・ウォーキング」又は「体づくり運動」のいずれか1科目1単位を含む3科目3単位以上を履修した上で、進路に応じた科目として 「スポーツ健康実習」は「スポーツ生理学」「スポーツ測定法」「健康とスポーツの医学A」「健康と文化」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。 「スポーツ教育実習」は「健康と文化」「生涯スポーツ論」「運動学」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。 「地域スポーツ実習」は「運動学」「スポーツ人類学」「スポーツ政策論」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。 ○教職課程科目については、教職課程履修者のみ履修することができる。 なお、次に掲げる科目は「大学が独自に設定する科目の履修」の単位に算入できる。 「教育と法」「教育と文化」「道德教育の理論と方法」(高等学校教諭一種免許状のみ) ＜年間履修上限単位数＞ 1年次が44単位、2年次以降は46単位

卒業要件及び履修方法
＜卒業要件単位＞ 124単位 ○教養基礎科目…必修10単位を含む18単位以上 ○教養発展科目…必修4単位を含む10単位以上 ○地域科目…4単位以上 ○外国語科目…必修8単位を含む10単位以上 必修外国語…(第1外国語…「英語ⅠA」「英語ⅠB」「英語ⅡA」「英語ⅡB」の4単位必修、日本語以外を母語とする学生は、英語に替えて「日本語ⅠA」「日本語ⅠB」「日本語ⅡA」「日本語ⅡB」の4単位必修、第2外国語…母語及び第1外国語以外の1言語4単位必修) 選択必修外国語…第1外国語または第2外国語として選択したいいずれか1言語2単位を選択必修 自由選択外国語科目の「日本語演習Ⅰ」「日本語演習Ⅱ」は日本語以外を母語とする学生のみ履修することができる ○キャリア教育科目…必修4単位を含む6単位以上 ○専攻導入科目…13単位必修 ○専攻基幹科目…講義科目必修16単位、実技科目選択必修5単位(「専門実技(ジョギング・ウォーキング)」「専門実技(体づくり運動)」より1単位、「専門実技(水泳)」「専門実技(体カトレーニング)」「専門実技(陸上競技)」「専門実技(器械運動)」「専門実技(フィットネスA)」「専門実技(フィットネスB)」「専門実技(柔道)」「専門実技(ダンス)」より1単位、「専門実技(サッカー)」「専門実技(バレーボール)」「専門実技(バスケットボール)」「専門実技(テニス)」「専門実技(ホッケー)」「専門実技(ラグビー)」より2単位、「専門実技(自然活動A)」「専門実技(自然活動B)」「専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)」「専門実技(アクア・マリンスポーツ)」「専門実技(バドルスポーツ)」「専門実技(自然活動C)」「専門実技(スキー・スノーボード)」より1単位)を含む21単位以上 ○専攻発展科目…「スポーツ測定法」「健康とスポーツの医学A」「運動学」「スポーツ生理学」「健康と文化」「スポーツ政策論」「生涯スポーツ論」「スポーツ人類学」より10単位、「スポーツコーチング論」「スポーツ指導者論」「アスレティックトレーナー論」より2単位、「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」より1単位を含む30単位以上 ○自由選択単位…専攻基幹科目(実技科目)及び専攻発展科目の卒業要件単位を超えた修得単位4単位以上 ○演習科目…8単位必修 ○「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」の履修条件…専攻導入科目のすべて(7科目13単位)を履修し、専攻基幹科目(講義科目)のすべて(8科目16単位)を履修し、専攻基幹科目(実技科目)のうち「ジョギング・ウォーキング」又は「体づくり運動」のいずれか1科目1単位を含む3科目3単位以上を履修した上で、進路に応じた科目として 「スポーツ健康実習」は「スポーツ生理学」「スポーツ測定法」「健康とスポーツの医学A」「健康と文化」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。 「スポーツ教育実習」は「健康と文化」「生涯スポーツ論」「運動学」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。 「地域スポーツ実習」は「運動学」「スポーツ人類学」「スポーツ政策論」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。 ○教職課程科目については、教職課程履修者のみ履修することができる。 なお、次に掲げる科目は「大学が独自に設定する科目の履修」の単位に算入できる。 「教育と法」「教育と文化」「道德教育の理論と方法」(高等学校教諭一種免許状のみ) ＜年間履修上限単位数＞ 1年次が44単位、2年次以降は46単位

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
教養基礎科目群・教養基礎科目	教養基礎講座	1前	2			3	1	1			1
	プレゼミナールⅠ	1前	2			3	4	4			4
	プレゼミナールⅡ	1後	2			3	4	4			4
	コンピュータ・リテラシーⅠ	1前	1								4
	コンピュータ・リテラシーⅡ	1後	1								4
	倫理学Ⅰ	1・2前		2							1
	倫理学Ⅱ	1・2後		2		1					
	文学Ⅰ	1・2前		2							3
	文学Ⅱ	1・2後		2							3
	こころの科学Ⅰ	1・2前		2							2
	こころの科学Ⅱ	1・2後		2							2
	日本の文化と倫理	1・2前		2		1					
	国際社会と日本	1・2後		2				1			
	北欧文化論	1・2後		2							1
	健康・スポーツ実習Ⅰ	1前	1			1		1			4
	健康・スポーツ実習Ⅱ	1後	1			1		1			4
	憲法概論	1・2後		2							2
	経済学Ⅰ	1・2後		2							1
	経済学Ⅱ	1・2前		2							1
	歴史学Ⅰ	1・2前		2							3
	歴史学Ⅱ	1・2後		2							2
	観光学	1・2後		2		1					
	現代自然科学Ⅰ	1・2前		2							1
	現代自然科学Ⅱ	1・2後		2							1
	環境生物学Ⅰ	1・2前		2							1
	環境生物学Ⅱ	1・2後		2							1
	生命の科学Ⅰ(未開講)	1・2前		2							
	生命の科学Ⅱ(未開講)	1・2後		2							
	からだの科学Ⅰ	1・2前		2							1
	からだの科学Ⅱ	1・2後		2							1
	小計(30科目)	—	10	46	0	5	4	5	0	0	29
教養基礎科目群・教養発展科目	プレゼミナールⅢ	2前	2			4	5	2			4
	プレゼミナールⅣ	2後	2			4	5	2			4
	日本の暮らしと文化	2・3前		2		1					
	欧米の暮らしと文化	2・3後		2				1			
	異文化と文学	2・3前		2							1
	日本伝統文化論	2・3後		2		1					
	コミュニケーション論	2・3後		2							1
	インターネット文化論	2・3前		2							1
	子ども文化論	2・3前・後		2							1
	現代人と心理Ⅰ	2・3前		2							1
	現代人と心理Ⅱ	2・3後		2							1
	現代社会と法	2・3前		2							1
	ライフサイクルと社会保障	2・3後		2							1
	労働と社会	2・3後		2							1
	ジェンダー論	2・3後		2		1					1
	ホスピタリティ論	2・3後		2							1
	現代社会とメディア	2・3後		2							1
	人工知能概論	2・3後		2							1
	労働衛生Ⅰ	2前		2			1				
	労働衛生Ⅱ	2・3後		2			1				
	労働基準法	2・3前		2							1
	労働安全衛生法Ⅰ	2・3前		2							1
	労働安全衛生法Ⅱ	2・3後		2							1
	小計(23科目)	—	4	42	0	5	5	2	0	0	17

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教養基礎科目群・地域科目	歴史探訪	1・2後		2		1					1
	フィールドトリップ	1・2後		2		1	1				1
	地域と文学	1・2後		2							1
	飯能学	1・2前		2		1					
	地域社会と観光	1・2前		2		1					
	地域環境論(未開講)	1・2前		2							
	森林文化Ⅰ	1・2前		2		1					3
	森林文化Ⅱ	1・2後		2							3
	地域と歴史	1・2後		2							1
	インターンシップⅠ	2・3通		4							3
共通教養科目群・外国語科目・必修外国語	インターンシップⅡ	1・2・3前・後		2							8
	まちづくり実践	1・2・3前・後		2		2					4
	小計(12科目)	—	0	26	0	4	1	0	0	0	18
	英語ⅠA	1前		1							8
	英語ⅠB	1後		1							8
	英語ⅡA	1前		1				1			5
	英語ⅡB	1後		1				1			5
	日本語ⅠA	1前		1							2
	日本語ⅠB	1後		1							2
	日本語ⅡA	1前		1							2
共通教養科目群・外国語科目・選択必修外国語	日本語ⅡB	1後		1							2
	ドイツ語ⅠA	1前		1			1				
	ドイツ語ⅠB	1後		1			1				
	ドイツ語ⅡA	1前		1							1
	ドイツ語ⅡB	1後		1							1
	フランス語ⅠA	1前		1							1
	フランス語ⅠB	1後		1							1
	フランス語ⅡA	1前		1							1
	フランス語ⅡB	1後		1							1
	中国語ⅠA	1前		1							3
共通教養科目群・外国語科目・自由選択外国語	中国語ⅠB	1後		1							3
	中国語ⅡA	1前		1							3
	中国語ⅡB	1後		1							3
	韓国語ⅠA	1前		1							2
	韓国語ⅠB	1後		1							2
	韓国語ⅡA	1前		1							2
	韓国語ⅡB	1後		1							2
	小計(24科目)	—	0	24	0	0	1	1	0	0	27
	英語ⅢA	2前		1							4
	英語ⅢB	2後		1							4
共通教養科目群・外国語科目・自由選択外国語	日本語ⅢA	2前		1							1
	日本語ⅢB	2後		1							1
	ドイツ語ⅢA	2前		1							1
	ドイツ語ⅢB	2後		1							1
	フランス語ⅢA	2前		1							1
	フランス語ⅢB	2後		1							1
	中国語ⅢA	2前		1							1
	中国語ⅢB	2後		1							1
	韓国語ⅢA	2前		1							1
	韓国語ⅢB	2後		1							1
共通教養科目群・外国語科目・自由選択外国語	小計(12科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	9
	英語演習Ⅰ	1・2・3前		2				1			4
	英語演習Ⅱ	1・2・3後		2							4
	ドイツ語演習Ⅰ	2・3前		2			1				1
	ドイツ語演習Ⅱ	2・3後		2			1				1
	フランス語演習Ⅰ	2・3前		2							1
	フランス語演習Ⅱ	2・3後		2							1
	中国語演習Ⅰ	2・3前		2							1
	中国語演習Ⅱ	2・3後		2							2
	韓国語演習Ⅰ	2・3前		2							1
共通教養科目群・外国語科目・自由選択外国語	韓国語演習Ⅱ	2・3後		2							1
	日本語演習Ⅰ	2・3前		2							1
	日本語演習Ⅱ	2・3後		2							1
	海外語学演習	2・3通		4			1	1			5
	小計(13科目)	—	0	28	0	0	1	1	0	0	11
	外国語科目計(49科目)	—	0	64	0	0	1	1	0	0	34

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教養科目群・キャリア教育科目	キャリア基礎Ⅰ	1前	2								1
	キャリア基礎Ⅱ	1後		2							2
	キャリア発展	2前・後		2							2
	ライフプランニング	2前・後		2							1
	キャリア実践論Ⅰ	3前	2								2
	キャリア実践論Ⅱ	3後		2							1
	キャリア実践論Ⅲ	3後		2							1
	小計(7科目)	—	4	10	0	0	0	0	0	0	2
共通教養科目群計(121科目)			18	188	0	8	6	5	0	0	86
専攻科目群・専攻導入科目	スポーツ科学入門A	1前	2			1	2				
	スポーツ科学入門B	1前	2			1	2				
	救急処置法	1後	2			1	1				1
	トレーニングサイエンス	1後	2			1					
	ヘルスサイエンス	1後	2				1				
	スポーツ文化論	1後	2				1				
	チームビルディング	1前	1			1					1
	小計(7科目)	—	13	0	0	4	5	0	0	0	2
専攻科目群・専攻基幹科目・講義科目	運動生理学	2前	2				1				
	スポーツの測定評価	2前	2			1	1				
	スポーツ哲学	2前	2			1					
	スポーツ社会学	2前	2				1				
	スポーツ・バイオメカニクス	2後	2				1				
	スポーツ教育学	2後	2				1				
	スポーツ史	2後	2				1				
	スポーツ・マネジメント	2後	2			1					
	小計(8科目)	—	16	0	0	3	5	0	0	0	0
専攻科目群・専攻基幹科目・実技科目	専門実技(ジョギング・ウォーキング)	1前		1				1			
	専門実技(体づくり運動)	1前		1				1			
	専門実技(水泳)	2前・後		1							2
	専門実技(体カトレーニング)	2前・後		1							1
	専門実技(陸上競技)	2後		1			1				
	専門実技(器械運動)	2後		1							1
	専門実技(フィットネスA)	3前		1							1
	専門実技(フィットネスB)	3後		1							1
	専門実技(柔道)	3前・後		1			1				
	専門実技(ダンス)	3前・後		1		1					
	専門実技(サッカー)	2・3前・後		1		1					
	専門実技(バレーボール)	2・3前・後		1							1
	専門実技(バスケットボール)	2・3前・後		1							1
	専門実技(テニス)	2・3前・後		1							
	専門実技(ホッケー)	2・3前		1			1				
	専門実技(ラグビー)	2・3後		1		1					
	専門実技(自然活動A)	2・3前		1		1					
	専門実技(自然活動B)	2・3前		1		1					
	専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)	2・3前		1		1					
	専門実技(アクア・マリンスポーツ)	2・3前		1							1
	専門実技(ノバドルスポーツ)	2・3前		1							1
	専門実技(自然活動C)	2・3後		1							2
	専門実技(スキー・スノーボード)	2・3後		1		1					
	小計(23科目)	—	0	23	0	4	2	2	0	0	11
専攻基幹科目群計(31科目)			16	23	0	5	5	2	0	0	11
専攻科目群・専攻発展科目	スポーツ測定法	2後		2		1	1				
	スポーツ心理学	2後		2				1			
	健康とスポーツの医学A	2後		2		1					
	運動学	2後		2							1
	スポーツ生理学	2・3前		2		1					
	健康と文化	2・3前		2							1
	スポーツ政策論	2・3前		2		1					
	生涯スポーツ論	2・3後		2		1					
	スポーツ人類学	2・3後		2			1				
	スポーツ栄養学	3前		2							1
	解剖生理学	3前		2							1
	スポーツ測定法実習	3前		1		1	1				
	健康とスポーツの医学B	3前		2		1					
	運動処方論	3前		2			1				
	衛生学・公衆衛生学	3前		2			1				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 攻 科 目 群 ・ 専 攻 発 展 科 目	生涯学習論	3前		2		1					2
	教育と文化	3前		2				1			
	スポーツ心理学実習	3・4前		1				1			
	アスレチックトレーナー論	3・4前		2		1					
	身体文化論	3・4前		2		1					
	異文化とスポーツ	3・4前		2			1				
	スポーツと法	3・4前		2							1
	文化資源とスポーツ	3・4前		2		1					
	レクリエーション論	3・4前		2		1					
	アダプテッドスポーツ論	3・4前		2							1
	加齢とスポーツ	3・4後		2			1				
	健康運動プログラムの作成	3・4後		2			1				
	スポーツインストラクター指導論	3・4後		2							1
	メンタルトレーニング論	3・4後		2							1
	コンディショニング論	3・4後		2		1					
	スポーツコーチング論	3・4後		2		3	1	2			
	スポーツ指導者論	3・4後		2							1
	健康・体力づくり指導法	3・4後		2							1
	発育・発達とスポーツ	3・4後		2			1				
	学校保健	3・4後		2			1				
	教育と法	3・4後		2		1					
	エコツーリズム論	3・4後		2		1					
	スポーツ・ツーリズム論	3・4後		2		1					
	スポーツと政治	3・4後		2		1					
	国際交流とスポーツ	3・4後		2							1
	海外スポーツ文化研修	2・3後		2		1					
	スポーツ健康実習	3後		1		1	1	1			
	スポーツ教育実習	3後		1			2	1			
	地域スポーツ実習	3後		1		3					
	小計(44科目)	—	0	83	0	10	7	3	0	0	13
	専攻科目群計(82科目)		29	106	0	10	8	4	0	0	22
演 習 科 目 群	ゼミナールⅠ	3前		2		10	8	4			
	ゼミナールⅡ	3後		2		10	8	4			
	ゼミナールⅢ	4前		2		10	8	4			
	ゼミナールⅣ	4後		2		10	8	4			
	小計(4科目)	—	8	0	0	10	8	4	0	0	0
合計(207科目)			55	294	0	11	8	5	0	0	106
教 職 課 程 科 目	教育学概論	1前			2	1		1			
	教職論	1・2・3前			2						3
	教育制度論	1後		2	1			1			
	教育心理学	1後		2							2
	特別支援教育Ⅰ	2後		1							2
	特別支援教育Ⅱ	2後		1							4
	道德教育の理論と方法	2前・後		2	1						1
	総合的な学習の時間の指導	2前		2							2
	特別活動の指導	2後		2		1					1
	教育の方法と技術	3後		2							1
	生徒指導	2前		2		1					1
	教育相談	2前		2							2
	進路指導	2前		2							1
	教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。)	3後～4前		3	1	1	1	1			
	教育実習Ⅱ	3後～4前		2	1	1	1	1			
	学校体験活動	3前・後		2	1	1	1	1			
	教職実践演習	4後		2	1	1	1	1			
	保健体育科教育法Ⅰ	2後		2	1						1
	保健体育科教育法Ⅱ	3前		2		1					
	保健体育科教育法Ⅲ	3後		2		1					
	保健体育科教育法Ⅳ	3後		2		1					
	教育学演習Ⅰ	2・3前		2	1			1			
	教育学演習Ⅱ	2・3後		2	1			1			
	小計(23科目)	—	0	0	45	2	1	1	0	0	15
合計(230科目)			55	294	45	11	8	5	0	0	120

卒業要件及び履修方法
<卒業要件単位> 124単位 ○教養基礎科目…必修10単位を含む18単位以上 ○教養発展科目…必修4単位を含む10単位以上 ○地域科目…4単位以上 ○外国語科目…必修8単位を含む10単位以上 必修外国語…(第1外国語…「英語ⅠA」「英語ⅠB」「英語ⅡA」「英語ⅡB」の4単位必修、日本語以外を母語とする学生は、英語に替えて「日本語ⅠA」「日本語ⅠB」「日本語ⅡA」「日本語ⅡB」の4単位必修、第2外国語…母語及び第1外国語以外の1言語4単位必修) 選択必修外国語…第1外国語または第2外国語として選択したいいずれか1言語2単位を選択必修 自由選択外国語科目の「日本語演習Ⅰ」「日本語演習Ⅱ」は日本語以外を母語とする学生のみ履修することができる ○キャリア教育科目…必修4単位を含む6単位以上 ○専攻導入科目…13単位必修 ○専攻基幹科目…講義科目必修16単位、実技科目選択必修5単位(「専門実技(ジョギング・ウォーキング)」「専門実技(体づくり運動)」より1単位、「専門実技(水泳)」「専門実技(体カトレーニング)」「専門実技(陸上競技)」「専門実技(器械運動)」「専門実技(フィットネスA)」「専門実技(フィットネスB)」「専門実技(柔道)」「専門実技(ダンス)」より1単位、「専門実技(サッカー)」「専門実技(バレーボール)」「専門実技(バスケットボール)」「専門実技(テニス)」「専門実技(ホッケー)」「専門実技(ラグビー)」より2単位、「専門実技(自然活動A)」「専門実技(自然活動B)」「専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)」「専門実技(アクア・マリンスポーツ)」「専門実技(パドルスポーツ)」「専門実技(自然活動C)」「専門実技(スキー・スノーボード)」より1単位)を含む21単位以上 ○専攻発展科目…「スポーツ測定法」「スポーツ心理学」「健康とスポーツの医学A」「運動学」「スポーツ生理学」「健康と文化」「スポーツ政策論」「生涯スポーツ論」「スポーツ人類学」より10単位、「スポーツコーチング論」「スポーツ指導者論」「アスレティックトレーナー論」より2単位、「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」より1単位を含む30単位以上 ○自由選択単位…専攻基幹科目(実技科目)及び専攻発展科目の卒業要件単位を超えた修得単位4単位以上 ○演習科目…8単位必修 ○「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」の履修条件…専攻導入科目のすべて(7科目13単位)を履修し、専攻基幹科目(講義科目)のすべて(8科目16単位)を履修し、専攻基幹科目(実技科目)のうち「ジョギング・ウォーキング」又は「体づくり運動」のいずれか1科目1単位を含む3科目3単位以上を履修した上で、進路に応じた科目として 「スポーツ健康実習」は「スポーツ生理学」「スポーツ測定法」「健康とスポーツの医学A」「健康と文化」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。 「スポーツ教育実習」は「健康と文化」「生涯スポーツ論」「運動学」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。 「地域スポーツ実習」は「運動学」「スポーツ人類学」「スポーツ政策論」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。 ○教職課程科目については、教職課程履修者のみ履修することができる。 なお、次に掲げる科目は「大学が独自に設定する科目の履修」の単位に算入できる。 「教育と法」「教育と文化」「道德教育の理論と方法」(高等学校教諭一種免許状のみ) <年間履修上限単位数> 1年次が44単位、2年次以降は46単位

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・ブレゼミナールⅠ及びブレゼミナールⅡ：令和3年度就任予定の准教授1名を除く15コマで開設するとともに、准教授1名について昇任審査継続中（社会への貢献度）のため講師として配置、年度内に昇任選考予定。専任教員等の配置を准教授6・講師3から准教授4・講師4に変更。
- ・コンピュータ・リテラシーⅠ及びコンピュータ・リテラシーⅡ：担当教員の負担軽減のため、兼任講師1名、兼任講師2名を追加。「兼1」から「兼4」に変更。
- ・文学Ⅰ及び文学Ⅱ：教育課程の充実のため兼任講師1名を追加し、各1コマ増。「兼2」から「兼3」に変更。
- ・こころの科学Ⅰ：担当教員の負担軽減のため、兼任教員1名を別の兼任教員に変更。
- ・こころの科学Ⅱ：教育課程の充実のため兼任教員1名を追加し1コマ増。「兼1」から「兼2」に変更。
- ・健康・スポーツ実習Ⅰ及び健康・スポーツ実習Ⅱ：年次計画に基づき各6コマ開講。「教授1」「講師1」「兼4」に変更。
- ・憲法概論：教育課程の充実のため、兼任講師1名を追加し、1コマ増。「兼1」から「兼2」に変更。
- ・経済学Ⅰ：教育効果を考慮し開講期を後期に変更。
- ・経済学Ⅱ：担当教員の学部長就任に伴い、兼任教員に変更するとともに開講期を前期に変更。
- ・歴史学Ⅰ：教育課程の充実のため、兼任講師1名を追加し1コマ増。「兼2」から「兼3」に変更。
- ・歴史学Ⅱ：教育課程の充実のため、兼任講師1名を追加し1コマ増。「兼1」から「兼2」に変更。
- ・生命の科学Ⅰ及び生命の科学Ⅱ：担当教員の副学長就任のため未開講。
- ・人工知能概論：教育課程の充実のため、兼任教員1名による科目を新設。
- ・労働基準法及び労働安全衛生法Ⅰ並びに労働安全衛生法Ⅱ：担当教員の他大学出講に伴う就任辞退により別の兼任教員に変更。
- ・飯能学：担当教員の在外研究に伴い、開講期を前期に変更。
- ・地域環境論：担当教員の副学長就任のため未開講。
- ・森林文化Ⅰ：教育内容の充実のため、兼任教員1名、兼任教員1名を追加。「教授1」「兼1」から「教授1」「兼3」に変更。
- ・森林文化Ⅱ：年次計画及び教育内容の充実のため、兼任教員1名、兼任教員1名を追加。「教授1」「兼1」から「兼3」に変更。
- ・インターシップⅡ：担当教員の負担軽減及び教育内容の充実のため、兼任教員1名を別の兼任教員に変更するとともに兼任教員5名を追加。「兼3」から「兼8」に変更。
- ・まちづくり実践：教育内容の充実のため、兼任教員3名を追加。「教授2」「兼1」から「教授2」「兼4」に変更。
- ・英語ⅠA及び英語ⅠB：担当教員の負担軽減のため、兼任教員4名及び兼任教員1名について、別の兼任教員5名に変更。教育課程の充実のため兼任教員1名を追加し1コマ増。「兼7」から「兼8」に変更。
- ・英語ⅡA及び英語ⅡB：担当教員の負担軽減のため、兼任教員1名及び兼任教員1名について、別の兼任教員1名・兼任教員2名に変更。教育課程の充実のため兼任教員1名を追加し1コマ増。「講師1」「兼3」から「講師1」「兼5」に変更。
- ・日本語ⅠA及び日本語ⅠB：担当教員の負担軽減のため、兼任教員1名を兼任教員1名に変更。教育課程の充実のため兼任教員1名を追加し1コマ増。「兼1」から「兼2」に変更。
- ・日本語ⅡA及び日本語ⅡB：教育課程の充実のため兼任教員1名を追加し1コマ増。「兼1」から「兼2」に変更。
- ・ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠB：ドイツ語希望者が少なかったため1コマ減。「兼1」を削除。
- ・ドイツ語ⅡA及びドイツ語ⅡB：ドイツ語希望者が少なかったため1コマ減。「兼2」を「兼1」に変更。
- ・フランス語ⅠA及びフランス語ⅠB：担当教員の負担軽減のため、兼任教員を兼任教員に変更。
- ・中国語ⅠA及び中国語ⅠB：中国語希望者が多かったことによる教育課程の充実のため、兼任教員1名を追加し1コマ増。「兼2」から「兼3」に変更。
- ・中国語ⅡA及び中国語ⅡB：中国語希望者が多かったことによる教育課程の充実のため、兼任教員1名を追加し1コマ増。「兼2」から「兼3」に変更。
- ・韓国語ⅡA及び韓国語ⅡB：担当教員の負担軽減のため、兼任教員2名を別の兼任教員に変更。
- ・英語演習Ⅰ：教育課程の充実のため、兼任教員3名を追加し3コマ増。「講師1」「兼1」を「講師1」「兼4」に変更。
- ・英語演習Ⅱ：教育課程の充実のため、兼任教員2名を追加し2コマ増。「兼2」を「兼4」に変更。
- ・キャリア基礎Ⅰ：教育内容の均質化のため兼任教員1名を削除。「兼2」を「兼1」に変更。
- ・救急処置法：教育効果を高めるため、開講期を後期のみに変更。
- ・専門実技（からだづくり運動）：教育効果を高めるため、開講期を前期に変更。
- ・教育と文化、スポーツ教育実習、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、ゼミナールⅢ、ゼミナールⅣ、教育学概論、教育制度論、教育実習Ⅰ（事前事後の指導を含む。）、教育実習Ⅱ、学校体験活動、教職実践演習、教育学演習Ⅰ、教育学演習Ⅱ：准教授1名について、昇任審査継続中（社会への貢献度）のため講師として配置、年度内に昇任選考予定。
- ・教職論：教育課程の充実のため、兼任教員2名を追加し2コマ増。「兼1」を「兼3」に変更。

【令和3年度】

・プレゼミナールⅠ及びプレゼミナールⅡ：兼任教員1名の兼任教員への変更に伴い准教授1名に変更。令和3年2月ＡＣ教員審査済。
「教授3」「准教授6」「講師4」「兼3」に変更。

・コンピュータ・リテラシーⅠ及びコンピュータ・リテラシーⅡ：退職のため兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更。

・倫理学Ⅰ：退職のため兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更。

・国際社会と日本、プレゼミナールⅢ、プレゼミナールⅣ、欧米の暮らしと文化、英語ⅡＡ、英語ⅡＢ、英語演習Ⅰ、海外語学演習：講師1名の兼任講師への変更に伴い兼任教員1名に変更。**国際社会と日本、プレゼミナールⅣ、欧米の暮らしと文化、英語ⅡＢ、海外語学演習について、後期より講師1名に変更。令和3年5月ＡＣ教員審査済。（４）**

・北欧文化論：退職のため兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更。

・健康・スポーツ実習Ⅰ及び健康・スポーツ実習Ⅱ：年次計画に基づき各6コマ開講。「教授1」は受講希望者が最小催行人数に達しなかったため未開講。「教授1」「講師1」「兼3」に変更。

・経済学Ⅱ：退職のため兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更するとともに開講期を後期に変更。

・歴史学Ⅰ：退職のため「兼3」から「兼2」に変更。

・歴史学Ⅱ：退職のため兼任講師1名を兼任教員1名に変更。

・生命の科学Ⅰ及び生命の科学Ⅱ：計画通り開講。

・プレゼミナールⅢ及びプレゼミナールⅣ：年次計画に基づき各13コマ開講。前記講師1名から兼任教員1名への変更に加え、兼任教員1名の兼任教員への変更に伴い准教授1名に変更。令和3年2月ＡＣ教員審査済。「教授2」「准教授6」「講師1」「兼4」に変更。

・子ども文化論：担当教員の時間割調整のため後期2コマ開講に変更。

・現代人と心理Ⅱ、ホスピタリティ論、現代社会とメディア、労働基準法：担当教員の時間割調整のため開講期を変更。

・現代社会と法：退職のため別の兼任教員に変更するとともに開講期を後期に変更。

・労働と社会：担当教員の副学長就任に伴い未開講。

・ジェンダー論：担当教員の時間割編成のため教授1名の開講期を前期に変更。

・労働安全衛生法Ⅰ及び労働安全衛生法Ⅱ：担当教員の負担軽減のため別の兼任講師に変更。

・飯能学：担当教員の在外研究終了に伴い、計画通り開設。

・地域環境論：計画通り開設。

・森林文化Ⅰ：年次計画のため、「教授1」「兼3」から「兼3」に変更。

・森林文化Ⅱ：年次計画のため、「教授1」「兼3」に変更。

・地域社会と経済及び地域社会と環境並びに地域と金融：教育課程の充実のため科目を追加。

・地域企業論及び地域と社会：教育課程の充実のため科目を追加。令和4年度開講予定。

・地域と歴史：担当教員の国内研究のため、開講期を前期に変更。

・インターンシップⅠ：兼任教員1名の負担減のため別の兼任教員1名に変更するとともに、教育課程の充実のため兼任教員2名及び兼任講師1名を追加。「兼3」から「兼6」に変更。

・インターンシップⅡ：副学長の交代に伴い兼任教員1名、定年退職3名に伴い兼任教員1名を別の兼任教員に変更。新型コロナウイルス感染症の影響によるプロジェクト未開講のため兼任教員2名未補充。「兼8」から「兼6」に変更。

・まちづくり実践：担当教員の負担減のため兼任教員2名、兼任講師への変更に伴い兼任教員1名を別の兼任教員に変更。**新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント未開講のため教授1名未開講。「教授1」「兼4」に変更。（４）**

・英語ⅠＡ及び英語ⅠＢ：全学部共通再履修クラス開設のため2クラス増（計10クラス）。兼任教員1名及び兼任講師4名の退職並びに兼任教員1名の所属変更に伴い、兼任教員3名及び兼任講師2名に変更。

・英語ⅡＡ及び英語ⅡＢ：全学部共通再履修クラス開設のため2クラス増（計10クラス）。前記講師1名から兼任教員1名への変更に加え時間割編成のため、兼任教員1名及び兼任講師3名に変更。「講師1」「兼5」から「兼7」に変更。**英語ⅡＢについて「兼7」から「講師1」「兼6」に変更。令和3年5月ＡＣ教員審査済。（４）**

・ドイツ語ⅡＡ、ドイツ語ⅡＢ、フランス語ⅠＡ、フランス語ⅠＢ、中国語ⅠＡ、中国語ⅠＢ、中国語ⅡＡ、中国語ⅡＢ、ドイツ語ⅢＡ、ドイツ語ⅢＢ、フランス語ⅢＡ、フランス語ⅢＢ、中国語ⅢＡ、中国語ⅢＢ：時間割編成のため、兼任教員又は兼任講師を別の兼任教員又は兼任講師に変更。**中国語ⅠＢについて退職のため兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更。（４）**

・韓国語ⅠＡ及び韓国語ⅠＢ：韓国語希望者が多かったことによる教育課程の充実のため、兼任講師1名を追加し1コマ増。時間割編成のため、兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更。「兼2」から「兼3」に変更。

・韓国語ⅡＡ及び韓国語ⅡＢ：韓国語希望者が多かったことによる教育課程の充実のため、1コマ増。時間割編成のため、兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更。

・英語ⅢＡ及び英語ⅢＢ：英語希望者が多かったことによる教育課程の充実のため、5クラスから8クラス開講に変更（4学部共通開設）。退職及び時間割編成のため、兼任教員3名・兼任講師1名から兼任教員3名・兼任講師5名に変更。「兼4」から「兼8」に変更。**英語ⅢＢについて退職のため兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更。（４）**

・日本語ⅢＡ及び日本語ⅢＢ：教育課程の充実のため6クラス開講（全学部共通開設）。

・韓国語ⅢＡ及び韓国語ⅢＢ：韓国語希望者が多かったことによる教育課程の充実のため、兼任講師1名を追加し1コマ増。「兼1」から「兼2」に変更。

・英語演習Ⅰ：前記講師1名から兼任教員1名への変更に加え、担当教員のコマ数調整のため1コマ減。「講師1」「兼4」から「兼4」に変更。

・英語演習Ⅱ：担当教員のコマ数調整のため兼任教員2名を別の兼任教員2名に変更して4コマ開講。「兼4」から「兼3」に変更。

・ドイツ語演習Ⅰ及びドイツ語演習Ⅱ：年次計画に基づき兼任教員1名で開講。

・中国語演習Ⅰ：担当教員のコマ数調整のため兼任教員1名・2コマ開設を兼任教員1名・兼任講師1名に変更。「兼1」から「兼2」に変更。

・日本語演習Ⅰ及び日本語演習Ⅱ：教育課程充実のため兼任教員1名を追加。「兼1」から「兼2」に変更。

・海外語学演習：前記講師1名から兼任教員1名への変更に加え、退職のため兼任教員1名を別の兼任教員1名に変更。「准教授1」「講師1」「兼5」から「准教授1」「兼6」に変更。後期より「准教授1」「兼6」から「准教授1」「講師1」「兼5」に変更。令和3年5月ＡＣ教員審査済。新型コロナウイルス感染症の影響により「講師1」「兼2」について未開講、「准教授1」「兼2」について受講者0名のため未開講。「兼1」に変更。（４）

・専門実技（フィットネスＡ）及び専門実技（フィットネスＢ）：就任辞退のため、別の兼任講師に変更。令和4年度開講。

・専門実技（バドミントン）：就任辞退のため、別の兼任講師に変更。開講期を後期に変更。

・専門実技（自然活動Ｃ）：就任辞退のため、オムニバスから単独に変更。「兼2」から「兼1」に変更。

・専門実技（アクア・マリンスポーツ）及び専門実技（スキー・スノーボード）並びに海外スポーツ文化研修：新型コロナウイルス感染症の影響により未開講。（４）

・健康とスポーツの医学Ａ：担当教員のコマ数調整のため、開講期を前・後期に変更。

・運動学及びスポーツ人類学：教育効果を高めるため、開講期を前期に変更。

・健康・体力づくり指導法：就任辞退のため、担当者検討中。令和4年度開講予定。

・教職論：退職のため、兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更。

・教育心理学：兼任教員の兼任講師への変更及び兼任講師退職のため別の兼任講師1名に変更。「兼2」から「兼1」・前後期各1コマ担当に変更。

・特別支援教育Ⅰ：就任辞退のため、兼任講師2名のオムニバス形式から別の兼任講師1名による単独開講に変更。「兼2」から「兼1」に変更。

・特別支援教育Ⅱ：就任辞退のため、兼任講師2名を別の兼任講師1名に変更。「兼4」から「兼3」に変更。

・総合的な学習の時間の指導：退職のため、兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更するとともに、受講希望者の選択肢増のため、開講期を前後期に変更。

・特別活動の指導：受講希望者の選択肢増のため、開講期を前後期に変更。

・生徒指導：就任辞退のため兼任講師1名を別の兼任講師1名に変更するとともに、受講希望者の選択肢増のため、開講期を前後期に変更。

・教育相談及び進路指導：就任辞退のため、別の兼任講師各1名に変更。

【令和4年度】

- ・プレゼミナールⅠ及びプレゼミナールⅡ：講師1名の昇任のため准教授1名に変更。令和3年10月AC教員審査済。「教授3」「准教授7」「講師3」「兼3」に変更。
- ・コンピュータ・リテラシーⅠ及びコンピュータ・リテラシーⅡ：兼任教員の新規採用のため、兼任教員2名、兼任講師1名に変更。「兼3」に変更。
- ・倫理学Ⅰ：退職のため別の兼任講師1名に変更。
- ・こころの科学Ⅰ及びこころの科学Ⅱ：退職及び兼任教員の新規採用のため、それぞれ別の兼任教員に変更。
- ・健康・スポーツ実習Ⅰ及び健康・スポーツ実習Ⅱ：年次計画に基づき各7コマ開講。「教授2」「講師1」「兼4」に変更。
- ・経済学Ⅰ：計画通り開講期を前期に開講。
- ・データサイエンス入門及びデータリテラシー入門：教育課程の充実のため科目を追加。
- ・プレゼミナールⅢ及びプレゼミナールⅣ：年次計画に基づき各14コマ開講。「教授3」「准教授6」「講師2」「兼3」に変更。
- ・日本の暮らしと文化：担当教員の時間割調整のため、開講期を後期に変更。
- ・異文化と文学及び地域と文学：既設学部的时间割調整のため、開講期を入替。
- ・現代人と心理Ⅰ：兼任教員の新規採用のため別の兼任教員に変更。
- ・労働と社会：休講科目の再開。担当教員の時間割調整のため、開講期を前期に変更。
- ・ジェンダー論、労働安全衛生法Ⅱ、飯能学：担当教員の時間割調整のため、開講期を前期に変更。
- ・地域企業論及び地域と社会：休講科目の再開。
- ・**地域と社会：兼任教員の就任辞退のため、開講期を後期に変更し、別の兼任教員に変更。(5)**
- ・地域と歴史：担当教員の学部長就任による負担軽減のため、兼任講師3名のオムニバスに変更し開講期を後期に変更。「兼3」に変更。
- ・インターンシップⅠ：兼任教員1名の定年再雇用によるコマ数調整のため別の兼任教員1名に変更。
- ・インターンシップⅡ：プロジェクトの変更・再構成に伴い、「兼6」から「兼4」に変更。
- ・まちづくり実践：プロジェクトの変更及び新型コロナウイルス感染症の影響等によるイベントの中止に伴い「教授2」「兼2」に変更。
- ・英語ⅠA及び英語ⅠB：クラス定員見直しのため10クラス（全学部共通再履修2クラス）から9クラス（全学部共通再履修2クラス）に変更。兼任教員1名及び兼任講師2名の退職のため、兼任教員3名及び兼任講師4名に変更。「兼7」に変更。
- ・英語ⅡA及び英語ⅡB：クラス定員見直しのため10クラス（全学部共通再履修2クラス）から9クラス（全学部共通再履修2クラス）に変更。兼任講師2名の退職のため、「講師1」「兼4」に変更。
- ・日本語ⅠA、日本語ⅠB、日本語ⅡA、日本語ⅡB：兼任講師1名の退職のため、兼任教員1名、兼任講師1名に変更。
- ・中国語ⅠA：兼任教員1名の退職及び時間割調整のため、兼任講師3名に変更。
- ・中国語ⅠB：時間割調整のため、兼任講師3名に変更。
- ・中国語ⅡA及び中国語ⅡB：兼任教員の1名の退職及び時間割調整のため、兼任講師3名3クラスから兼任教員1名、兼任講師1名計3クラスに変更。「兼2」に変更。
- ・英語ⅢA及び英語ⅢB：既設学部のカリキュラム改正及び英語希望者が多かったため、4学部共通8クラスからスポーツ科学部単独5クラス、兼任教員4名・兼任講師1名に変更。「兼5」に変更。
- ・日本語ⅢA及び日本語ⅢB：履修予定者減少のため6クラスから3クラス開講、兼任教員1名・兼任講師1名に変更（全学部共通開設）。「兼2」に変更。
- ・フランス語ⅢA及びフランス語ⅢB：時間割調整のため、別の兼任講師1名に変更。
- ・韓国語ⅢA及び韓国語ⅢB：履修希望者が少なかったため、2クラスから1クラスに変更。「兼1」に変更。
- ・英語演習Ⅰ：兼任教員1名について講師1名に変更。令和3年5月AC教員審査済。担当教員のコマ数調整のため1コマ増。「兼4」から「講師1」「兼4」に変更。
- ・英語演習Ⅱ：担当教員のコマ数調整のため1コマ増。「兼3」4コマから「兼5」5コマに変更。
- ・ドイツ語演習Ⅰ及びドイツ語演習Ⅱ：年次計画に基づき講師1名で開講。「講師1」に変更。
- ・中国語演習Ⅰ及び中国語演習Ⅱ：担当教員のコマ数調整のため、兼任教員1名・兼任教員1名計2コマから兼任講師1名1コマに変更。「兼1」に変更。
- ・日本語演習Ⅰ及び日本語演習Ⅱ：履修予定者の減少のため、兼任講師1名を削除し兼任教員1名に変更。「兼1」に変更。
- ・海外語学演習：担当教員の時間割調整のため、兼任教員1名を別の兼任教員に変更。休講授業の再開。「准教授1」「講師1」「兼5」に変更。「准教授1」「兼2」について履修希望者がいなかったため未開講。「講師1」「兼3」に変更。(5)
- ・キャリア基礎Ⅱ、キャリア発展、ライフプランニング、キャリア実践論Ⅰ：兼任教員の退職のため、別の兼任教員に変更。
- ・救急処置法：担当教員のコマ数調整のため、兼任講師1名を別の兼任講師2名に変更。「教授1」「准教授1」「兼2」に変更。
- ・専門実技（体づくり運動）：履修希望者の増加に伴うクラス増による教場確保のため、開講期を後期に変更。
- ・専門実技（柔道）：教場準備のため、開講期を前期のみに変更。
- ・専門実技（ラグビー）：休講科目の再開。
- ・健康とスポーツの医学A：担当教員のコマ数調整終了のため、計画通り開講期を後期のみに変更。
- ・スポーツ生理学及びレクリエーション論：担当教員の時間割調整のため、開講期を後期に変更。
- ・健康と文化：担当教員の退職のため、別の兼任講師に変更。
- ・スポーツ栄養学、アダプテッドスポーツ論及び健康・体力づくり指導法：担当教員の就任辞退のため、別の兼任講師に変更。
- ・教育と文化、スポーツ教育実習、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、ゼミナールⅢ、ゼミナールⅣ、教育学概論、教育制度論、教育実習Ⅰ（事前事後の指導を含む。）、教育実習Ⅱ、学校体験活動、教職実践演習、教育学演習Ⅰ、教育学演習Ⅱ：講師1名について昇任のため准教授に変更。令和3年10月AC教員審査済。「准教授1」に変更。
- ・スポーツと法：科目内容の充実のため、兼任教員1名から兼任教員1名及び兼任講師1名のオムニバスに変更。あわせて履修期を後期に変更。「兼2」に変更。
- ・スポーツインストラクター指導論：担当教員のコマ数調整のため、別の兼任講師1名に変更。
- ・発育・発達とスポーツ及び教育と法：担当教員の時間割調整のため、前期に変更。
- ・教育心理学：担当教員の退職のため、兼任教員1名、兼任講師1名に変更。「兼2」に変更。
- ・教育の方法と技術：担当教員の退職のため別の兼任講師1名に変更するとともに、兼任教員1名・兼任講師1名によるオムニバスクラスを増設。計2クラスを前期に開講。「兼3」に変更。
- ・保健体育科教育法Ⅲ：教育効果を高めるため、開講期を前期に変更。
- ・教育実習Ⅰ（事前事後の指導を含む。）及び教育実習Ⅱ：担当教員のコマ数調整のため、「准教授2」「兼1」に変更。
- ・学校体験活動：履修希望者が少なかったため、「准教授1」1クラス・後期のみに変更。
- ・**教職実践演習：担当教員のコマ数調整のため、「教授1」「准教授1」に変更。(5)**
- ・**教育学演習Ⅱ：「准教授1」について受講者希望者がいなかったため未開講。「教授1」「准教授1」を「教授1」に変更。(5)**

【令和5年度】

・教養基礎講座：講師1名の昇任のため准教授1名に変更。令和4年10月AC教員審査済。「教授3」「准教授2」「兼1」に変更。

・プレゼミナールⅠ及びプレゼミナールⅡ：講師1名の昇任のため准教授1名に変更。令和4年10月AC教員審査済。兼任教員1名の退職のため専任講師1名に変更。令和4年10月AC教員審査済。「教授3」「准教授8」「講師3」「兼2」に変更。

・コンピュータ・リテラシーⅠ及びコンピュータ・リテラシーⅡ：時間割編成のため、「兼3」から「兼4」に変更。

・こころの科学Ⅱ：兼任教員1名のコマ数調整のため、別の兼任教員1名に変更。

・健康・スポーツ実習Ⅰ及び健康・スポーツ実習Ⅱ：兼任教員1名の時間割編成及び1名の退職のため、別の兼任教員2名に変更。

・憲法概論：兼任教員1名のコマ数調整のため、別の兼任教員1名に変更。

・データサイエンス入門：担当教員の時間割調整のため、開講期を後期に変更。

・プレゼミナールⅢ及びプレゼミナールⅣ：講師1名の昇任のため准教授1名に変更。令和4年10月AC教員審査済。兼任教員1名の退職のため専任講師1名に変更。令和4年10月AC教員審査済。担当教員の副学長就任のため、別の教授に変更。「教授3」「准教授7」「講師2」「兼2」に変更。

・欧米の暮らしと文化及び日本伝統文化論：担当教員の時間割調整のため、前期に変更。

・現代人と心理Ⅰ：担当教員のコマ数調整のため、別の兼任教員に変更。

・ジェンダー論：担当教員の時間割調整のため、「教授1」「兼1」から「兼1」に変更。

・ホスピタリティ論：兼任教員の退職のため、兼任教員に変更。

・現代社会とメディア：兼任教員の兼任教員への変更のため、別の兼任教員に変更。

・地域社会と経済：教育課程の充実のため、兼任教員1名を追加。「兼4」に変更。

・地域企業論：担当教員のコマ数調整のため、兼任教員から兼任教員に変更。

・地域と歴史：兼任教員1名の退職のため、別の兼任教員に変更。

・インターンシップⅠ：教育課程の充実のため、兼任教員1名を追加。「兼7」に変更。

・インターンシップⅡ：プロジェクト内容の再構成のため、「兼4」から「兼3」に変更。

・まちづくり実践：担当教員のコマ数調整のため、「教授2」「兼2」から「教授2」「兼1」に変更。

・英語ⅠA及び英語ⅠB：クラス数見直しのため10クラス（全学部共通再履修2クラス）に変更。兼任教員1名の退職及び時間割編成のため、兼任教員4名及び兼任講師4名に変更。「兼8」に変更。

・英語ⅡA及び英語ⅡB：クラス数見直しのため10クラス（全学部共通再履修2クラス）に変更。兼任教員1名の退職及び時間割編成のため、兼任教員2名を別の兼任教員2名に変更。

・フランス語ⅠA及びフランス語ⅠB：兼任教員の退職のため、別の兼任教員に変更。

・中国語ⅠA及び中国語ⅠB：中国語希望者が少なかったため、3クラスから2クラスに減。時間割編成のため、兼任教員3名から兼任教員1名・兼任教員1名に変更。「兼2」に変更。

・中国語ⅡA及び中国語ⅡB：中国語希望者が少なかったため、3クラスから2クラスに減。時間割編成のため、兼任教員1名・兼任教員1名から兼任教員2名からに変更。

・韓国語ⅠA及び韓国語ⅠB：韓国語希望者が多かったため、3クラスから4クラスに増。時間割編成のため、兼任教員2名から兼任教員3名に変更。「兼3」に変更。

・韓国語ⅡA及び韓国語ⅡB：韓国語希望者が多かったため、3クラスから4クラスに増。兼任教員1名の退職及び時間割編成のため、兼任教員2名から兼任教員3名に変更。「兼3」に変更。

・英語ⅢA及び英語ⅢB：兼任教員1名の退職及び時間割編成のため、兼任教員4名、兼任教員1名から兼任教員3名、兼任教員2名に変更。

・日本語ⅢA及び日本語ⅢB：兼任教員1名の退職のため、兼任教員1名に変更。「兼1」に変更。

・フランス語ⅢA、フランス語ⅢB、韓国語ⅢA、韓国語ⅢB：時間割編成のため、別の兼任教員に変更。

・英語演習Ⅰ及び英語演習Ⅱ：兼任教員1名の退職のため、別の兼任教員に変更。

・中国語演習Ⅰ及び中国語演習Ⅱ：時間割編成のため、兼任教員1名を兼任教員1名に変更。

・海外語学演習：休講授業の再開のため「准教授1」「講師1」「兼5」に変更。「兼4」について受講希望者がいなかったため「准教授1」「講師1」「兼43」に変更。(6)

・専門実技（水泳）：受講希望者が多かったため、1クラス増。「兼2」から「兼3」に変更。

・専門実技（器械運動）：受講希望者が多かったため、2クラス増。後期から前期・後期に変更。

・専門実技（バスケットボール）：担当教員の負担増のため、別の兼任教員に変更。

・専門実技（自然活動C）：担当教員の退職のため、別の兼任教員に変更。

・スポーツ心理学、スポーツ心理学実習、スポーツコーチング論、スポーツ健康実習、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、ゼミナールⅢ、ゼミナールⅣ：講師1名について昇任のため准教授に変更。令和4年10月AC教員審査済。

・運動学：担当教員の時間割調整のため、前期から後期に変更。

・スポーツ測定法実習：受講希望者がいなかったため未開講。

・スポーツ栄養学及び解剖生理学：兼任教員の退職のため、それぞれ別の兼任教員に変更。

・生涯学習論：兼任教員1名の兼任教員への変更による負担減のため、別の兼任教員1名に変更。

・メンタルトレーニング論：受講希望者が多かったため、1クラス増。後期から前期・後期に変更。

・教職論：兼任教員1名の退職のため、別の兼任教員に変更するとともに時間割調整のため、前期から前期・後期に変更。

・特別支援教育Ⅰ：兼任教員1名の退職のため、別の兼任教員1名に変更。

・特別支援教育Ⅱ：兼任教員2名の退職のため、別の兼任教員2名に変更。

・道徳教育の理論と方法：兼任教員1名の退職のため、別の兼任教員1名に変更。担当教員の時間割調整のため、前期・後期から前期に変更。

・生徒指導：兼任教員1名の退職のため、別の兼任教員1名に変更。担当教員の時間割調整のため、前期・後期から前期に変更。

・教育相談：兼任教員1名の退職のため、別の兼任教員1名に変更。担当教員の時間割調整のため、前期から後期に変更。

・進路指導：受講希望者が多かったため、1クラス増。前期から前期・後期に変更。

・教育実習Ⅰ（事前事後の指導を含む。）及び教育実習Ⅱ：担当教員の負担減のため、「准教授2」「兼1」から「准教授1」「兼1」に変更。

・教職実践演習：担当教員の負担減のため、「教授1」「准教授1」2クラスから「教授1」2クラスに変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
30 科目	176 科目	23 科目	229 科目	30 科目 []	184 科目 [+8]	23 科目 []	237 科目 [+8]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	経済学Ⅱ	2	1・2	一般	選択	担当教員より、令和5年1月上旬に授業担当不可との申し出を受け、後任の担当教員を検討したが、適任者が得られなかった。共通教養科目群・教養基礎科目における選択科目の卒業要件単位数は8単位以上であるが、他に25科目を開講していることから令和5年度は休講とした。(5)
2	エコツーリズム論	2	3・4	専門	選択	担当教員の副学長就任に伴い、負担軽減の観点から担当授業科目について検討を行い、専任教員担当科目であること、専攻科目群・専攻発展科目の卒業要件単位数は30単位以上であるが、他に40科目以上を開講していることから令和5年度は休講とした。(5)
3	海外スポーツ文化研修	2	3・4	専門	選択	当該科目はニュージーランドにおいて実施する実践的研修科目であるが、①ウクライナ危機に端を発する研修先教育機関の授業料値上がり及び研修費用の高騰、②ホームステイを提供するホストファミリーの確保及び飲食・宿泊を伴うことから感染症リスクを考慮し、専攻発展科目として他に40科目以上を開講していることから休講とした。(5)

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和5年度未開講科目のうち、経済学Ⅱ及びエコツーリズム論については、いずれも選択科目であり、各科目群に他の科目が開設されていることから休講とした。
また、海外スポーツ文化研修については、海外渡航を伴う選択科目であることから令和4年度中から開講に向けての検討を行ってきたが、費用面及び安全面を考慮し、専攻発展科目に他の科目が開設されていることから休講とした。
いずれについても、講義時間割表及び履修ガイダンスで周知しており、学生の混乱はなかった。(5)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{3}{229} = \boxed{1.31} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	
	校 舎 敷 地	83,104.22 m ²	0 m ²	0 m ²	83,104.22 m ²	
	運動場用地	84,928.00 m ²	0 m ²	0 m ²	84,928.00 m ²	
	小 計	168,032.22 m ²	0 m ²	0 m ²	168,032.22 m ²	
	そ の 他	109,418.37 m ²	0 m ²	0 m ²	109,418.37 m ²	
	合 計	277,450.59 m ²	0 m ²	0 m ²	277,450.59 m ²	
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	
		62,888.28 m ² (62,888.28 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	62,888.28 m ² (62,888.28 m ²)	
(3) 教 室 等		講 義 室 47室 48室 47室	演 習 室 35室	実験実習室 15室 14室 15室	情報処理学習施設 5室 3人 4人 (補助職員 3人)	語学学習施設 0室 (補助職員 0人)
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数	
		スポーツ科学部スポーツ科学科			24 室	
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点
	スポーツ科学部	45,656 [11,311] 45,608 [11,298]	123 [33] 119 [31] 118 [31]	4 [3] 3 [3]	1,844 1,821 1,803 1,785 1,762	26,737 (26,697)
		(45,656 [11,311]) (45,336 [11,310]) (45,021 [11,299]) (44,336 [11,298]) (43,211 [11,298])	(123 [33]) (119 [31]) (118 [31])	(4 [3]) (3 [3])	(1,844) (1,821) (1,803) (1,785) (1,762)	(26,737) (26,697)
	計	45,656 [11,311] 45,608 [11,298]	123 [33] 119 [31] 118 [31]	4 [3] 3 [3]	1,844 1,821 1,803 1,785 1,762	26,737 (26,697)
		(45,656 [11,311]) (45,336 [11,310]) (45,021 [11,299]) (44,336 [11,298]) (43,211 [11,298])	(123 [33]) (119 [31]) (118 [31])	(4 [3]) (3 [3])	(1,844) (1,821) (1,803) (1,785) (1,762)	(26,737) (26,697)

区 分		内 容						備考	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	10,459㎡		582席		559,750冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体 前年度記載漏れ (3)		
	6,986㎡		陸上競技場1面、野球場1面、グラウンドホッケー場1面、多目的グラウンド1面		テニスコート9面、ゴルフ練習場、武道場、弓道場				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設前年度には、開設前々年度の経費も含む。共同研究費等は学部単位での算出が不能なため、大学全体。図書費には電子ジャーナル、データベースの整備費(運用コスト含む)を含まない。 全学予算による調整と消費増税のため (2) 新規後継機種への変更のため。私学行政課事前相談済み (3) 全学予算調整のため (5)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	225千円	225千円	図書購入費	3,003千円	1,000千円	1,000千円	
		共 同 研 究 費 等	3,852千円 4,350千円	4,695千円 4,350千円	設備購入費	354,776千円 354,781千円	15,796千円 26,356千円 25,877千円	0千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	申請学部全体	
		1,360千円	1,160千円	1,160千円	1,160千円	－ 千円	－ 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 学 校 名 称	駿 河 台 大 学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	3	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考					
法学部	4	220	3年次人	890	-	1.13	-	1.11	1.09	-	昭和62	-	令和4年編入学定員変更(10から5)					
法律学科	4	220	5	890	学士(法学)	1.13	-	1.11	1.09	-	昭和62	埼玉県飯能市大字阿須字一の木698番地						
経済経営学部	4	210	3年次25	890	-	1.21	-	1.17	1.15	-	平成25	-	令和4年編入学定員変更(10から25)					
経済経営学科	4	210	25	890	学士(経済学、経営学)	1.21	-	1.17	1.15	-	平成25	埼玉県飯能市大字阿須字一の木698番地						
経済と社会コース	4	80	-	160	学士(経済学)	0.48	-	0.66	0.61	-	平成25	同上	3年次コース登録のため、収容定員充足率について入学定員160人で算出					
メディア情報学部	4	140	3年次15	590	-	1.18	-	1.13	1.11	-	平成21	-	令和4年編入学定員変更(10から15)					
メディア情報学科	4	140	15	590	学士(メディア情報学)	1.18	-	1.13	1.11	-	平成21	埼玉県飯能市大字阿須字一の木698番地						
現代文化学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成21	-	令和2年学生募集停止 令和4年編入学募集停止					
現代文化学科	4	-	-	-	学士(現代文化学)	-	-	-	-	-	平成21	埼玉県飯能市大字阿須字一の木698番地						
スポーツ科学部	4	200	-	800	-	1.19	-	1.11	1.11	-	令和2	-	埼玉県飯能市大字阿須字一の木698番地					
スポーツ科学科	4	200	-	800	学士(スポーツ科学)	1.19	-	1.11	1.11	-	令和2	埼玉県飯能市大字阿須字一の木698番地						
心理学部	4	140	3年次5	570	-	1.13	-	1.09	1.05	-	平成21	-	令和4年編入学定員設置(5)					
心理学科	4	140	5	570	学士(心理学)	1.13	-	1.09	1.05	-	平成21	埼玉県飯能市大字阿須字一の木698番地						
大学全体	4	910	3年次50	3740	-	-	-	-	-	-	-	-						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 （様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。）
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ＡＣの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「－」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV. 33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(1) 一① 担当教員表

【認可時又は届出時】

33

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	狐塚 賢一郎 <令和2年4月> 教育学修士	専	教授	狐塚 賢一郎 <令和2年4月> 教育学修士	専	教授	狐塚 賢一郎 <令和2年4月> 教育学修士	専	教授	狐塚 賢一郎 <令和2年4月> 教育学修士
		プレゼミナルⅢ プレゼミナルⅣ まちづくり実践 専門実技(ラグビー) 専門実技(スキー・スノーボード) 生涯学習論※ スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ 保健体育科教育法Ⅰ※			プレゼミナルⅢ プレゼミナルⅣ まちづくり実践 専門実技(ラグビー) 専門実技(スキー・スノーボード) 生涯学習論※ スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ 保健体育科教育法Ⅰ※			まちづくり実践 生涯学習論※ スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ 保健体育科教育法Ⅰ※			プレゼミナルⅢ プレゼミナルⅣ まちづくり実践 専門実技(ラグビー) 専門実技(スキー・スノーボード) 生涯学習論※ スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ 保健体育科教育法Ⅰ※
専	教授	大森 一伸 <令和2年4月> 博士(人間科学)	専	教授	大森 一伸 <令和2年4月> 博士(人間科学)	専	教授	大森 一伸 <令和2年4月> 博士(人間科学)	専	教授	大森 一伸 <令和2年4月> 博士(人間科学)
		プレゼミナルⅠ プレゼミナルⅡ スポーツ科学入門A※ トレーニングサイエンス 専門実技(サッカー) スポーツ生理学 スポーツコーチング論※ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ			プレゼミナルⅠ プレゼミナルⅡ スポーツ科学入門A※ トレーニングサイエンス 専門実技(サッカー) スポーツ生理学 スポーツコーチング論※ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ			プレゼミナルⅠ プレゼミナルⅡ スポーツ科学入門A※ トレーニングサイエンス 専門実技(サッカー) スポーツ生理学 スポーツコーチング論※ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ			プレゼミナルⅠ プレゼミナルⅡ スポーツ科学入門A※ トレーニングサイエンス 専門実技(サッカー) スポーツ生理学 スポーツコーチング論※ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ
専	教授	平井 純子 <令和2年4月> 修士(地理学)※	専	教授	平井 純子 <令和2年4月> 修士(地理学)※	専	教授	平井 純子 <令和2年4月> 修士(地理学)※	専	教授	平井 純子 <令和2年4月> 修士(地理学)※
		プレゼミナルⅢ プレゼミナルⅣ 飯能学 森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ まちづくり実践 レクリエーション論 エコツーリズム論 地域スポーツ実習※ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ			プレゼミナルⅢ プレゼミナルⅣ 飯能学 森林文化Ⅰ まちづくり実践 レクリエーション論 エコツーリズム論 地域スポーツ実習※ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ			飯能学 森林文化Ⅱ まちづくり実践 レクリエーション論 エコツーリズム論 地域スポーツ実習※ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ			飯能学 森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ まちづくり実践 レクリエーション論 地域スポーツ実習※ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ
専	教授	天野 宏司 <令和2年4月> 修士(教育学)※	専	教授	天野 宏司 <令和2年4月> 修士(教育学)※	専	教授	天野 宏司 <令和2年4月> 修士(教育学)※	専	教授	天野 宏司 <令和2年4月> 修士(教育学)※
		教養基礎講座※ プレゼミナルⅠ プレゼミナルⅡ 観光学 フィールドトリップ※ 地域社会と観光 文化資源とスポーツ スポーツ・ツーリズム論 地域スポーツ実習※ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ			教養基礎講座※ プレゼミナルⅠ プレゼミナルⅡ 観光学 フィールドトリップ※ 地域社会と観光 文化資源とスポーツ スポーツ・ツーリズム論 地域スポーツ実習※ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ			教養基礎講座※ プレゼミナルⅠ プレゼミナルⅡ 観光学 フィールドトリップ※ 地域社会と観光 文化資源とスポーツ スポーツ・ツーリズム論 地域スポーツ実習※ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ			教養基礎講座※ プレゼミナルⅠ プレゼミナルⅡ 観光学 フィールドトリップ※ 地域社会と観光 文化資源とスポーツ スポーツ・ツーリズム論 地域スポーツ実習※ ゼミナルⅠ ゼミナルⅡ ゼミナルⅢ ゼミナルⅣ
専	教授	藤村(岡田) 安芸子 <令和2年4月> 博士(文学)	専	教授	藤村(岡田) 安芸子 <令和2年4月> 博士(文学)	専	教授	藤村(岡田) 安芸子 <令和2年4月> 博士(文学)	専	教授	藤村(岡田) 安芸子 <令和2年4月> 博士(文学)
		教養基礎講座※ プレゼミナルⅠ プレゼミナルⅡ 倫理学Ⅱ 日本の文化と倫理 プレゼミナルⅢ プレゼミナルⅣ 日本の暮らしと文化 日本伝統文化論 歴史探訪※			教養基礎講座※ プレゼミナルⅠ プレゼミナルⅡ 倫理学Ⅱ 日本の文化と倫理 プレゼミナルⅢ プレゼミナルⅣ 日本の暮らしと文化 日本伝統文化論 歴史探訪※			教養基礎講座※ プレゼミナルⅠ プレゼミナルⅡ 倫理学Ⅱ 日本の文化と倫理 プレゼミナルⅢ プレゼミナルⅣ 日本の暮らしと文化 日本伝統文化論 歴史探訪※			教養基礎講座※ プレゼミナルⅠ プレゼミナルⅡ 倫理学Ⅱ 日本の文化と倫理 プレゼミナルⅢ プレゼミナルⅣ 日本の暮らしと文化 日本伝統文化論 歴史探訪※

35

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	鵜海 未祐子 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 教育と文化 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 教育学概論 教育制度論 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 教育学演習Ⅰ 教育学演習Ⅱ	専	講師	鵜海 未祐子 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 教育と文化 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 教育学概論 教育制度論 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 教育学演習Ⅰ 教育学演習Ⅱ	専	准教授	鵜海 未祐子 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 教育と文化 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 教育学概論 教育制度論 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 教育学演習Ⅰ 教育学演習Ⅱ	専	准教授	鵜海 未祐子 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 教育と文化 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 教育学概論 教育制度論 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 教育学演習Ⅰ 教育学演習Ⅱ
専	准教授	小丸 超 ＜令和2年4月＞ 博士(社会学) プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ科学入門B※ スポーツ社会学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専	准教授	小丸 超 ＜令和2年4月＞ 博士(社会学) プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ科学入門B※ スポーツ社会学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専	准教授	小丸 超 ＜令和2年4月＞ 博士(社会学) プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ科学入門B※ スポーツ社会学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専	准教授	小丸 超 ＜令和2年4月＞ 博士(社会学) プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ科学入門B※ スポーツ社会学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	准教授	丸藤 祐子 ＜令和3年4月＞ 博士(スポーツ科学) プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 運動生理学 運動処方論 加齢とスポーツ 健康運動プログラムの作成 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専	准教授	丸藤 祐子 ＜令和3年4月＞ 博士(スポーツ科学) プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 運動生理学 運動処方論 加齢とスポーツ 健康運動プログラムの作成 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専	准教授	丸藤 祐子 ＜令和3年4月＞ 博士(スポーツ科学) プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 運動生理学 運動処方論 加齢とスポーツ 健康運動プログラムの作成 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専	准教授	丸藤 祐子 ＜令和3年4月＞ 博士(スポーツ科学) プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 運動生理学 運動処方論 加齢とスポーツ 健康運動プログラムの作成 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	准教授	飯田 悠佳子 ＜令和2年4月＞ 博士(スポーツ科学) プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 救急処置法※ 発育・発達とスポーツ 学校保健 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専	准教授	飯田 悠佳子 ＜令和2年4月＞ 博士(スポーツ科学) プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 救急処置法※ 発育・発達とスポーツ 学校保健 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専	准教授	飯田 悠佳子 ＜令和2年4月＞ 博士(スポーツ科学) プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 救急処置法※ 発育・発達とスポーツ 学校保健 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専	准教授	飯田 悠佳子 ＜令和2年4月＞ 博士(スポーツ科学) プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 救急処置法※ 発育・発達とスポーツ 学校保健 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	講師	MATTHEWS JOEL DAVID ＜令和2年4月＞ 修士(学術) 国際社会と日本 プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 欧米の暮らしと文化 英語ⅡA 英語ⅡB 英語演習Ⅰ 海外語学演習	専	講師	MATTHEWS JOEL DAVID ＜令和2年4月＞ Ph.D (East Asian Studies) (米國) 国際社会と日本 プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 欧米の暮らしと文化 英語ⅡA 英語ⅡB 英語演習Ⅰ 海外語学演習	兼任	講師	MATTHEWS JOEL DAVID ＜令和2年4月＞ Ph.D (East Asian Studies) (米國) 英語ⅡA 英語ⅡB			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 （年 齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 （年 齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 （年 齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 （年 齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	助教	石川 真知子 ＜令和2年4月＞ Doctor of Philosophy（薬国）	兼任	講師	石川 真知子 ＜令和2年4月＞ Doctor of Philosophy（薬国）	兼任	講師	石川（岩瀬） 真知子 ＜令和2年4月＞ Doctor of Philosophy（薬国） 国際社会と日本 プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 欧米の暮らしと文化 英語Ⅱ A 英語Ⅱ B 英語演習Ⅰ 海外語学演習	兼任		
		英語Ⅰ A 英語Ⅰ B 英語Ⅱ A 英語Ⅱ B 英語Ⅲ A 英語Ⅲ B 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ			英語Ⅰ A 英語Ⅰ B 英語Ⅲ A 英語Ⅲ B 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ						
				専	石川（岩瀬） 真知子 ＜令和3年9月＞ Doctor of Philosophy（薬国）	専	講師	石川（岩瀬） 真知子 ＜令和3年9月＞ Doctor of Philosophy（薬国） 国際社会と日本 プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 欧米の暮らしと文化 英語Ⅱ A 英語Ⅱ B 英語演習Ⅰ 海外語学演習	専	講師	岩瀬 真知子 ＜令和3年9月＞ Doctor of Philosophy（薬国） プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 国際社会と日本 プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 欧米の暮らしと文化 英語Ⅱ A 英語Ⅱ B 英語演習Ⅰ 海外語学演習
					国際社会と日本 プレゼミナールⅣ 欧米の暮らしと文化 英語Ⅱ B			プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 国際社会と日本 プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 欧米の暮らしと文化 英語Ⅱ A 英語Ⅱ B 英語演習Ⅰ 海外語学演習			
専	講師	邑木 隆二 ＜令和2年4月＞ 修士（スポーツ科学）	専	講師	邑木 隆二 ＜令和2年4月＞ 修士（スポーツ科学）	専	講師	邑木 隆二 ＜令和2年4月＞ 修士（スポーツ科学） プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 専門実技（ジョギング・ウォーキング） 専門実技（陸上競技） スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専	講師	邑木 隆二 ＜令和2年4月＞ 修士（スポーツ科学） プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 専門実技（ジョギング・ウォーキング） 専門実技（陸上競技） スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ			プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 専門実技（ジョギング・ウォーキング） 専門実技（陸上競技） スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 専門実技（ジョギング・ウォーキング） 専門実技（陸上競技） スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			
専	講師	田中 輝海 ＜令和2年4月＞ 博士（心理学）	専	講師	田中 輝海 ＜令和2年4月＞ 博士（心理学）	専	講師	田中 輝海 ＜令和2年4月＞ 博士（心理学） 教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ心理学 スポーツ心理学実習 スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専	准教授	田中 輝海 ＜令和2年4月＞ 博士（心理学） 教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ心理学 スポーツ心理学実習 スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
		教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ心理学 スポーツ心理学実習 スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ心理学 スポーツ心理学実習 スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ心理学 スポーツ心理学実習 スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			
専	講師	鈴木 慶子 ＜令和2年4月＞ 修士（体育科学）	専	講師	鈴木 慶子 ＜令和2年4月＞ 修士（体育科学）	専	講師	鈴木 慶子 ＜令和2年4月＞ 修士（体育科学） プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 専門実技（体づくり運動） ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	専	講師	鈴木 慶子 ＜令和2年4月＞ 修士（体育科学） プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 専門実技（体づくり運動） ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 専門実技（体づくり運動） ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 専門実技（体づくり運動） ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 専門実技（体づくり運動） ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			
兼任	教授	明石 真和 ＜令和3年4月＞ 文学修士※	兼任	教授	明石 真和 ＜令和3年4月＞ 文学修士※	兼任	教授	明石 真和 ＜令和3年4月＞ 文学修士※ ドイツ語演習Ⅰ ドイツ語演習Ⅱ	兼任	教授	明石 真和 ＜令和3年4月＞ 文学修士※
		ドイツ語演習Ⅰ ドイツ語演習Ⅱ			ドイツ語演習Ⅰ ドイツ語演習Ⅱ						
兼任	教授	栗 紅（梶山 栗紅） ＜令和2年4月＞ 文学修士※	兼任	教授	栗 紅（梶山 栗紅） ＜令和2年4月＞ 文学修士※	兼任	教授	栗 紅（梶山 栗紅） ＜令和2年4月＞ 文学修士※ 中国語Ⅰ A 中国語Ⅰ B 中国語Ⅱ A 中国語Ⅱ B 中国語Ⅲ A 中国語Ⅲ B 中国語演習Ⅰ 中国語演習Ⅱ 海外語学演習	兼任	教授	栗 紅（梶山 栗紅） ＜令和2年4月＞ 文学修士※ 中国語Ⅰ A 中国語Ⅰ B 中国語演習Ⅰ 中国語演習Ⅱ 海外語学演習
		中国語Ⅰ A 中国語Ⅰ B 中国語Ⅱ A 中国語Ⅱ B 中国語Ⅲ A 中国語Ⅲ B 中国語演習Ⅰ 中国語演習Ⅱ 海外語学演習			中国語Ⅰ A 中国語Ⅰ B 中国語演習Ⅰ 中国語演習Ⅱ 海外語学演習			中国語Ⅰ A 中国語Ⅰ B 中国語演習Ⅰ 中国語演習Ⅱ 海外語学演習			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	佐古 年穂 <令和3年4月> Ph.D (Middle East and Asian Languages and Cultures) (米国) インターンシップⅠ	兼任	教授	佐古 年穂 <令和3年4月> Ph.D (Middle East and Asian Languages and Cultures) (米国) インターンシップⅠ	兼任	教授	佐古 年穂 <令和3年4月> Ph.D (Middle East and Asian Languages and Cultures) (米国) インターンシップⅠ	兼任	教授	佐古 年穂 <令和3年4月> Ph.D (Middle East and Asian Languages and Cultures) (米国) インターンシップⅠ	兼任	教授	佐古 年穂 <令和3年4月> Ph.D (Middle East and Asian Languages and Cultures) (米国) インターンシップⅠ
兼任	教授	伊藤 雅道 <令和2年4月> 農学博士 環境生物学Ⅰ 環境生物学Ⅱ 生命の科学Ⅰ 生命の科学Ⅱ 地域環境論	兼任	教授	伊藤 雅道 <令和2年4月> 農学博士 環境生物学Ⅰ 環境生物学Ⅱ	兼任	教授	伊藤 雅道 <令和2年4月> 農学博士 環境生物学Ⅰ 環境生物学Ⅱ 生命の科学Ⅰ 生命の科学Ⅱ 地域環境論	兼任	教授	伊藤 雅道 <令和2年4月> 農学博士 環境生物学Ⅰ 環境生物学Ⅱ 生命の科学Ⅰ 生命の科学Ⅱ 地域環境論	兼任	教授	伊藤 雅道 <令和2年4月> 農学博士 環境生物学Ⅰ 環境生物学Ⅱ 生命の科学Ⅰ 生命の科学Ⅱ 地域環境論
兼任	教授	八木（木下） 真奈美 <令和2年4月> 博士（文学） 日本語Ⅰ A 日本語Ⅰ B 日本語Ⅲ A 日本語Ⅲ B	兼任	教授	八木（木下） 真奈美 <令和2年4月> 博士（文学） 日本語Ⅲ A 日本語Ⅲ B	兼任	教授	八木（木下） 真奈美 <令和2年4月> 博士（文学） 日本語Ⅲ A 日本語Ⅲ B 日本語演習Ⅰ 日本語演習Ⅱ	兼任	教授	八木（木下） 真奈美 <令和2年4月> 博士（文学） 日本語Ⅰ A 日本語Ⅰ B 日本語Ⅱ A 日本語Ⅱ B 日本語Ⅲ A 日本語Ⅲ B 日本語演習Ⅰ 日本語演習Ⅱ	兼任	教授	八木（木下） 真奈美 <令和2年4月> 博士（文学） 日本語Ⅰ A 日本語Ⅰ B 日本語Ⅱ A 日本語Ⅱ B 日本語Ⅲ A 日本語Ⅲ B 日本語演習Ⅰ 日本語演習Ⅱ
兼任	教授	岩熊 史朗 <令和3年4月> 博士（社会学） コミュニケーション論	兼任	教授	岩熊 史朗 <令和3年4月> 博士（社会学） コミュニケーション論	兼任	教授	岩熊 史朗 <令和3年4月> 博士（社会学） コミュニケーション論	兼任	教授	岩熊 史朗 <令和3年4月> 博士（社会学） コミュニケーション論	兼任	教授	岩熊 史朗 <令和3年4月> 博士（社会学） コミュニケーション論
兼任	教授	佐川 和彦 <令和2年4月> 博士（経済学） 経済学Ⅰ 経済学Ⅱ	兼任	教授	佐川 和彦 <令和2年4月> 博士（経済学） 経済学Ⅰ	兼任	教授	佐川 和彦 <令和2年4月> 博士（経済学） 経済学Ⅰ	兼任	教授	佐川 和彦 <令和2年4月> 博士（経済学） 経済学Ⅰ	兼任	教授	佐川 和彦 <令和2年4月> 博士（経済学） 経済学Ⅰ
兼任	教授	海老澤 豊 <令和2年4月> 博士（文学） 文学Ⅱ 歴史学Ⅱ 英語Ⅰ A 英語Ⅰ B	兼任	教授	海老澤 豊 <令和2年4月> 博士（文学） 文学Ⅱ 歴史学Ⅱ	兼任	教授	海老澤 豊 <令和2年4月> 博士（文学） 文学Ⅱ 歴史学Ⅱ	兼任	教授	海老澤 豊 <令和2年4月> 博士（文学） 文学Ⅱ 歴史学Ⅱ	兼任	教授	海老澤 豊 <令和2年4月> 博士（文学） 文学Ⅱ 歴史学Ⅱ 英語Ⅰ A 英語Ⅰ B
兼任	教授	福田 二郎 <令和2年4月> Master of Philosophy (英国) ※ 英語Ⅰ A 英語Ⅰ B	兼任	教授	福田 二郎 <令和2年4月> Master of Philosophy (英国) ※	兼任	教授	福田 二郎 <令和2年4月> Master of Philosophy (英国) ※ 英語Ⅰ A 英語Ⅰ B	兼任	教授		兼任	教授	
兼任	教授	大久保 博樹 <令和3年4月> デジタルコンテンツマネジメント (DCM) 修士（専門職） 現代社会とメディア	兼任	教授	大久保 博樹 <令和3年4月> デジタルコンテンツマネジメント (DCM) 修士（専門職） 現代社会とメディア	兼任	教授	大久保 博樹 <令和3年4月> デジタルコンテンツマネジメント (DCM) 修士（専門職） 現代社会とメディア	兼任	教授	大久保 博樹 <令和3年4月> デジタルコンテンツマネジメント (DCM) 修士（専門職） 現代社会とメディア	兼任	講師	大久保 博樹 <令和3年4月> デジタルコンテンツマネジメント (DCM) 修士（専門職）
兼任	教授	馬場 存 <令和2年4月> 博士（医学） こころの科学Ⅰ 現代人と心理Ⅰ	兼任	教授	馬場 存 <令和2年4月> 博士（医学） 現代人と心理Ⅰ	兼任	教授	馬場 存 <令和2年4月> 博士（医学） 現代人と心理Ⅰ	兼任	教授	馬場 存 <令和2年4月> 博士（医学）	兼任	教授	馬場 存 60 <令和2年4月> 博士（医学）
兼任	教授	野村 正弘 <令和4年4月> 理学修士※ 生涯学習論※	兼任	教授	野村 正弘 <令和4年4月> 理学修士※ 生涯学習論※	兼任	教授	野村 正弘 <令和4年4月> 理学修士※ 生涯学習論※	兼任	教授	野村 正弘 <令和4年4月> 理学修士※ 生涯学習論※	兼任	講師	野村 正弘 <令和4年4月> 理学修士※
兼任	教授	本池 巧 <令和2年4月> 博士（物理） 現代自然科学Ⅰ 現代自然科学Ⅱ インターンシップⅡ まちづくり実践	兼任	教授	本池 巧 <令和2年4月> 博士（物理） 現代自然科学Ⅰ 現代自然科学Ⅱ 人工知能概論 インターンシップⅡ まちづくり実践	兼任	教授	本池 巧 <令和2年4月> 博士（物理） 現代自然科学Ⅰ 現代自然科学Ⅱ 人工知能概論 まちづくり実践	兼任	教授	本池 巧 <令和2年4月> 博士（物理） 現代自然科学Ⅰ 現代自然科学Ⅱ 人工知能概論 まちづくり実践	兼任	教授	本池 巧 <令和2年4月> 博士（物理） 現代自然科学Ⅰ 現代自然科学Ⅱ 人工知能概論
兼任	教授	黒田 基樹 <令和2年4月> 博士（日本史学）※ 歴史学Ⅰ 地域と歴史	兼任	教授	黒田 基樹 <令和2年4月> 博士（日本史学）※ 歴史学Ⅰ 地域と歴史	兼任	教授	黒田 基樹 <令和2年4月> 博士（日本史学）※ 歴史学Ⅰ 地域と歴史	兼任	教授	黒田 基樹 <令和2年4月> 博士（日本史学）※ 歴史学Ⅰ	兼任	教授	黒田 基樹 <令和2年4月> 博士（日本史学）※ 歴史学Ⅰ
兼任	教授	油井（高井） 恵 <令和2年4月> 修士（学術）※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 英語Ⅰ A 英語Ⅰ B	兼任	教授	油井（高井） 恵 <令和2年4月> 修士（学術）※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ	兼任	教授	油井（高井） 恵 <令和2年4月> 修士（学術）※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ	兼任	教授	油井（高井） 恵 <令和2年4月> 修士（学術）※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ	兼任	教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	山下 尚一 <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	山下 尚一 <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	山下 尚一 <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	教授	山下 尚一 <令和2年4月> 博士(文学)
		フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅢA フランス語ⅢB フランス語演習Ⅰ フランス語演習Ⅱ 海外語学演習			フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅢA フランス語ⅢB フランス語演習Ⅰ フランス語演習Ⅱ 海外語学演習			フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語演習Ⅰ フランス語演習Ⅱ 海外語学演習			フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語演習Ⅰ フランス語演習Ⅱ
兼任	准教授	八田 真行 <令和2年4月> 修士(経済学)※	兼任	准教授	八田 真行 <令和2年4月> 修士(経済学)※	兼任	准教授	八田 真行 <令和2年4月> 修士(経済学)※	兼任	准教授	八田 真行 <令和2年4月> 修士(経済学)※
		インターネット文化論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ			インターネット文化論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ			インターネット文化論			インターネット文化論
兼任	准教授	杉本 英晴 <令和2年4月> 博士(心理学)	兼任	准教授	杉本 英晴 <令和2年4月> 博士(心理学)	兼任	講師	杉本 英晴 <令和2年4月> 博士(心理学)			
		教育心理学			まちづくり実践 教育心理学						
兼任	講師	TODD. JAMES. RUCYNSKI <令和2年4月> M. A. English Education (米国)	兼任	准教授	TODD. JAMES. RUCYNSKI <令和2年4月> M. A. English Education (米国)	兼任	准教授	TODD. JAMES. RUCYNSKI <令和2年4月> M. A. English Education (米国)	兼任	准教授	TODD. JAMES. RUCYNSKI <令和2年4月> M. A. English Education (米国)
		英語ⅡA 英語ⅡB 英語演習Ⅱ 海外語学演習			英語ⅡA 英語ⅡB 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ 海外語学演習			英語ⅡA 英語ⅡB 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ 海外語学演習			英語ⅡA 英語ⅡB 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ 海外語学演習
兼任	講師	小山 知子 <令和2年4月> 修士(キャリアデザイン学)	兼任	講師	小山 知子 <令和2年4月> 修士(キャリアデザイン学)	兼任	講師	小山 知子 <令和2年4月> 修士(キャリアデザイン学)			
		キャリア基礎Ⅰ キャリア基礎Ⅱ キャリア発展 ライフプランニング キャリア実践論Ⅰ			キャリア基礎Ⅱ キャリア発展 ライフプランニング キャリア実践論Ⅰ			キャリア基礎Ⅱ キャリア発展 ライフプランニング キャリア実践論Ⅰ			
兼任	講師	石川 賢一 <令和4年4月> 修士(教育学)※	兼任	講師	石川 賢一 <令和4年4月> 修士(教育学)※	兼任	講師	石川 賢一 <令和4年4月> 修士(教育学)※	兼任	講師	石川 賢一 <令和4年4月> 修士(教育学)※
		生涯学習論※			生涯学習論※			生涯学習論※			生涯学習論※
兼任	講師	石田 若葉 <令和2年4月> 修士(法学)※	兼任	准教授	石田 若葉 <令和2年4月> 修士(法学)※	兼任	准教授	石田 若葉 <令和2年4月> 修士(法学)※	兼任	准教授	石田 若葉 <令和2年4月> 修士(法学)※
		憲法概論			憲法概論			憲法概論			
兼任	助教	太田 康友 <令和2年4月> 修士(医科学)※	兼任	助教	太田 康友 <令和2年4月> 修士(医科学)※	兼任	講師	太田 康友 <令和2年4月> 修士(医科学)※	兼任	講師	太田 康友 <令和2年4月> 修士(医科学)※
		コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ			コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ			コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ			データリテラシー入門 インターンシップⅡ
兼任	助教	林田 光弘 <令和3年4月> 修士(法学)	兼任	講師	林田 光弘 <令和3年4月> 修士(法学)						
		現代社会と法			現代社会と法						
			兼任	教授	塚本 幾重子 (高) <令和2年4月> Master of Arts (Family and Community Education) (米国)						
					インターンシップⅡ						
			兼任	教授	小澤 伸光 (高) <令和2年4月> 経営学修士※						
					インターンシップⅡ						
			兼任	教授	原 聰 (高) <令和2年4月> 教育学修士	兼任	教授	原 聰 (高) <令和2年4月> 教育学修士			
					こころの科学Ⅰ 森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ			こころの科学Ⅰ 森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
				兼担	教授					兼担	教授
					町田 欣弥 （高） ＜令和2年4月＞ 工学士 インターシップⅡ						
				兼担	教授			小俣 麗二 （高） ＜令和2年4月＞ 博士（心理学） こころの科学Ⅱ		兼担	教授
				兼担	教授			千草 幸雄 （高） ＜令和2年4月＞ 法学士 インターシップⅡ			
						</					

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					羽淵 貴司 <令和3年4月> 博士(工学) インターンシップⅡ			羽淵 貴司 <令和3年4月> 博士(工学)			羽淵 貴司 <令和3年4月> 博士(工学)
					金 基弘 <令和2年4月> 博士(芸術工学) まちづくり実践			金 基弘 <令和2年4月> 博士(芸術工学)			金 基弘 <令和2年4月> 博士(芸術工学)
								村井 千寿子 <令和4年4月> 博士(工学)※ こころの科学Ⅱ 現代人と心理Ⅰ 教育心理学			村井 千寿子 <令和4年4月> 博士(工学)※ 教育心理学
					清水 知佳 <令和3年4月> 博士(環境学)※ 地域社会と環境			清水 知佳 <令和3年4月> 博士(環境学)※ 地域社会と環境			清水 知佳 <令和3年4月> 博士(環境学)※ 地域社会と環境
								石橋 英理 <令和4年4月> 修士(カウンスリング) キャリア基礎Ⅱ キャリア発展 ライフプランニング キャリア実践Ⅰ			石橋 英理 <令和4年4月> 修士(カウンスリング) キャリア基礎Ⅱ キャリア発展 ライフプランニング キャリア実践Ⅰ
					山崎 義広 <令和2年4月> 博士(学術) インターンシップⅡ			山崎 義広 <令和2年4月> 博士(学術) 地域企業論 インターンシップⅡ			山崎 義広 <令和2年4月> 博士(学術)
								和田 忍 <令和4年4月> MA in Medieval English Literature(英国)※ 英語ⅡA 英語ⅡB 海外語学演習			和田 忍 <令和4年4月> MA in Medieval English Literature(英国)※ 海外語学演習
					鳥原 知大 <令和2年4月> 修士(文学)※ 英語ⅠA 英語ⅠB 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ 海外語学演習			鳥原 知大 <令和2年4月> 修士(文学)※ 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ 海外語学演習			鳥原 知大 <令和2年4月> 修士(文学)※ 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ
					福島 大我 <令和3年4月> 博士(歴史学)※ 歴史学Ⅱ			福島 大我 <令和3年4月> 博士(歴史学)※ 歴史学Ⅱ			福島 大我 <令和3年4月> 博士(歴史学)※ 歴史学Ⅱ
								木下 裕太 <令和4年4月> 修士(文学) 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB 英語演習Ⅱ			木下 裕太 <令和4年4月> 修士(文学) 英語ⅠA 英語ⅠB 英語演習Ⅱ
					内田 いづみ <令和2年4月> 修士(文化情報学) コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ			内田 いづみ <令和2年4月> 修士(文化情報学) コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ データリテラシー入門 教育の方法と技術※			内田 いづみ <令和2年4月> 修士(文化情報学) コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ データリテラシー入門 教育の方法と技術※
								石川 清貴 <令和4年4月> 博士(農学) インターンシップⅠ			石川 清貴 <令和4年4月> 博士(農学) インターンシップⅠ
					DE HAVEN, SHAWN <令和3年4月> 修士(比較文化)※ 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ			DE HAVEN, SHAWN <令和3年4月> 修士(比較文化)※ 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定) 保有学位等>	担当授業科目名
		須永 隆広 <令和2年4月> 修士(英語コミュニケーション)※	
		英語ⅡA 英語ⅡB 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ	
兼任	講師	山下 浩 <令和3年4月> 教育学士 特別支援教育Ⅱ※	
兼任	講師	内田 文夫 <令和3年4月> 文学士 道徳教育の理論と方法	
兼任	講師	笹 寿美子 <令和2年4月> 英文学士 日本語ⅡA 日本語ⅡB	
兼任	講師	松林 幸一郎 <令和2年4月> 体育学士 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ	
兼任	講師	中條 克俊 <令和3年4月> 経済学士 総合的な学習の時間の指導	
兼任	講師	中村 千秋 <令和4年4月> 体育学修士 解剖生理学	
兼任	講師	申 奎燮 <令和2年4月> 文学修士※ 韓国語ⅡA 韓国語ⅡB 韓国語ⅢA 韓国語ⅢB	
兼任	講師	橋口 道代 <令和4年4月> 修士(ソーシャル・イノベーション) 国際交流とスポーツ	
兼任	講師	富樫 泰一 <令和3年4月> 体育学修士 専門実技(アクア・マリンスポーツ)	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定) 保有学位等>	担当授業科目名
		須永 隆広 <令和2年4月> 修士(英語コミュニケーション)※	
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ	
兼任	講師	山下 浩 <令和3年4月> 教育学士 特別支援教育Ⅱ※	
兼任	講師	内田 文夫 <令和3年4月> 文学士 道徳教育の理論と方法	
兼任	講師	笹 寿美子 <令和2年4月> 英文学士 日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB	
兼任	講師	松林 幸一郎 <令和2年4月> 体育学士 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ	
兼任	講師	中條 克俊 <令和3年4月> 経済学士 総合的な学習の時間の指導	
兼任	講師	中村 千秋 <令和4年4月> 体育学修士 解剖生理学	
兼任	講師	申 奎燮 <令和2年4月> 文学修士※ 韓国語ⅠA 韓国語ⅠB	
兼任	講師	橋口 道代 <令和4年4月> 修士(ソーシャル・イノベーション) 国際交流とスポーツ	
兼任	講師	富樫 泰一 <令和3年4月> 体育学修士 専門実技(アクア・マリンスポーツ)	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定) 保有学位等>	担当授業科目名
		須永 隆広 <令和2年4月> 修士(英語コミュニケーション)※	
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ	
兼任	講師	山下 浩 <令和3年4月> 教育学士 特別支援教育Ⅱ※	
兼任	講師	内田 文夫 <令和3年4月> 文学士 道徳教育の理論と方法	
兼任	講師	笹 寿美子 <令和2年4月> 英文学士 日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB	
兼任	講師	松林 幸一郎 <令和2年4月> 体育学士 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ	
兼任	講師	中條 克俊 <令和3年4月> 経済学士 総合的な学習の時間の指導	
兼任	講師	中村 千秋 <令和4年4月> 体育学修士 解剖生理学	
兼任	講師	申 奎燮 <令和2年4月> 文学修士※ 韓国語ⅠA 韓国語ⅠB	
兼任	講師	橋口 道代 <令和4年4月> 修士(ソーシャル・イノベーション) 国際交流とスポーツ	
兼任	講師	富樫 泰一 <令和3年4月> 体育学修士 専門実技(アクア・マリンスポーツ)	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定) 保有学位等>	担当授業科目名
		須永 隆広 <令和2年4月> 修士(英語コミュニケーション)※	
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ	
兼任	講師	山下 浩 <令和3年4月> 教育学士 特別支援教育Ⅱ※	
兼任	講師	内田 文夫 <令和3年4月> 文学士 道徳教育の理論と方法	
兼任	講師	笹 寿美子 <令和2年4月> 英文学士 日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB	
兼任	講師	松林 幸一郎 <令和2年4月> 体育学士 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ	
兼任	講師	中條 克俊 <令和3年4月> 経済学士 総合的な学習の時間の指導	
兼任	講師	中村 千秋 <令和4年4月> 体育学修士 解剖生理学	
兼任	講師	申 奎燮 <令和2年4月> 文学修士※ 韓国語ⅠA 韓国語ⅠB	
兼任	講師	橋口 道代 <令和4年4月> 修士(ソーシャル・イノベーション) 国際交流とスポーツ	
兼任	講師	富樫 泰一 <令和3年4月> 体育学修士 専門実技(アクア・マリンスポーツ)	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定) 保有学位等>	担当授業科目名
		須永 隆広 <令和2年4月> 修士(英語コミュニケーション)※	
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ	
兼任	講師	山下 浩 <令和3年4月> 教育学士 特別支援教育Ⅱ※	
兼任	講師	内田 文夫 <令和3年4月> 文学士 道徳教育の理論と方法	
兼任	講師	笹 寿美子 <令和2年4月> 英文学士 日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB	
兼任	講師	松林 幸一郎 <令和2年4月> 体育学士 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ	
兼任	講師	中條 克俊 <令和3年4月> 経済学士 総合的な学習の時間の指導	
兼任	講師	中村 千秋 <令和4年4月> 体育学修士 解剖生理学	
兼任	講師	申 奎燮 <令和2年4月> 文学修士※ 韓国語ⅠA 韓国語ⅠB	
兼任	講師	橋口 道代 <令和4年4月> 修士(ソーシャル・イノベーション) 国際交流とスポーツ	
兼任	講師	富樫 泰一 <令和3年4月> 体育学修士 専門実技(アクア・マリンスポーツ)	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	孫 国震 ＜令和2年4月＞ 文学修士※ 中国語Ⅰ A 中国語Ⅰ B
兼任	講師	蔣 威婷 ＜令和2年4月＞ 社会学修士 中国語Ⅱ A 中国語Ⅱ B 中国語演習Ⅱ
兼任	講師	長畑 芳仁 ＜令和3年4月＞ 体育学修士 専門実技（体カトレーニング）
兼任	講師	森 敏生 ＜令和3年4月＞ 教育学修士 保健体育科教育法Ⅰ※
兼任	講師	井上 直子 ＜令和3年4月＞ 博士（都市科学） 健康と文化
兼任	講師	石山 育朗 ＜令和2年4月＞ 教育学修士 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 専門実技（バレーボール） 専門実技（バスケットボール）
兼任	講師	岡田 啓美 ＜令和2年4月＞ 文学修士 ドイツ語Ⅱ A ドイツ語Ⅱ B
兼任	講師	浜野 兼一 ＜令和3年4月＞ 教育学修士※ 特別活動の指導
兼任	講師	三尾 忠男 ＜令和4年4月＞ 教育学修士 教育の方法と技術
兼任	講師	蛭間 栄介 ＜令和2年4月＞ Master of Science(Exercise Science) (米園) 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 専門実技（水泳） スポーツインストラクター指導論
兼任	講師	金沢 はるえ ＜令和3年4月＞ 教育学修士 総合的な学習の時間の指導
兼任	講師	李 善姬 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 韓国語Ⅰ A 韓国語Ⅰ B
兼任	講師	蛭間 純子 ＜令和2年4月＞ 学士 (Bachelor Arts) (米園) 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 専門実技（フィットネスA） 専門実技（フィットネスB） 健康・体力づくり指導法
兼任	講師	花屋 哲郎 ＜令和3年4月＞ 修士（教育学）※ 生徒指導
兼任	講師	中川 直樹 ＜令和2年4月＞ 体育学修士 からだの科学Ⅰ からだの科学Ⅱ 専門実技（テニス）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	孫 国震 ＜令和2年4月＞ 文学修士※ 中国語Ⅰ A 中国語Ⅰ B
兼任	講師	蔣 威婷 ＜令和2年4月＞ 社会学修士 中国語Ⅱ A 中国語Ⅱ B 中国語演習Ⅱ
兼任	講師	長畑 芳仁 ＜令和3年4月＞ 体育学修士 専門実技（体カトレーニング）
兼任	講師	森 敏生 ＜令和3年4月＞ 教育学修士 保健体育科教育法Ⅰ※
兼任	講師	井上 直子 ＜令和3年4月＞ 博士（都市科学） 健康と文化
兼任	講師	石山 育朗 ＜令和2年4月＞ 教育学修士 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 専門実技（バレーボール） 専門実技（バスケットボール）
兼任	講師	岡田 啓美 ＜令和2年4月＞ 文学修士
兼任	講師	浜野 兼一 ＜令和3年4月＞ 教育学修士※ 特別活動の指導
兼任	講師	三尾 忠男 ＜令和4年4月＞ 教育学修士 教育の方法と技術
兼任	講師	蛭間 栄介 ＜令和2年4月＞ Master of Science(Exercise Science) (米園) 専門実技（水泳） スポーツインストラクター指導論
兼任	講師	金沢 はるえ ＜令和3年4月＞ 教育学修士 総合的な学習の時間の指導
兼任	講師	李 善姬 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 韓国語Ⅰ A 韓国語Ⅰ B
兼任	講師	蛭間 純子 ＜令和2年4月＞ 学士 (Bachelor Arts) (米園) 専門実技（フィットネスA） 専門実技（フィットネスB） 健康・体力づくり指導法
兼任	講師	花屋 哲郎 ＜令和3年4月＞ 修士（教育学）※ 生徒指導
兼任	講師	中川 直樹 ＜令和2年4月＞ 体育学修士 からだの科学Ⅰ からだの科学Ⅱ 専門実技（テニス）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	孫 国震 ＜令和2年4月＞ 文学修士※ 中国語Ⅱ A 中国語Ⅱ B
兼任	講師	蔣 威婷 ＜令和2年4月＞ 社会学修士 中国語Ⅱ A 中国語Ⅱ B 中国語演習Ⅰ 中国語演習Ⅱ
兼任	講師	長畑 芳仁 ＜令和3年4月＞ 体育学修士 専門実技（体カトレーニング）
兼任	講師	森 敏生 ＜令和3年4月＞ 教育学修士 保健体育科教育法Ⅰ※
兼任	講師	井上 直子 ＜令和3年4月＞ 博士（都市科学） 健康と文化
兼任	講師	石山 育朗 ＜令和2年4月＞ 教育学修士 専門実技（バレーボール） 専門実技（バスケットボール）
兼任	講師	岡田 啓美 ＜令和2年4月＞ 文学修士 ドイツ語Ⅱ A ドイツ語Ⅱ B
兼任	講師	浜野 兼一 ＜令和3年4月＞ 教育学修士※ 特別活動の指導
兼任	講師	三尾 忠男 ＜令和4年4月＞ 教育学修士 教育の方法と技術
兼任	講師	蛭間 栄介 ＜令和2年4月＞ Master of Science(Exercise Science) (米園) 専門実技（水泳） スポーツインストラクター指導論
兼任	講師	金沢 はるえ ＜令和3年4月＞ 教育学修士 総合的な学習の時間の指導
兼任	講師	李 善姬 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 韓国語Ⅰ A 韓国語Ⅰ B
兼任	講師	
兼任	講師	中川 直樹 ＜令和2年4月＞ 体育学修士 からだの科学Ⅰ からだの科学Ⅱ 専門実技（テニス）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	孫 国震 ＜令和2年4月＞ 文学修士※ 中国語Ⅰ A 中国語Ⅰ B
兼任	講師	蔣 威婷 ＜令和2年4月＞ 社会学修士 中国語Ⅱ A 中国語Ⅱ B 中国語演習Ⅰ 中国語演習Ⅱ
兼任	講師	長畑 芳仁 ＜令和3年4月＞ 体育学修士 専門実技（体カトレーニング）
兼任	講師	森 敏生 ＜令和3年4月＞ 教育学修士 保健体育科教育法Ⅰ※
兼任	講師	
兼任	講師	石山 育朗 ＜令和2年4月＞ 教育学修士 専門実技（バレーボール） 専門実技（バスケットボール）
兼任	講師	岡田 啓美 ＜令和2年4月＞ 文学修士 ドイツ語Ⅱ A ドイツ語Ⅱ B
兼任	講師	浜野 兼一 ＜令和3年4月＞ 教育学修士※ 特別活動の指導
兼任	講師	
兼任	講師	蛭間 栄介 ＜令和2年4月＞ Master of Science(Exercise Science) (米園) 専門実技（水泳）
兼任	講師	金沢 はるえ ＜令和3年4月＞ 教育学修士 総合的な学習の時間の指導
兼任	講師	李 善姬 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 韓国語Ⅰ A 韓国語Ⅰ B
兼任	講師	
兼任	講師	中川 直樹 ＜令和2年4月＞ 体育学修士 からだの科学Ⅰ からだの科学Ⅱ 専門実技（テニス）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	孫 国震 ＜令和2年4月＞ 文学修士※ 中国語Ⅰ A 中国語Ⅰ B
兼任	講師	蔣 威婷 ＜令和2年4月＞ 社会学修士 中国語Ⅱ A 中国語Ⅱ B
兼任	講師	長畑 芳仁 ＜令和3年4月＞ 体育学修士 専門実技（体カトレーニング）
兼任	講師	森 敏生 ＜令和3年4月＞ 教育学修士 保健体育科教育法Ⅰ※
兼任	講師	
兼任	講師	石山 育朗 ＜令和2年4月＞ 教育学修士 専門実技（バレーボール）
兼任	講師	岡田 啓美 ＜令和2年4月＞ 文学修士 ドイツ語Ⅱ A ドイツ語Ⅱ B
兼任	講師	浜野 兼一 ＜令和3年4月＞ 教育学修士※ 特別活動の指導
兼任	講師	
兼任	講師	蛭間 栄介 ＜令和2年4月＞ Master of Science(Exercise Science) (米園) 専門実技（水泳）
兼任	講師	金沢 はるえ ＜令和3年4月＞ 教育学修士 総合的な学習の時間の指導
兼任	講師	李 善姬 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 韓国語Ⅰ A 韓国語Ⅰ B
兼任	講師	
兼任	講師	中川 直樹 ＜令和2年4月＞ 体育学修士 からだの科学Ⅰ からだの科学Ⅱ 専門実技（テニス）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	苗木 寛 ＜令和2年4月＞ 体育学修士	兼任	講師	苗木 寛 ＜令和2年4月＞ 体育学修士	兼任	講師	苗木 寛 ＜令和2年4月＞ 体育学修士	兼任	講師	苗木 寛 ＜令和2年4月＞ 体育学修士
		健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ スポーツ指導者論			スポーツ指導者論			健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ スポーツ指導者論			
兼任	講師	長沼 佐代子 ＜令和3年4月＞ 心理学博士	兼任	講師	長沼 佐代子 ＜令和3年4月＞ 心理学博士	兼任	講師	長沼 佐代子 ＜令和3年4月＞ 心理学博士	兼任	講師	長沼 佐代子 ＜令和3年4月＞ 心理学博士
		現代人と心理Ⅱ			現代人と心理Ⅱ			現代人と心理Ⅱ			
兼任	講師	村山 光子 ＜令和3年4月＞ 修士（総合政策）※	兼任	講師	村山 光子 ＜令和3年4月＞ 修士（総合政策）※	兼任	講師	村山 光子 ＜令和3年4月＞ 修士（総合政策）※	兼任	講師	村山 光子 ＜令和3年4月＞ 修士（総合政策）※
		特別支援教育Ⅱ※			特別支援教育Ⅱ※			特別支援教育Ⅱ※			
兼任	講師	趙 珠恩 ＜令和2年4月＞ 文学修士	兼任	講師	趙 珠恩 ＜令和2年4月＞ 文学修士	兼任	講師	趙 珠恩 ＜令和2年4月＞ 文学修士	兼任	講師	趙 珠恩 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		韓国語ⅠA 韓国語ⅠB 韓国語ⅡA 韓国語ⅡB			韓国語ⅠA 韓国語ⅠB						
					韓国語ⅢA 韓国語ⅢB			韓国語ⅢA 韓国語ⅢB			
兼任	講師	櫻井（小島） 千絵 ＜令和2年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	櫻井（小島） 千絵 ＜令和2年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	櫻井（小島） 千絵 ＜令和2年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	櫻井（小島） 千絵 ＜令和2年4月＞ 修士（文学）
		ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB						ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅢB			ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅢB
兼任	講師	杉本（兼松） 美穂 ＜令和3年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	杉本（兼松） 美穂 ＜令和3年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	杉本（兼松） 美穂 ＜令和3年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	杉本（兼松） 美穂 ＜令和3年4月＞ 修士（文学）
		日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語演習Ⅰ 日本語演習Ⅱ			日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語演習Ⅰ 日本語演習Ⅱ			日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB			
兼任	講師	ネヴィン 朋子 ＜令和2年4月＞ 教育学修士	兼任	講師	ネヴィン 朋子 ＜令和2年4月＞ 教育学修士	兼任	講師	ネヴィン 朋子 ＜令和2年4月＞ 教育学修士	兼任	講師	ネヴィン 朋子 ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		英語ⅡA 英語ⅡB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB			英語ⅠA 英語ⅠB			
兼任	講師	安井 健一郎 ＜令和2年4月＞ 開発学修士	兼任	講師	安井 健一郎 ＜令和2年4月＞ 開発学修士	兼任	講師	安井 健一郎 ＜令和2年4月＞ 開発学修士	兼任	講師	安井 健一郎 ＜令和2年4月＞ 開発学修士
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅠA 英語ⅠB			
兼任	講師	山口 真里 ＜令和3年4月＞ 教育学修士	兼任	講師	山口 真里 ＜令和3年4月＞ 教育学修士	兼任	講師	山口 真里 ＜令和3年4月＞ 教育学修士	兼任	講師	山口 真里 ＜令和3年4月＞ 教育学修士
		ジェンダー論			ジェンダー論			ジェンダー論			
兼任	講師	角替 弘規 ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	兼任	講師	角替 弘規 ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	兼任	講師	角替 弘規 ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	兼任	講師	角替 弘規 ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）
		教職論			教職論			教職論			
兼任	講師	千葉 庄寿 ＜令和2年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	千葉 庄寿 ＜令和2年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師		兼任	講師	
		北欧文化論			北欧文化論						
兼任	講師	西村 拓郎 ＜令和2年4月＞ 学士（経済学）	兼任	講師	西村 拓郎 ＜令和2年4月＞ 学士（経済学）	兼任	講師	西村 拓郎 ＜令和2年4月＞ 学士（経済学）	兼任	講師	西村 拓郎 ＜令和2年4月＞ 学士（経済学）
		森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ			森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ			森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ			
兼任	講師	津崎 正行 ＜令和2年4月＞ 独文学修士	兼任	講師	津崎 正行 ＜令和2年4月＞ 独文学修士	兼任	講師	津崎 正行 ＜令和2年4月＞ 独文学修士	兼任	講師	津崎 正行 ＜令和2年4月＞ 独文学修士
		ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅢB			ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅢB						
兼任	講師	洪 明真 ＜令和3年4月＞ 修士（教育学）	兼任	講師	洪 明真 ＜令和3年4月＞ 修士（教育学）	兼任	講師	洪 明真 ＜令和3年4月＞ 修士（教育学）	兼任	講師	
		ホスピタリティ論			ホスピタリティ論			ホスピタリティ論			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	武 正憲 ＜令和3年4月＞ 博士(環境学)	兼任	講師	武 正憲 ＜令和3年4月＞ 博士(環境学)						
		専門実技(パドルスポーツ)			専門実技(パドルスポーツ)						
兼任	講師	櫻澤 裕樹 ＜令和3年4月＞ 博士(環境学)	兼任	講師	櫻澤 裕樹 ＜令和3年4月＞ 博士(環境学)						
		専門実技(自然活動C)※			専門実技(自然活動C)※						
兼任	講師	神野 賢二 ＜令和3年4月＞ 修士(社会学)	兼任	講師	神野 賢二 ＜令和3年4月＞ 修士(社会学)	兼任	講師	神野 賢二 ＜令和3年4月＞ 修士(社会学)	兼任	講師	神野 賢二 ＜令和3年4月＞ 修士(社会学)
		専門実技(自然活動C)※			専門実技(自然活動C)※			専門実技(自然活動C)			
兼任	講師	佐藤 美幸 ＜令和3年4月＞ 博士(心身障害学)	兼任	講師	佐藤 美幸 ＜令和3年4月＞ 博士(心身障害学)						
		特別支援教育Ⅰ※ 特別支援教育Ⅱ※			特別支援教育Ⅰ※ 特別支援教育Ⅱ※						
兼任	講師	永作 稔 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)	兼任	講師	永作 稔 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)						
		教育心理学 特別支援教育Ⅰ※ 特別支援教育Ⅱ※ 教育相談※ 進路指導			教育心理学 特別支援教育Ⅰ※ 特別支援教育Ⅱ※ 教育相談※ 進路指導						
兼任	講師	穴戸 渉 ＜令和2年4月＞ 修士(体育学)	兼任	講師	穴戸 渉 ＜令和2年4月＞ 修士(体育学)	兼任	講師	穴戸 渉 ＜令和2年4月＞ 修士(体育学)	兼任	講師	穴戸 渉 ＜令和2年4月＞ 修士(体育学)
		健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ メンタルトレーニング論			メンタルトレーニング論			メンタルトレーニング論			メンタルトレーニング論
兼任	講師	吉松 梓 ＜令和4年4月＞ 修士(体育学)	兼任	講師	吉松 梓 ＜令和4年4月＞ 修士(体育学)	兼任	講師	吉松 梓 ＜令和4年4月＞ 修士(体育学)			
		アダプテッドスポーツ論			アダプテッドスポーツ論			アダプテッドスポーツ論			
兼任	講師	武田 哲子 ＜令和4年4月＞ 博士(体育科学)	兼任	講師	武田 哲子 ＜令和4年4月＞ 博士(体育科学)	兼任	講師	武田 哲子 ＜令和4年4月＞ 博士(体育科学)			
		スポーツ栄養学			スポーツ栄養学			スポーツ栄養学			
兼任	講師	小池 太 ＜令和2年4月＞ Master of Outdoor and Environmental Education (濠 国)	兼任	講師	小池 太 ＜令和2年4月＞ Master of Outdoor and Environmental Education (濠 国)	兼任	講師	小池 太 ＜令和2年4月＞ Master of Outdoor and Environmental Education (濠 国)	兼任	講師	小池 太 ＜令和2年4月＞ Master of Outdoor and Environmental Education (濠 国)
		健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ			健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ			健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ			
兼任	講師	米澤(高橋) 麻佑子 ＜令和2年4月＞ 修士(体育学)	兼任	講師	米澤(高橋) 麻佑子 ＜令和2年4月＞ 修士(体育学)	兼任	講師	米澤(高橋) 麻佑子 ＜令和2年4月＞ 修士(体育学)	兼任	講師	米澤(高橋) 麻佑子 ＜令和2年4月＞ 修士(体育学)
		健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ			健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ			健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ			健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ
兼任	講師	仲宗根 森敦 ＜令和3年4月＞ 修士(体育学)	兼任	講師	仲宗根 森敦 ＜令和3年4月＞ 修士(体育学)	兼任	講師	仲宗根 森敦 ＜令和3年4月＞ 修士(体育学)	兼任	講師	仲宗根 森敦 ＜令和3年4月＞ 修士(体育学)
		専門実技(器械運動) 運動学			専門実技(器械運動) 運動学			専門実技(器械運動) 運動学			専門実技(器械運動) 運動学
兼任	講師	持田 隆平 ＜令和2年4月＞ 修士(人間科学)	兼任	講師	持田 隆平 ＜令和2年4月＞ 修士(人間科学)	兼任	講師	持田 隆平 ＜令和2年4月＞ 修士(人間科学)	兼任	講師	持田 隆平 ＜令和2年4月＞ 修士(人間科学)
		こころの科学Ⅰ こころの科学Ⅱ			こころの科学Ⅰ こころの科学Ⅱ			こころの科学Ⅰ こころの科学Ⅱ			こころの科学Ⅰ こころの科学Ⅱ
兼任	講師	飯塚 哲司 ＜令和2年4月＞ 修士(スポーツ科学)	兼任	講師	飯塚 哲司 ＜令和2年4月＞ 修士(スポーツ科学)	兼任	講師	飯塚 哲司 ＜令和2年4月＞ 修士(スポーツ科学)	兼任	講師	飯塚 哲司 ＜令和2年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		救急処置法※ 専門実技(水泳)			救急処置法※ 専門実技(水泳)			救急処置法※ 専門実技(水泳) 専門実技(水泳)			専門実技(水泳) 専門実技(水泳)
兼任	講師	浅野 公貴 ＜令和3年4月＞ 修士(法学)									
		労働基準法 労働安全衛生法Ⅰ 労働安全衛生法Ⅱ									
兼任	講師	高井 寛 ＜令和2年4月＞ 修士(文学)	兼任	講師	高井 寛 ＜令和2年4月＞ 修士(文学)						
		倫理学Ⅰ			倫理学Ⅰ						
兼任	講師	小柳 将吾 ＜令和2年4月＞ 修士(体育科学)	兼任	講師	小柳 将吾 ＜令和2年4月＞ 修士(体育科学)	兼任	講師	小柳 将吾 ＜令和2年4月＞ 修士(体育科学)	兼任	講師	小柳 将吾 ＜令和2年4月＞ 修士(体育科学)
		チームビルディング※			チームビルディング※			チームビルディング※			チームビルディング※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					藤川 和俊 ＜令和3年4月＞ 文学修士 総合的な学習の時間の指導 進路指導			藤川 和俊 ＜令和3年4月＞ 文学修士 総合的な学習の時間の指導 教育の方法と技術※ 進路指導			藤川 和俊 ＜令和3年4月＞ 文学修士 総合的な学習の時間の指導 教育の方法と技術※ 進路指導
			兼任 講師	鄭 寅玉 ＜令和2年4月＞ 教育学修士 韓国語ⅡA 韓国語ⅡB	兼任 講師						
			兼任 講師	吉野 瑞恵 ＜令和2年4月＞ 博士（文学） 文学Ⅰ 文学Ⅱ	兼任 講師			吉野 瑞恵 ＜令和2年4月＞ 博士（文学） 文学Ⅰ 文学Ⅱ	兼任 講師		吉野 瑞恵 ＜令和2年4月＞ 博士（文学） 文学Ⅰ 文学Ⅱ
			兼任 講師	田島 智也 ＜令和2年4月＞ 農学士 森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ	兼任 講師			田島 智也 ＜令和2年4月＞ 農学士 森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ	兼任 講師		田島 智也 ＜令和2年4月＞ 農学士 森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ
					兼任 講師			浅谷 眞弓 ＜令和3年4月＞ 文学修士※ フランス語ⅢA フランス語ⅢB	兼任 講師		浅谷 眞弓 ＜令和3年4月＞ 文学修士※ フランス語ⅢA フランス語ⅢB
					兼任 講師			竹原 真 ＜令和3年4月＞ 学術修士※ フランス語ⅠA フランス語ⅠB	兼任 講師		
			兼任 講師	佐藤 由美 ＜令和2年4月＞ 文学修士 英語ⅠA 英語ⅠB							
			兼任 講師	小野 雅子 ＜令和2年4月＞ Master of Arts (the Division of the Humanities) (米園) 英語ⅠA 英語ⅠB	兼任 講師			小野 雅子 ＜令和2年4月＞ Master of Arts (the Division of the Humanities) (米園) 英語ⅠA 英語ⅠB	兼任 講師		
								三輪 全 ＜令和4年4月＞ 修士（経済学） 教育の方法と技術	兼任 講師		三輪 全 ＜令和4年4月＞ 修士（経済学） 教育の方法と技術
											馬場 治男 ＜令和5年4月＞ 修士（教育学） 教職論
			兼任 講師	渡邊 浩子 ＜令和2年4月＞ 文学修士 英語ⅠA 英語ⅠB							
					兼任 講師			藤野 強 ＜令和3年4月＞ 高等学校 専門実技（バドルスーツ）	兼任 講師		藤野 強 ＜令和3年4月＞ 高等学校 専門実技（バドルスーツ）
			兼任 講師	小山 都也 ＜令和3年4月＞ 社会福祉学士 地域社会と経済※	兼任 講師			小山 都也 ＜令和3年4月＞ 社会福祉学士 地域社会と経済※	兼任 講師		小山 都也 ＜令和3年4月＞ 社会福祉学士 地域社会と経済※
			兼任 講師	佐藤 宏樹 ＜令和3年4月＞ 修士（文学）※ 英語ⅢA 英語ⅢB	兼任 講師			佐藤 宏樹 ＜令和3年4月＞ 修士（文学）※ 英語ⅢA 英語ⅢB	兼任 講師		佐藤 宏樹 ＜令和3年4月＞ 修士（文学）※ 英語ⅢA 英語ⅢB
								尾崎 泰弘 ＜令和4年4月＞ 文学士 地域と歴史※	兼任 講師		尾崎 泰弘 ＜令和4年4月＞ 文学士 地域と歴史※
			兼任 講師	山川 重古 ＜令和3年4月＞ 文学修士※ 北欧文化論	兼任 講師			山川 重古 ＜令和3年4月＞ 文学修士※ 北欧文化論	兼任 講師		山川 重古 ＜令和3年4月＞ 文学修士※ 北欧文化論

49

50

[illegible]

[illegible]

(注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

● 既申請書および設置届出書の様式第3号(その2)の1.)に準じて作成してください。

● 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を参照してください。

● 「既申請時又は届出時」には設置既申請時又は届出時の教員全名(兼任、兼任教名を含む。)を赤字で記入してください。

● 一方で、各年度については、**既申請時又は届出時から変更になっている箇所は赤字としてください。**

● 年齢は、**それまでの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。

● 専任(専門職大学等は専、専実、実(研)、実実)、兼任、兼任の順に記入してください。

● 重要な年度(令和4年度以降であれば令和3年度以前)の兼任は適宜記入してください。

● 指定科目の改正により、新旧カリキュラムと並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・年次計画に基づき今年度担当授業科目の一部を担当しない教員
大貫秀明教授、平井純子教授、朴周鳳准教授、小丸超准教授、飯田悠佳子准教授、松林幸一郎兼任講師、蛭間栄介兼任講師、蛭間純子兼任講師、笛木寛兼任講師、穴戸渉兼任講師、
- ・昇任審査継続中（社会への貢献度）のため講師として配置、年度内に昇任選考予定
鶴海未祐子准教授
- ・学位取得
MATTHEWS JOEL DAVID専任講師、佐竹（杉谷）由帆兼任准教授、
- ・昇進
TODD. JAMES. RUCYNSKI兼任講師から兼任准教授、石田若菜兼任講師から兼任准教授、石川真知子兼任助教から兼任講師、林田光弘兼任助教から兼任講師
- ・担当教員の負担減のための変更（科目の減）
伊藤雅道兼任教授、八木（木下）真奈美兼任教授、佐川和彦兼任教授、海老澤豊兼任教授、福田二郎兼任教授、馬場存兼任教授、油井（高井）恵兼任教授、前田悦子兼任准教授、佐竹（杉谷）由帆兼任准教授、山下尚一兼任准教授、石川真知子兼任講師、申奎燮兼任講師、岡田啓美兼任講師、趙珠恩兼任講師、櫻井（小島）千絵兼任講師、安井健一郎兼任講師、
- ・担当教員の負担減のための変更（科目の増）
原聰兼任教授、小俣謙二兼任教授、内田いづみ兼任講師、須永隆広助教、杉本美穂兼任講師、ネヴィン朋子兼任講師、ANTHONY. HUGH. LAWRENCE兼任講師、堺和男兼任講師、海津宜則兼任講師、小室俊明兼任講師、鄭寅玉兼任講師、佐藤由美兼任講師、小野雅子兼任講師、渡邊浩子兼任講師、尾崎文太兼任講師、北條陽子兼任講師、高橋旭兼任講師、KENNETH JOSEPH McGLAIN Ⅲ兼任講師、千田英司兼任講師、木川明彦兼任講師、JAMIL. KARIM兼任講師、恵良友也兼任講師
- ・教育課程の充実のための担当科目追加
本池巧兼任教授、杉本英晴兼任准教授、TODD. JAMES. RUCYNSKI兼任准教授、塚本美恵子兼任教授、小澤伸光兼任教授、原聰兼任教授、町田欣弥兼任教授、千草孝雄兼任教授、木塚隆志兼任教授、孔炳龍兼任教授、金基弘兼任准教授、山崎義広兼任講師、島原知大兼任講師、須永隆広助教、笹寿美子兼任講師、中條克俊兼任講師、ネヴィン朋子兼任講師、王佩民兼任講師、岡部一宏兼任講師、吉野瑞恵兼任講師、田島哲也兼任講師、岡田大助兼任講師、矢久保典良兼任講師
- ・教育内容の均質化のための変更
小山知子兼任講師
- ・就任辞退（他大学就任）
浅野公貴兼任講師
- ・後任補充
田中建一兼任講師

【令和3年度】

- ・年次計画に基づき今年度担当授業科目の一部を担当しない教員
狐塚賢一郎教授、平井純子教授、小林将輝准教授、朴周鳳准教授、小丸超准教授、丸藤祐子准教授、飯田悠佳子准教授、松林幸一郎兼任講師、石山育朗兼任講師、蛭間栄介兼任講師、笛木寛兼任講師、穴戸渉兼任講師
- ・年次計画に基づき担当授業科目を再開する教員
大貫秀明教授、平井純子教授
- ・授業未開講により今年度担当授業科目の一部を担当しない教員
吉野貴順教授、**大貫秀明教授、狐塚賢一郎教授、小林将輝准教授、石川（岩橋）真知子兼任講師から専任講師（令和3年9月より。令和3年5月教員審査済）、葉紅（梶山 葉紅）兼任教授、朴昌明兼任教授、山下尚一兼任准教授、TODD. JAMES. RUCYNSKI兼任准教授、富樫泰一兼任講師（4）**
- ・未開講科目を再開する教員
伊藤雅道兼任教授
- ・職位の変更
J. Matthews専任講師から兼任講師、佐竹（杉谷）由帆兼任准教授から兼任講師、杉本英晴兼任准教授から兼任講師（以上、担当科目減）、**石川（岩橋）真知子兼任講師から専任講師（令和3年9月より。令和3年5月教員審査済）（4）、太田康友兼任助教から兼任講師**
- ・学位取得
村山光子兼任講師、洪明真兼任講師、飯塚哲司兼任講師
- ・改姓名
石川（岩橋）真知子兼任講師
- ・担当教員の職位の変更に伴う変更（科目の増）
平野和弘准教授（令和3年2月教員審査済）、飯田悠佳子（令和3年2月教員審査済）、石川（岩橋）真知子兼任講師、藤掛友希兼任助教、水野雅之兼任講師
- ・担当教員の役職変更及び負担減のための変更（科目の減）
葉紅（梶山 葉紅）兼任教授、本池巧兼任教授、八田真行兼任准教授、TODD. JAMES. RUCYNSKI兼任准教授、孔炳龍兼任教授、金基弘兼任准教授、田中建一兼任講師
- ・担当教員の役職変更及び負担減のための変更（科目の増）
明石真和兼任教授、城井光広兼任教授、間島貞幸兼任准教授、DE HAVEN. SHAWN兼任助教、蔦埜婷兼任講師、原田芳幸兼任講師
- ・時間割編成に伴う変更
福田二郎兼任教授、増田（石井）珠子兼任教授、山下尚一兼任准教授、清海節子兼任教授、申奎燮兼任講師、孫国震兼任講師、岡田啓美兼任講師、趙珠恩兼任講師、櫻井（小島）千絵兼任講師、ネヴィン朋子兼任講師、安井健一郎兼任講師、津崎正行兼任講師、ANTHONY. HUGH. LAWRENCE兼任講師、浅谷真弓兼任講師、竹原真兼任講師、尾崎文太兼任講師、高橋旭兼任講師、PARK. CHRIS. HYUNKYU兼任講師、JAMIL. KARIM兼任講師、泉杏奈兼任講師、OLAJUWON. FUAD, OLADIPUPO兼任講師
- ・教育課程の充実のための担当科目追加
八木（木下）真奈美兼任教授、湯浅由一兼任教授、野田裕康兼任教授、松平光徳兼任准教授、清水知佳兼任准教授、DE HAVEN. SHAWN兼任助教、須永隆広兼任助教、青野正太兼任助教、根岸恒雄兼任講師、長谷川公江兼任講師、大石章兼任講師、小山都也兼任講師、佐藤宏樹兼任講師、三田祥子兼任講師、高美正兼任講師、韓正芽兼任講師、新井克明兼任講師、RICHARD. MARCH兼任講師、千田英司兼任講師、中山周作兼任講師
- ・就任辞退及び退職
中川（山田）洋子兼任准教授、林田光弘兼任講師、中條克俊兼任講師、蛭間純子兼任講師、花屋哲郎兼任講師、千葉庄寿兼任講師、武正憲兼任講師、櫻澤裕樹兼任講師、佐藤美幸兼任講師、永作稔兼任講師、高井寛兼任講師、堺和男兼任講師、小室俊明兼任講師、佐藤由美兼任講師、渡邊浩子兼任講師、北條陽子兼任講師、矢久保典良兼任講師、木川明彦兼任講師、**JAMIL. KARIM兼任講師、泉杏奈兼任講師（4）**
- ・定年退職
塚本美恵子兼任教授、小澤伸光兼任教授、千草孝雄兼任教授
- ・就任辞退及び退職並びに定年退職に伴う変更（科目の増）
菊田秀雄兼任教授、島原知大兼任講師、須永隆広兼任助教
- ・就任辞退及び退職並びに定年退職に伴う変更（後任補充）
羽瀧貴司兼任准教授、福島大我兼任講師、吉田隆兼任講師、内田理兼任講師、藤川和俊兼任講師、末廣みどり兼任講師、藤野強兼任講師、山川亜古兼任講師、竹内（寺嶋）俊子兼任講師、永井綾子兼任講師、水野雅之兼任講師、石川遥至兼任講師、大澤真生兼任講師、大久保賢兼任講師、中山周作兼任講師、**CHAMPAGNE, M. ODEN兼任講師、石井洋美兼任講師（4）**

【令和4年度】

- ・年次計画に基づき今年度担当授業科目の一部を担当しない教員
狐塚賢一郎教授、朴周鳳准教授、小丸超准教授、丸藤祐子准教授、飯田悠佳子准教授、明石真和兼担教授、松林幸一郎兼任講師、石山育朗兼任講師、蛭間栄介兼任講師、笛木寛兼任講師、穴戸渉兼任講師
- ・年次計画に基づき担当授業科目を再開する教員
平井純子教授、小林将輝准教授
- ・授業未開講により今年度担当授業科目の一部を担当しない教員
大貫秀明教授、秋池宏美教授、平野和弘准教授、**小林将輝准教授**、**鶴海未祐子准教授**、**山下尚一兼担教授**、**和田忍兼担講師**（5）
- ・未開講科目を再開する教員
吉野貴順教授、狐塚賢一郎教授、小林将輝准教授、葉紅（梶山 葉紅）兼担教授、朴昌明兼担教授、山下尚一兼担教授、TODD. JAMES. RUCYNSKI兼担教授、山崎義広兼担教授、富樫泰一兼任講師
- ・職位の変更
鶴海未祐子専任講師から准教授（令和3年10月教員審査済）、山崎義広兼担講師から兼担准教授
- ・担当教員の役職変更及び負担減のための変更（科目の減）
秋池宏美教授、明石真和兼担教授、葉紅（梶山 葉紅）兼担教授、馬場存兼担教授、黒田基樹兼担教授、太田康友兼担講師、小俣謙二兼担教授、間島貞幸兼担准教授、羽瀧貴司兼担准教授、蛭間栄介兼任講師、飯塚哲司兼任講師
- ・担当教員の役職変更及び負担減のための変更（科目の増）
太田康友兼担講師、村井千寿子兼担准教授、石川清貴兼担講師、飯塚哲司兼任講師、岡部一宏兼任講師、尾崎泰弘兼任講師、引間隆文兼任講師、小田俊一兼任講師、宮内慶介兼任講師、前道俊宏兼任講師、筒井俊春兼任講師
- ・時間割編成に伴う変更
葉紅（梶山 葉紅）兼担教授、TODD. JAMES. RUCYNSKI兼担教授、清海節子兼担教授、島原知大兼担講師、申奎燮兼任講師、孫国震兼任講師、趙珠恩兼任講師、杉本（乗松）美穂兼任講師、浅谷真弓兼任講師、高美正兼任講師、高槿旭兼任講師、PARK, CHRIS, HYUNKYU兼任講師、OLAJUWON, FUAD, OLADIPOU兼任講師、荒尾桃香兼任講師
- ・教育課程の充実のための担当科目追加
太田康友兼担講師、竹内俊彦准教授、内田いづみ兼担講師、藤川和俊兼任講師
- ・授業形態又は内容の変更
上河内（徳本）千香子兼担教授、内田いづみ兼担講師、藤川和俊兼任講師、尾崎泰弘兼任講師、引間隆文兼任講師、岡田大助兼任講師、宮内慶介兼任講師（以上オムニバスへの変更）、木塚隆志兼担教授、八田真行兼担教授、藤掛友希兼担助教（以上プロジェクト変更・再構成）
- ・就任辞退及び退職
MATTHEWS JOEL DAVID兼任講師、福田二郎兼担教授、杉本英晴兼任講師、小山知子兼担講師、笹寿美子兼任講師、井上直子兼任講師、三尾忠男兼任講師、吉松梓兼任講師、武田哲子兼任講師、根岸恒雄兼任講師、海津宜則兼任講師、長谷川公江兼任講師、王佩民兼任講師、鄭寅玉兼任講師、末廣みどり兼任講師、KENNETH JOSEPH McClain Ⅲ兼任講師、CHAMPAGNE, M. ODEN兼任講師、RICHARD, MARCH兼任講師、**青木秀光兼任講師**（5）、水野雅之兼任講師、大澤真生兼任講師、中山周作兼任講師
- ・定年退職
原聰兼担教授、町田欣弥兼担教授、ANTHONY, HUGH, LAWRENCE兼任講師
- ・就任辞退及び退職並びに定年退職に伴う変更（科目の増）
八木（木下）真奈美兼担教授、内田いづみ兼担講師、永井綾子兼任講師
- ・就任辞退及び退職並びに定年退職に伴う変更（後任補充）
山崎優子兼担准教授、村井千寿子兼担准教授、石橋英理兼担講師、和田忍兼担講師、木下裕太兼担講師、濱野和人兼担助教、尾形重政兼任講師、石井洋美兼任講師、三輪全兼任講師、岩沼聡一郎兼任講師、水野裕子兼任講師、青木秀光兼任講師、濱田有香兼任講師、柳田詩織兼任講師、**関駿平兼任講師**（5）、細川佳能兼任講師

【令和5年度】

- ・年次計画に基づき今年度担当授業科目の一部を担当しない教員
朴周鳳准教授、小丸超准教授、丸藤祐子准教授、飯田悠佳子准教授、明石真和兼担教授、松林幸一郎兼任講師、石山育朗兼任講師、蛭間栄介兼任講師、穴戸渉兼任講師、小池太兼任講師
- ・年次計画に基づき担当授業科目を再開する教員
笛木寛兼担講師
- ・授業未開講により今年度担当授業科目の一部を担当しない教員
吉野貴順教授、大貫秀明教授、秋池宏美教授、平井純子教授、平野和弘准教授、久我晃広准教授、山下尚一兼担教授、**朴昌明兼担教授**（6）
- ・未開講科目を再開する教員
小林将輝准教授、鶴海未祐子准教授、和田忍兼担講師
- ・学位の取得等
水野裕子兼任講師、柳田詩織兼任講師、細川佳能兼任講師
- ・通称名の変更
石川（岩橋）真知子専任講師から岩橋真知子専任講師
- ・職位の変更
田中輝海専任講師から准教授（令和4年10月教員審査済）、大久保博樹兼担教授から兼任講師、野村正弘兼担教授から兼任講師、山下尚一兼担准教授から兼担教授、金基弘兼担准教授から兼担教授、福島大我兼担講師から兼担准教授
- ・担当教員の役職変更及び負担減のための変更（科目の減）
秋池宏美教授、平井純子教授、平野和弘准教授、鶴海未祐子准教授、大久保博樹兼任講師、野村正弘兼担講師、石田若菜兼担准教授、村井千寿子兼担准教授、山崎義広兼担准教授、石山育朗兼任講師、岡田大助兼任講師
- ・担当教員の役職変更及び負担減のための変更（科目の増）
狐塚賢一郎教授、小俣謙二兼担教授、小貫幸浩兼担教授、船場ひさお兼担教授、角田亮兼担教授、杉山正司兼任講師、藤井正男兼任講師、武井貴兼任講師
- ・時間割編成に伴う変更
葉紅（梶山 葉紅）兼担教授、海老澤豊兼担教授、増田（石井）珠子兼担教授、和田忍兼担講師、島原知大兼担講師、木下裕太兼担講師、申奎燮兼任講師、蔣婷娉兼任講師、趙珠恩兼任講師、石井洋美兼任講師、浅谷真弓兼任講師、韓正芽兼任講師、齋藤香織兼任講師、千田英司兼任講師、荒尾桃香兼任講師
- ・教育課程充実のための担当科目追加
清海節子兼担教授、島原知大兼担講師、申奎燮兼任講師、方美英兼任講師、篠田敬子兼任講師、佐藤大一郎兼任講師、前道俊宏兼任講師
- ・授業内容変更（プロジェクト終了）による科目の減
本池巧兼担教授
- ・就任辞退及び退職
油井（高井）恵兼担教授、佐竹（杉谷）由帆兼任講師、DE HAVEN, SHAWN兼担助教、中村千秋兼任講師、洪明真兼任講師、神野賢二兼任講師、竹原真兼任講師、三田祥子兼任講師、尾崎文太兼任講師、引間隆文兼任講師、小田俊一兼任講師、高槿旭兼任講師、濱田有香兼任講師、OLAJUWON, FUAD, OLADIPOU兼任講師、石川遥至兼任講師、大久保賢兼任講師
- ・定年退職及び契約期間満了退職
山下浩兼任講師、内田文夫兼任講師、吉田隆兼任講師、内田理兼任講師、小野雅子兼任講師
- ・就任辞退及び退職並びに定年退職に伴う変更（科目の増）
岩橋真知子専任講師（令和4年10月教員審査済）、邑木隆二専任講師（令和4年10月教員審査済）、小林奈穂美兼担准教授、岡部一宏兼任講師、荒尾桃香兼任講師、筒井俊春兼任講師
- ・就任辞退及び退職並びに定年退職に伴う変更（後任補充）
三上洋介兼担助教、馬場治男兼任講師、方美英兼任講師、合田忠功兼任講師、村上達哉兼任講師、SHEN (HSIAO, WEN), PAULA兼任講師、森脇愛子兼任講師、鈴木悠介兼任講師、塚原望兼任講師、蛭間龍矢兼任講師、永山千尋兼任講師、小波津義嵩兼任講師

（注）・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
15	8
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
11	9	4	0	24	0	11	10	3	0	24	0
(10)	(8)	(4)	0	(22)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
11	10	3	0	24	0	11	10	3	0	24	0
[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員のう ち、定年を延長して 採用する教員数
65	4	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{24}{24} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{4}{24} = \boxed{16.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		該当なし					
2							
合 計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	講師	MATTHEWS JOEL DAVID	R3.3	選択	国際社会と日本	②	R3.3.31付け他大学就任のため辞任（3）						
				必修	プレゼミナールⅢ	②							
				必修	プレゼミナールⅣ	②							
				選択	欧米の暮らしと文化	②							
				必修	英語Ⅱ A	②							
				必修	英語Ⅱ B	②							
				選択	英語演習Ⅰ	②							
				選択	海外語学演習	②							
合 計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	0	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	0	科目	計	8	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{24} = 4.16 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		該当なし							
2									
合 計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

MATTHEWS JOEL DAVID専任講師より令和2年11月に専任教員辞任の申し出を受け、後任者について学内公募を行い、兼任教員1名を採用し担当予定科目を開講した。また、令和3年度について同専任講師は兼任講師として、後任者の兼任教員が担当予定であった科目を担当している。これらの授業の担当者については講義時間割表及び履修ガイダンスで周知しており、学生の混乱はなかった。なお、兼任教員1名については、令和3年度第1回専任教員採用等年次計画変更書を提出しており、審査結果が可となった場合には秋学期から専任教員として任用予定である。(3)
 採用した兼任教員1名について、令和3年度第1回専任教員採用等年次計画変更の審査結果が可となり、令和3年9月から専任講師として就任している。(4)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和元年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）（５）」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<スポーツ科学部 スポーツ科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 学外実習を実施する場合の具体的計画 ア) 教育実習 本学部では中学校教諭一種免許状（保健体育）課程、高等学校教諭一種免許状（保健体育）課程を設置する。中学校においては、3年次5月から11月の学校体験活動2週間以上（80時間以上）、4年次5月から11月の「教育実習」3週間以上（120時間以上）を、高等学校においては、4年次5月から11月の「教育実習」2週間以上（80時間以上）を行う。 イ) チームビルディング 専攻導入科目「チームビルディング」における学外で実施する「プロジェクト・アドベンチャー」について4月上旬に2班にて1泊2日で実施。	令和5年2月28日付文部科学省総合教育政策局長通知「教育職員免許法施行規則等の一部を改正する省令の施行について（通知）」（4文科教第1638号）に基づき、中学校等において受入れが困難な状況が生じた場合、「教育実習特例措置」を実施する。 新型コロナウイルス感染リスクに鑑み、宿泊を伴う実習を中止し、日帰りでの実施に変更。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

【全学的取組】

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FD委員会

教員の教育研究活動の質的向上を図るため、全学的組織として、FD委員会が設置されている。

教務担当副学長を委員長とし、各学部教授会から選出された専任教員として、各学部教務委員会委員長及び副委員長、共通教育センターの各センター長、教職課程主任、資格課程主任、並びに事務局の学務部長により構成される。委員会には、このほか、事務局として教務課長が出席している。

※FD委員会規程は次の通りである。

（目 的）

第1条 駿河台大学学則第10条第1項及び第31条の3第3項に基づき、本学教員の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するため、駿河台大学FD（ファカルティ・ディベロップメント）委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（組 織）

第2条 委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 副学長の中から学長が指名した者
- (2) 各学部教授会から選任された専任教員
- (3) 教職課程主任
- (4) 資格課程主任
- (5) 各共通教育センター及びグローバル教育センター並びにキャリアセンターから選出された専任教員
- (6) 学務部長

（任 期）

第3条 前条第2号及び第5号の委員の任期は、1年とする。ただし、再任は妨げない。

（委員長）

第4条 委員会の長は、第2条第1号の委員をもって充てる。

（審議事項）

第5条 委員会は次の事項を審議する。

- (1) 教育研究活動改善の方策に関する事項
- (2) FD研修会に関する事項
- (3) その他FDに関する事項

（委員会の開催）

第6条 委員会は、委員長がこれを招集し、その議長となる。

2 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

（事 務）

第7条 委員会に関する事務は、学務部教務課が担当する。

（その他）

第8条 委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は、平成26年7月3日から施行する。

平成28年4月1日一部改正。

平成30年4月1日一部改正。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和4年度にFD委員会を12回開催した。

令和4年04月14日（木）出席者数17名、令和4年05月12日（木）出席者数17名、

令和4年06月09日（木）出席者数17名、令和4年07月07日（木）出席者数17名、

令和4年09月14日（木）出席者数16名、令和4年10月06日（木）出席者数17名、

令和4年11月10日（木）出席者数17名、令和4年12月08日（木）出席者数17名、

令和5年01月19日（木）出席者数17名、令和2年02月02日（木）出席者数17名、

令和5年03月02日（木）出席者数17名、令和5年03月24日（金）出席者数14名

c 委員会の審議事項等

FD委員会は、教育研究活動改善の方策、全学FD研修会の企画・実施に関する事項について審議する。

② 実施状況

a 実施内容

ア) 全学研修会（教育力）

イ) 授業公開・見学

ウ) 全学授業アンケート

エ) 授業改善計画書

オ) 全学研修会 「入試」「学生支援」「学生相談」「キャリア」「研究」「ハラスメント防止」「防災」「地域連携」「情報セキュリティ」「大学評価」「SD STEP UP研修」

b 実施方法

ア) 全学研修会（教育力）

原則として、全専任教員が出席する全学研修会を開催し、毎年度テーマを設定して共通理解の下に授業運営、授業改善等に生かしている。令和4年度は一堂に会する形式を避けe-learningで実施した。

イ) 授業公開・見学

春学期・秋学期に専任教員が担当する授業公開の期間を設け、専任教員による授業見学を行っている。

ウ) 全学授業アンケート

教育内容及び教育方法に対する学生の評価や授業に対する学生のニーズ等を把握するため、学生による授業評価を行っている。

エ) 授業改善計画書

授業アンケートの結果を受けて、年度末に授業改善計画書の作成を義務付けている。

オ) 全学研修会 「入試」「学生支援」「学生相談」「ハラスメント防止」「研究」「防災」「地域連携」「大学評価」「情報セキュリティ」「SD STEP UP研修」

大学全体のSD として、全教職員を対象として各研修会を実施している。

令和3年度は一堂に会する形式を避けZoomによる双方向又はe-learningで実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

ア) 全学研修会（教育力）

令和4年7月8日（金）～9月24日（土） 専任教員参加率95.5%

令和5年3月16日（木）～3月31日（金） 専任教員参加率86.5%

イ) 授業公開・見学 10件

ウ) 全学授業アンケート 春学期は7月に919授業、秋学期は12月に913授業を対象に実施。

エ) 授業改善計画書 2・3月に実施。全体提出率66.5%、専任教員提出率は96.6%。

授業アンケートの結果を受けて、年度末に授業改善計画書の作成を義務付けている。

オ) 全学研修会

「入試」令和4年5月12日（木） 専任教員参加率94.6%

「学生支援」令和4年5月26日（木）～6月19日（日） 専任教員参加率83.8%

「学生相談」令和4年7月7日（木）～7月24日（日） 専任教員参加率81.1%

「キャリア」令和4年9月22日（金）～10月29日（土） 専任教員参加率87.3%

「研究」令和4年9月29日（木）～10月29日（土） 専任教員参加率70.9%

「ハラスメント防止」令和4年9月30日（金）～11月22日（火） 専任教員参加率73.6%

「防災」令和4年10月20日（木） 専任教員参加率82.7%

「地域連携」令和4年11月10日（木）～12月26日（月） 専任教員参加率82.7%

「情報セキュリティ」令和4年11月17日（木）～12月16日（金） 専任教員参加率81.8%

「大学評価」令和4年11月24日（木） 専任教員参加率71.8%

「SD STEP UP研修」令和5年2月17日（金） 専任教員参加率84.4%

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業アンケート結果、授業改善計画書については、教授会で報告されており、学部FD・SD会議の実施結果とともに各教員の授業改善に役立てている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

春学期科目は春学期授業の11・12週目、通年科目と秋学期科目は秋学期授業の11・12週目に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員・学生は、授業アンケートシステムを通じて担当・履修授業の結果を確認できる。
結果概要の報告書はホームページに掲載している。

【学部としての取組】

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学部FD・SD会議の設置。

b 実施方法

原則月1回の割合で定期的に教育内容・教育方法や教職員に必要な知識及び技能を習得させ能力・資質を向上させるための取組を行っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和4年度に学部FD・SD会議を7回開催した。なお、学年進行中であるため改組前の現代文化学部における取組も含んでいる。

令和4年04月21日（木）出席者数20名、令和4年05月26日（木）出席者数24名、

令和4年06月21日（火）出席者数21名、令和4年07月21日（木）出席者数19名、

令和4年10月27日（木）出席者数22名、令和5年02月03日（金）出席者数15名、

令和5年03月09日（木）出席者数21名

学部教員定数：24名・現代文化学部所属教員：3名 参加対象教員計27名

※令和5年01月26日（木）は「プレゼミナールⅠ・Ⅱ担当者会議」（出席者数15名）、

「プレゼミナールⅢ・Ⅳ担当者会議」（出席者数14名）として開催した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

会議報告等を通じた成果は学部教員の授業実践に反映されている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

春学期科目は春学期授業の11・12週目、通年科目と秋学期科目は秋学期授業の11・12週目に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員・学生は、授業アンケートシステムを通じて担当・履修授業の結果を確認できる。
結果概要の報告書はホームページに掲載している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

駿河台大学スポーツ科学部は、健康で文化的な生きがいのある生活を送ることができる社会を構築するために、スポーツ科学の理論的な知識に基づき教育研究をすることにより、学校、地域及びスポーツが関連する領域において、今日のスポーツの意義や価値をふまえ、健康の維持増進、生涯スポーツ時代の青少年のスポーツ教育又は地域の活性化に貢献することを目的としている。

また、スポーツ科学部では、健康で文化的な生きがいのある生活を送ることができる社会を構築するために、スポーツ科学の理論的な知識に基づき、学校、地域及びスポーツが関連する領域において、今日のスポーツの意義や価値をふまえ、健康の維持増進、生涯スポーツ時代の青少年のスポーツ教育又は地域の活性化に貢献できる人材を養成することとしている。

このような趣旨等については、オープンキャンパスを始めとした学生募集時に加えて、入学後に行われる「学部ガイダンス」や「プレゼミナールⅠ・Ⅱ」などの演習や講義、さらには大学ホームページなどを通じて、学生への浸透をはかっている。

また、この教育目的に従ったカリキュラムを設定し教育を行っている。今後も申請内容に従って計画を実施し、学部創設の特色を生かした人材の育成に努めていく所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 令和6年3月 公表予定

b 公表方法

大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・ 令和3年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価を受審し、大学基準に適合しているとの認定を受けた。

認定期間は令和4（2022）年4月1日から令和11（2029）年3月31日まで。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。